



第3期伊勢原市
市民生涯スポーツ推進計画
中間評価報告書

令和8年3月
伊勢原市

目次

| | | |
|-----|------------------------------------|----|
| I | はじめに | 4 |
| 1 | 第3期伊勢原市市民生涯スポーツ推進計画について | 4 |
| 2 | 計画の位置づけ | 4 |
| 3 | 中間評価の趣旨 | 4 |
| 4 | 基本理念と基本目標 | 5 |
| II | 市民の体力・スポーツ活動に関する意識調査の概要 | 6 |
| 1 | 調査概要 | 6 |
| 2 | 調査結果の表示方法 | 6 |
| 3 | 回答に関する情報 | 6 |
| III | 集計結果と中間評価報告 | 7 |
| 1 | 実施目標 | 7 |
| 2 | 集計結果 | 7 |
| 3 | 運動・スポーツ活動を実施する環境整備 | 17 |
| IV | 総括 | 21 |
| V | (参考) 令和7年市民の体力・スポーツに関する調査報告書 | 24 |

I はじめに

1 第3期伊勢原市市民生涯スポーツ推進計画について

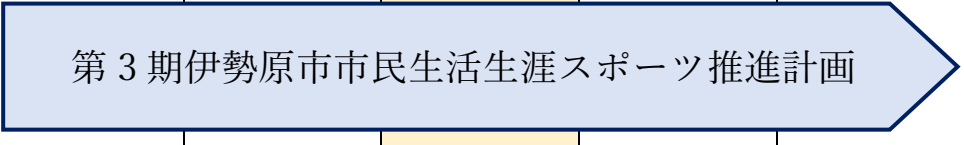
市民の運動・スポーツ活動の普及・推進を目的とし、第3期伊勢原市市民生涯スポーツ推進計画の中間評価の基礎資料、および今後のスポーツ施策の参考とすべく、市民の体力・スポーツ活動に関する意識調査を実施しました。本市では、平成20年2月に策定した「伊勢原市市民生涯スポーツ振興基本計画（計画期間は平成19年度から平成24年度）」を経て、平成25年度に策定された「伊勢原市市民生涯スポーツ推進基本計画」（以下「前計画」という。）の評価及び現在のスポーツ推進等の状況を踏まえて「第3期伊勢原市市民生涯スポーツ推進計画」（以下「本計画」という。）として策定しました。

2 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条に規定する「地方スポーツ推進計画」に位置づけ、スポーツ庁の「第3期スポーツ計画」及び「神奈川県スポーツ推進計画」を踏まえ、伊勢原市まちづくりの指針である「伊勢原市総合計画」や「伊勢原市教育振興基本計画」など関係する上位計画におけるスポーツ施策と連携・整合を図るものです。

3 中間評価の趣旨

本計画は、令和5年度（2023年度）から令和9年度（2027年度）までの5年間を計画期間としています。中間年にあたる令和7年度には、市民の運動・スポーツ活動に関する意識調査を実施し、市民意見等の把握を通じて、これまでの取り組みを点検・評価しました。

| | 令和5年度 (2023) | 令和6年度 (2024) | 令和7年度 (2025) | 令和8年度 (2026) | 令和9年度 (2027) |
|------|--|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 伊勢原市 |  | | | | |

4 基本理念と基本目標

スポーツは、心身の健全な発達を促し、精神的な充足感や自律心を育む、個人または集団で行われる身体活動です。人々が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠な要素となっています。

スポーツは、人と人との交流および地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものです。

近年の社会的背景から生じている今日的課題として、健康の維持増進、生活習慣病の予防、高齢者や障がい者の社会参加の促進および母子の健康・体力づくりの推進、子どもの体力向上、青少年の健全育成あるいは地域の教育力の向上や活力ある地域社会づくりなど、暮らし力や地域の自治力の更なる推進が求められています。

スポーツは、心身の健康の保持増進に重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠なものであることから、「誰もが、いつでも、どこでも」生涯にわたりスポーツに親しめる環境づくりを市民協働で推進するため「市民が主体の生涯スポーツ社会の実現」を前計画から継続し、本計画の基本理念とします。また、基本理念を実現するための基本目標として、前計画の目標を踏襲したスポーツを「する・みる・ささえる」を実現する社会を目指した3つの基本目標を掲げます。

基本理念と基本目標

誰もが、いつでも、どこでも生涯にわたりスポーツに親しめる環境づくりを市民との協働で推進することとします。

基本理念

市民が主体の生涯スポーツ社会の実現

基本目標

- ◇ スポーツをする環境の整備
- ◇ スポーツを見る機会の創出
- ◇ スポーツを支える人材の育成

II 市民の体力・スポーツ活動に関する意識調査の概要

1 調査概要

- (1) 調査対象者：伊勢原市内在住の20歳以上の市民
- (2) 抽出方法：住民基本台帳より、2,000人を無作為抽出
- (3) 調査方法：無記名によるアンケート調査票を用いた郵送調査
(回答は市ホームページからも可)
- (4) 調査期間：令和7年5月
- (5) 回収状況：調査票本数 2,000 サンプル 有効回収標本数 540 サンプル
有効回収率 27.0% (男性 231人・女性 281人・その他 28人)

2 調査結果の表示方法

回答は各質問の回答者数(N)を分母とした百分率(%)で示してあります。また小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

3 回答に関する情報

性 別：男性 231人(42.8%) 女性 281人(52.0%) その他 28人(5.2%)

年 齢：20歳代 42人(7.8%) 30歳代 50人(9.3%) 40歳代 91人(16.9%)
50歳代 96人(17.8%) 60歳代 113人(20.9%) 70歳代 119人(22.0%)
無回答 29人(5.4%)

仕 事：農林漁業 8人(1.5%) 自由業・商工自営業 30人(5.6%)
会社員 165人(30.6%) 公務員 24人(4.4%)
パート・アルバイト等 94人(17.4%) 専業主婦 91人(16.9%)
学生 7人(1.3%) 無職 86人(15.9%) その他 15人(2.8%)
無回答 20人(3.7%)

休 日：完全週休2日制 201人(37.2%) その他週休2日制(隔週・月1回など)44人(8.1%)
週休1日制 14人(2.6%) 週休制ではないが休日はある 74人(13.7%)
休日はない 25人(4.6%) その他 85人(15.7%)
無回答 97人(18.0%)

居住地域：伊勢原北地区 101人(18.7%) 伊勢原南地区 125人(23.1%)
大山地区 4人(0.7%) 高部屋地区 33人(6.1%)
比々多地区 64人(11.9%) 成瀬地区 150人(27.8%)
大田地区 36人(6.7%) 無回答 27人(5.0%)

III 集計結果と中間評価報告

1 実施目標

前計画の施策を継続するとともに、本計画の施策目標と整合を図り、成人の運動・スポーツの実施率を次のとおり設定しました。

- ◇ 週1回30分以上の運動・スポーツ実施率を70%程度
- ◇ 週2回30分以上の運動・スポーツ実施率を55%程度
- ◇ 週3回30分以上の運動・スポーツ実施率を35%程度
- ◇ 1年に一度以上運動・スポーツを実施する割合を100%に近づける

2 集計結果

(1) 週1回30分以上の運動・スポーツ実施率を70%程度とする

※意識調査「問12」該当

| 令和3年度調査 (計画策定時) | 令和7年度調査 (中間) | 令和9年度 (目標値) |
|--------------------|-----------------|----------------|
| 53.4% | 69.7% | 70.0%程度 |

《意識調査の結果》

「週1回30分以上の運動・スポーツ実施率」は69.7%となり、計画策定時から16.3ポイント増加しました。

年代・性別ごとの実施状況を見ると、最も高かったのは70歳代女性で、実施率は93.8%でした。男性においても70歳代が最も高く85.0%に達しています。

一方で、最も低かったのは30歳代女性の36.3%でした。

コロナ禍であった令和3年度の計画策定時の数値と比べると、目標値に迫る大幅な伸びとなっていますが、年代によっては実施率に大きな差が見られます。

(2) 週2回30分以上の運動・スポーツ実施率を55%程度とする

※意識調査「問12」該当

| 令和3年度調査 (計画策定時) | 令和7年度調査 (中間) | 令和9年度 (目標値) |
|--------------------|-----------------|----------------|
| 39.0% | 51.5% | 55%程度 |

《意識調査の結果》

「週2回30分以上の運動・スポーツ実施率」は51.5%となり、令和3年度から12.5ポイント増加しました。

年代・性別ごとの実施状況を見ると、最も高かったのは70歳代女性で、実施率は73.4%でした。男性においても70歳代が最も高く72.5%に達しています。

一方で、最も低かったのは30歳代女性の22.7%でした。目標値まで残り3.5ポイントと迫っていますが、年代によって実施率に大きな差が見られます。

(3) 週 3 回 30 分以上の運動・スポーツ実施率を 35%程度とする

※意識調査「問 12」該当

| 令和 3 年度調査 (計画策定時) | 令和 7 年度調査 (中間) | 令和 9 年度 (目標値) |
|----------------------|-------------------|------------------|
| 23.0% | 30.6% | 35%程度 |

《意識調査の結果》

「週 3 回 30 分以上の運動・スポーツ実施率」は 30.6%となり、計画策定時から 7.6 ポイント増加しました。

年代・性別ごとの実施状況を見ると、最も高かったのは 70 歳代男性で、実施率は 52.5%でした。女性においても 70 歳代が最も高く 46.9%に達しています。

一方で、最も低かったのは 30 歳代女性の 9.1%でした。女性では 20 歳代から 40 歳代にかけて約 10%程度の低い水準にあり、男性においても 30 歳代が約 14%程度と、他の年代と比較して低い結果となりました。

目標値まで残り 4.4 ポイントと順調に推移していますが、他の目標と同様に年代によって実施率に大きな差が見られます。

今後の対応策としましては、特に実施率が低い年代層へのアプローチとして、今後は各年代に合わせた既存事業の広報強化に加え、新たな事業の検討も必要であると考えます。

(4) 1 年に一度以上運動・スポーツを実施する割合を 100%に近づける

※意識調査「問 12」該当

| 令和 3 年度調査 (計画策定時) | 令和 7 年度調査 (中間) | 令和 9 年度 (目標値) |
|----------------------|-------------------|------------------|
| 73.1% | 96.8% | 100% |

《意識調査の結果》

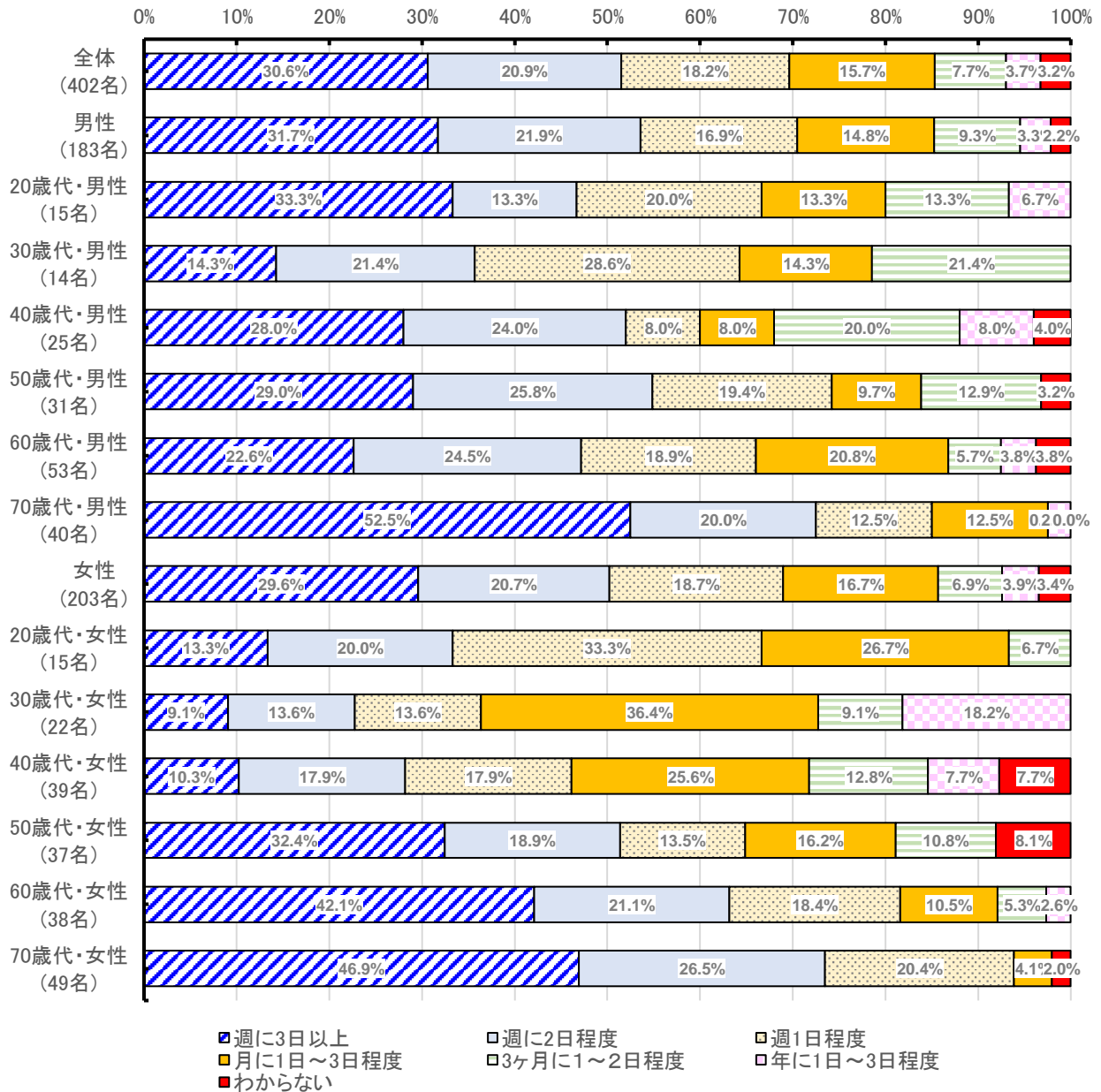
「1 年に一度以上運動・スポーツを実施する割合」は 96.8%となり、令和 3 年度から 23.7 ポイント増加し目標値まで残り 3.2 ポイントと迫っています。

年代・性別ごとの実施状況を見ると、男性は 20 歳代から 30 歳代が、女性は 20 歳代から 30 歳代と 60 歳代が既に目標値に達していました。その他の年代においても 90%以上の方が 1 年に一度以上運動・スポーツを実施しているとの結果になりました。

引き続き、全ての世代が手軽に運動・スポーツを行えるよう、各年代に合わせた既存事業の広報強化に努める必要があると考えられます。

問12 問11のA、B、Cのいずれかの運動やスポーツを行った方にお尋ねします。この1年間で、30分以上運動した日数を全部合わせると、おおよそ、週当たり何日になりますか。当てはまる番号を1つだけ○で囲ってください。

※問11 この1年間で30分以上行った運動やスポーツには何がありますか。それぞれの領域の当てはまる番号をいくつでも○で囲ってください。



(5) 運動・スポーツ実施の有無

※意識調査「問11」該当

この1年間で30分以上行った運動やスポーツの内訳を見ると、軽スポーツではウォーキング(297人)、野外スポーツではハイキング(46人)、競技スポーツではテニス(17人)が最も多く実施していました。

◇ 軽スポーツ

※1年間で30分以上行ったスポーツ(軽スポーツ)

| 項目 | 20歳代 (n=42) | 30歳代 (n=50) | 40歳代 (n=91) | 50歳代 (n=96) | 60歳代 (n=113) | 70歳代 (n=119) |
|----------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|
| 実施していない | 16.6%(7) | 26.0%(13) | 26.3%(24) | 19.7%(19) | 23.0%(26) | 18.4%(22) |
| 軽い球技(キャッチボール、バドミントン、テニスなど) | 21.4%(9) | 14.0%(7) | 17.5%(16) | 10.4%(10) | 7.0%(8) | 5.0%(6) |
| 体操(縄跳びを含む) | 9.5%(4) | 6.0%(3) | 9.8%(9) | 7.2%(7) | 5.3%(6) | 15.1%(18) |
| エアロビックダンス(エアロビクス) | 0.0%(0) | 0.0%(0) | 0.0%(0) | 1.0%(1) | 1.7%(2) | 3.3%(4) |
| ウォーキング(散歩などを含む) | 47.6%(20) | 38.0%(19) | 47.2%(43) | 62.5%(60) | 58.4%(66) | 60.5%(72) |
| フォークダンス(社交ダンス、民謡を含む) | 0.0%(0) | 0.0%(0) | 0.0%(0) | 1.0%(1) | 1.7%(2) | 2.5%(3) |
| ボウリング | 14.2%(6) | 8.0%(4) | 10.9%(10) | 0.0%(0) | 2.6%(3) | 0.0%(0) |
| ゲートボール、グラウンドゴルフ | 0.0%(0) | 2.0%(1) | 1.0%(1) | 1.0%(1) | 0.0%(0) | 2.5%(3) |
| ストレッチ | 28.5%(12) | 24.0%(12) | 27.4%(25) | 21.8%(21) | 12.3%(14) | 26.8%(32) |
| 筋力トレーニング | 38.0%(16) | 16.0%(8) | 13.1%(12) | 15.6%(15) | 7.9%(9) | 15.9%(19) |
| ランニング(ジョギング) | 19.0%(8) | 10.0%(5) | 7.6%(7) | 10.4%(10) | 5.3%(6) | 1.6%(2) |
| 軽い水泳 | 11.9%(5) | 6.0%(3) | 8.7%(8) | 5.2%(5) | 3.5%(4) | 0.8%(1) |
| 屋内運動器具を使ってする運動 | 4.7%(2) | 8.0%(4) | 4.3%(4) | 8.3%(8) | 3.5%(4) | 5.8%(7) |
| その他の軽スポーツ | 7.1%(3) | 8.0%(4) | 5.4%(5) | 5.2%(5) | 7.0%(8) | 5.8%(7) |

◇ 野外スポーツ

※1年間で30分以上行ったスポーツ(野外スポーツ)

| 項目 | 20歳代 (n=42) | 30歳代 (n=50) | 40歳代 (n=91) | 50歳代 (n=96) | 60歳代 (n=113) | 70歳代 (n=119) |
|------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|
| 実施していない | 54.7%(23) | 54.0%(27) | 63.7%(58) | 64.5%(62) | 55.7%(63) | 68.0%(81) |
| スキー | 9.5%(4) | 14.0%(7) | 5.4%(5) | 3.1%(3) | 1.7%(2) | 0.0%(0) |
| 海水浴 | 2.3%(1) | 4.0%(2) | 4.3%(4) | 1.0%(1) | 2.6%(3) | 0.0%(0) |
| 登山 | 4.7%(2) | 6.0%(3) | 5.4%(5) | 6.2%(6) | 9.7%(11) | 4.2%(5) |
| キャンプ | 4.7%(2) | 14.0%(7) | 4.3%(4) | 1.0%(1) | 4.4%(5) | 2.5%(3) |
| ハイキング | 4.7%(2) | 6.0%(3) | 8.7%(8) | 7.2%(7) | 10.6%(12) | 10.0%(12) |
| ゴルフ | 4.7%(2) | 8.0%(4) | 6.5%(6) | 4.1%(4) | 12.3%(14) | 9.2%(11) |
| サイクリング | 4.7%(2) | 4.0%(2) | 4.3%(4) | 5.2%(5) | 3.5%(4) | 1.6%(2) |
| 釣り | 14.2%(6) | 6.0%(3) | 3.2%(3) | 3.1%(3) | 3.5%(4) | 2.5%(3) |
| その他の野外スポーツ | 4.7%(2) | 6.0%(3) | 3.2%(3) | 2.0%(2) | 1.7%(2) | 1.6%(2) |

◇ 競技スポーツ

※1年間で30分以上行ったスポーツ(競技スポーツ)

| 項目 | 20歳代 (n=42) | 30歳代 (n=50) | 40歳代 (n=91) | 50歳代 (n=96) | 60歳代 (n=113) | 70歳代 (n=119) |
|------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|
| 実施していない | 59.5%(25) | 78.0%(39) | 80.2%(73) | 81.2%(78) | 82.3%(93) | 85.7%(102) |
| 陸上競技 | 2.3%(1) | 0.0%(0) | 1.0%(1) | 1.0%(1) | 0.8%(1) | 0.8%(1) |
| 水泳競技 | 0.0%(0) | 0.0%(0) | 1.0%(1) | 1.0%(1) | 0.0%(0) | 0.8%(1) |
| 野球 | 2.3%(1) | 2.0%(1) | 2.1%(2) | 4.1%(4) | 0.0%(0) | 0.8%(1) |
| サッカー | 4.7%(2) | 6.0%(3) | 1.0%(1) | 0.0%(0) | 0.0%(0) | 0.0%(0) |
| バスケットボール | 9.5%(4) | 2.0%(1) | 1.0%(1) | 2.0%(2) | 0.8%(1) | 0.0%(0) |
| バレーボール | 2.3%(1) | 2.0%(1) | 0.0%(0) | 0.0%(0) | 0.8%(1) | 0.0%(0) |
| テニス | 2.3%(1) | 6.0%(3) | 2.1%(2) | 5.2%(5) | 4.4%(5) | 0.8%(1) |
| 卓球 | 4.7%(2) | 4.0%(2) | 1.0%(1) | 1.0%(1) | 1.7%(2) | 0.8%(1) |
| バドミントン | 2.3%(1) | 2.0%(1) | 2.1%(2) | 0.0%(0) | 4.4%(5) | 0.0%(0) |
| その他の競技スポーツ | 4.7%(2) | 2.0%(1) | 2.1%(2) | 2.0%(2) | 3.5%(4) | 2.5%(3) |

(6) 運動・スポーツ実施等の理由

※意識調査「問14、15」該当

運動やスポーツを行った理由としては、「健康・体力づくりのため」が70.6%で最も多く、次いで「楽しみ、気晴らしとして」が62.2%、「運動不足を感じるから」が56.5%と、いずれも半数以上の回答を占めました。

令和3年度の結果と比較すると、「健康・体力づくりのため」は5.4ポイント、「楽しみ、気晴らしとして」は11ポイント、「運動不足を感じるから」は5.5ポイント、それぞれ増加しました。

また、前回調査時はコロナ禍の影響もあり、「家族とのふれあいとして」「友人・仲間との交流として」といった交流を目的とした回答の割合は前々回よりも減少していましたが、今回調査では「家族とのふれあいとして」は8.7ポイント、「友人・仲間との交流として」は3.5ポイントの増加が確認されました。要因の一つとして、コロナ禍が収束し、以前のように活動が活発化したと考えています。

※1年間で運動やスポーツをした理由

| 項目 | R7年度調査(n=347) | | R3年度調査(n=427) | |
|------------------|---------------|-------|---------------|-------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 健康・体力づくりのため | 245 | 70.6% | 285 | 66.7% |
| 楽しみ、気晴らしとして | 216 | 62.2% | 220 | 51.5% |
| 運動不足を感じるから | 196 | 56.5% | 224 | 52.5% |
| 精神の修養や訓練のため | 23 | 6.6% | 22 | 5.2% |
| 自己の記録や能力を向上させるため | 28 | 8.1% | 21 | 4.9% |
| 家族とのふれあいとして | 54 | 15.6% | 40 | 9.4% |
| 友人・仲間との交流として | 87 | 25.1% | 96 | 22.5% |
| 美容や肥満解消のため | 71 | 20.5% | 78 | 18.3% |
| コロナ禍での在宅時間が増えたため | - | - | 12 | 2.8% |
| その他 | 20 | 5.8% | - | - |

一方、各分野の運動やスポーツを実施していない方の人数は、軽スポーツで 198 人、野外スポーツで 333 人、競技スポーツで 433 人でした。

運動やスポーツを行っていない理由としては、「機会がなかったから」が 66.7% で最も多く、次いで「時間がなかったから」が 50.5%、「年をとったから」が 33.3% となりました。

令和 3 年度の結果と比較すると、「機会がなかったから」は 22.6 ポイント、「時間がなかったから」は 20.5 ポイント、「年をとったから」は 13.0 ポイント、それぞれ増加しています。

なお、特に実施率が高かった軽スポーツのウォーキングについては、回答者の半数以上で実践していることが分かりました。

こうした状況を踏まえ、今後は市が作成した地区ごとのウォーキングガイドなどの情報提供と広報を強化し、誰もが気軽に運動できる環境を一層整備していく必要があると考えます。

※1年間で運動やスポーツをしなかった理由

| 項目 | R7年度調査(n=93) | | R3年度調査(n=118) | |
|---------------|--------------|-------|---------------|-------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 時間がなかったから | 47 | 50.5% | 35 | 30.0% |
| 機会がなかったから | 62 | 66.7% | 52 | 44.1% |
| 年をとったから | 31 | 33.3% | 24 | 20.3% |
| 仲間がいないから | 15 | 16.1% | 11 | 9.3% |
| 体が弱いから | 14 | 15.1% | 10 | 8.5% |
| 場所や施設がないから | 9 | 9.7% | 11 | 9.3% |
| 金がかかるから | 19 | 20.4% | 13 | 11.0% |
| 運動・スポーツは嫌いだから | 13 | 14.0% | 26 | 22.0% |
| 指導者がいないから | 2 | 2.2% | 2 | 1.7% |
| その他 | 18 | 19.4% | 16 | 13.6% |

(7) 運動・スポーツの主な実施場所

※意識調査「問 13」該当

運動やスポーツを行っている人の実施場所は、全体では「公園・広場・空き地・河川敷・道路」が 38.1% で最も多く、次いで「民間（商業）スポーツ施設」が 18.2% となりました。

年代・性別ごとの実施状況を見ると、「公園・広場・空き地・河川敷・道路」の実施率が最も高かったのは 50 歳代男性で 50.0% であり、女性においては 20 歳代が最も高く 41.2% でした。

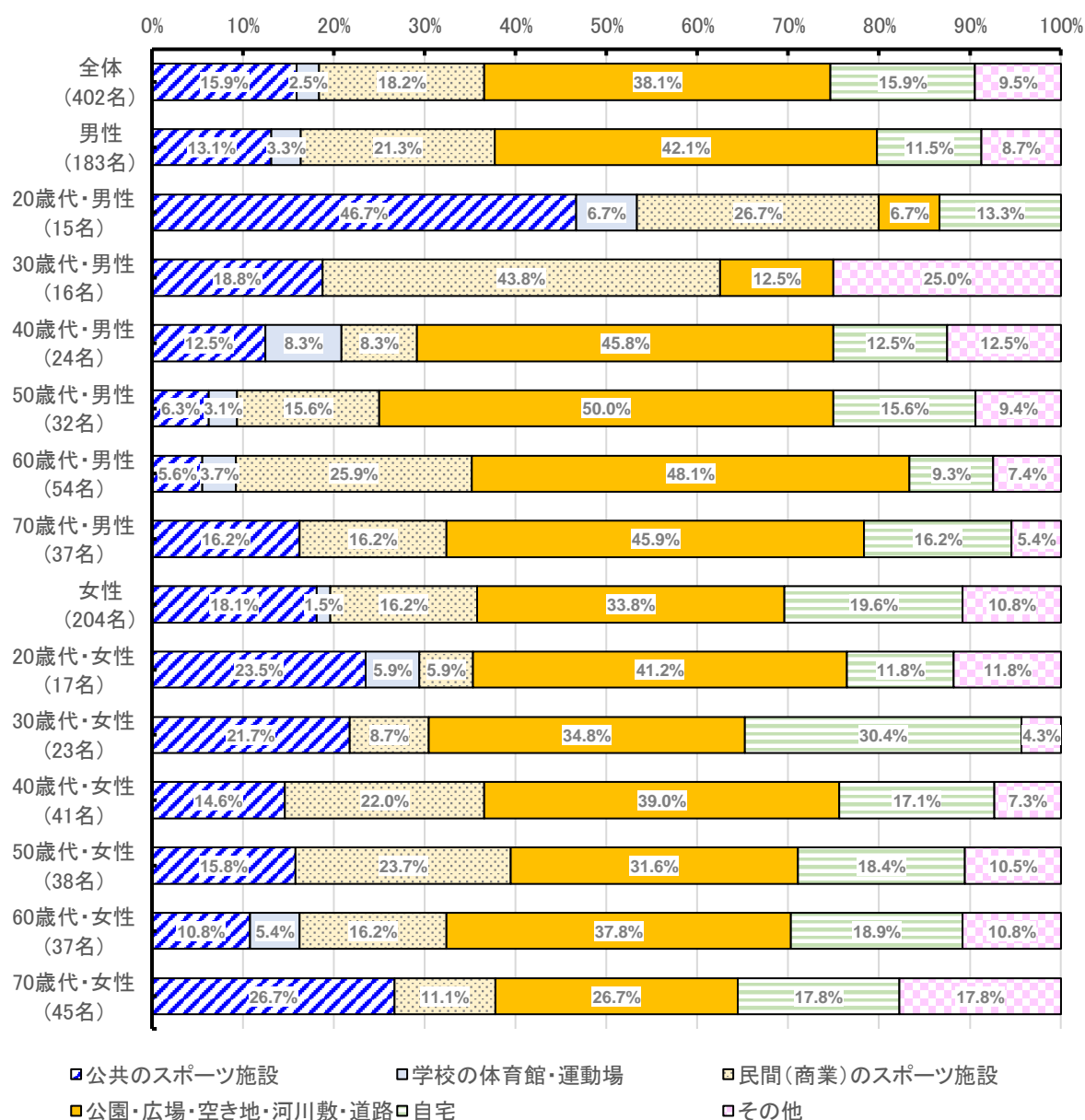
一方で、「民間（商業）スポーツ施設」の実施率が最も高かったのは 30 歳代男性で 43.8% であり、女性においては 50 歳代が最も高く 23.7% でした。

年代により実施場所で偏りが見られますが、全体的には身近な公園等や自宅で気軽に運動やスポーツを行う傾向は継続しており、スポーツ施設だけでなく公園や道路など公共施設の環境整備や自宅でも行える運動プログラムの開発も進める必要があります。

※主に運動やスポーツをする場所

| 項目 | R7年度調査(n=540) | | R3年度調査(n=430) | |
|------------------|---------------|-------|---------------|-------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 公共のスポーツ施設 | 64 | 15.9% | 71 | 16.5% |
| 学校の体育館・運動場 | 10 | 2.5% | 19 | 4.4% |
| 民間(商業)のスポーツ施設 | 73 | 18.2% | 63 | 14.7% |
| 公園・広場・空き地・河川敷・道路 | 153 | 38.1% | 175 | 40.7% |
| 自宅 | 64 | 15.9% | 72 | 16.7% |
| その他 | 38 | 9.5% | 30 | 7.0% |

R7年度調査・意識調査「問13」



(8) 運動・スポーツの満足度

※意識調査「問16」該当

運動・スポーツ実施の満足度については、前回調査時と比べると「運動・スポーツを十分に行っており、満足している」が15.2%と1.3ポイント増加しました。

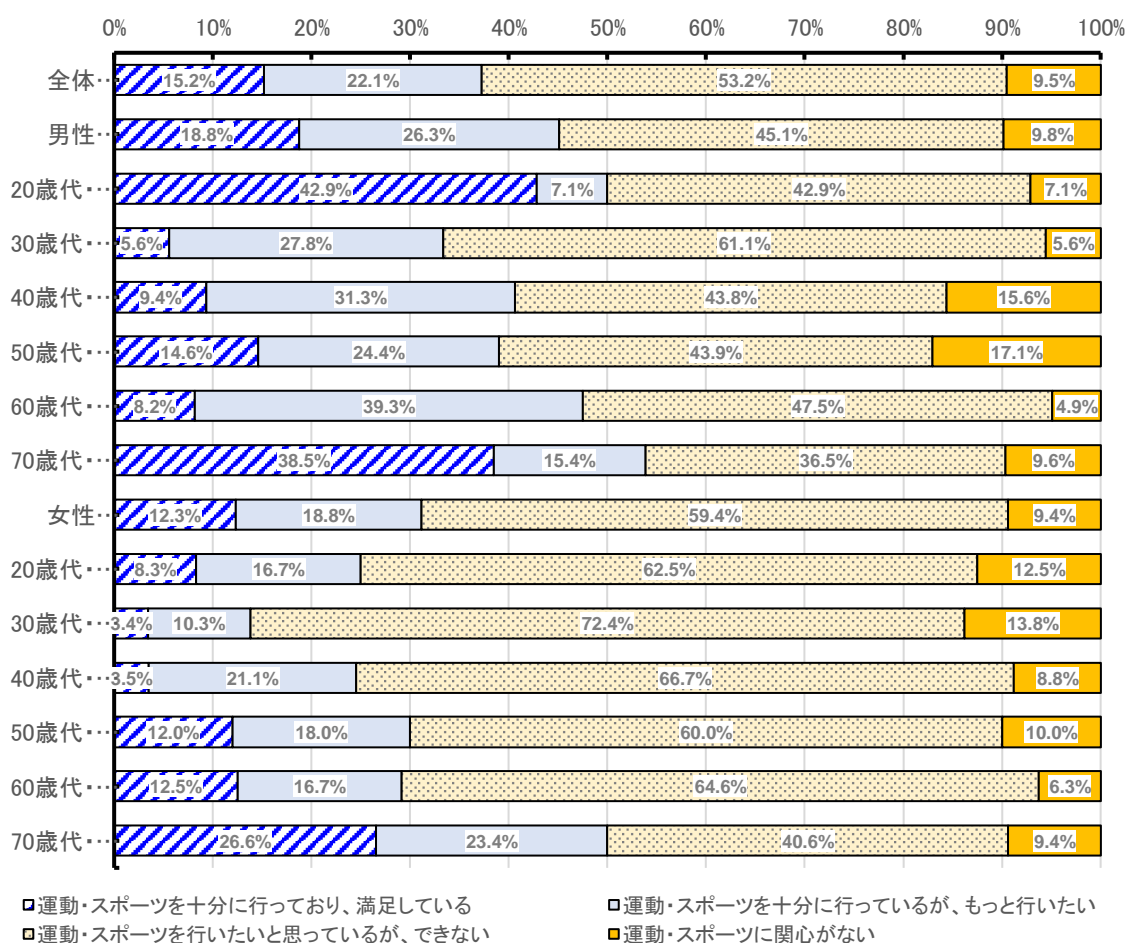
その一方で、「運動・スポーツを十分に行っているが、もっと行いたい」が22.1%と0.8ポイント減少、「運動・スポーツを行いたいと思っているが、できない」が53.2%と0.6ポイント増加する結果となり、この両項目で合計75.3%を占めました。この傾向は前回調査時(75.5%)とほぼ横ばいで推移しており、運動・スポーツの実施への意欲はあるものの、十分に活動できていないことが示唆されます。

なお、「運動・スポーツに関心がない」は9.5%と1.1ポイント減少しましたが、健康や社会参加の観点から、引き続き無関心な層への対策も必要です。

※運動・スポーツ活動についてどのように感じているか。

| 項目 | R7年度調査(n=540) | | R3年度調査(n=544) | |
|---------------------------|---------------|-------|---------------|-------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 運動・スポーツを十分に行っており、満足している | 80 | 15.2% | 72 | 13.2% |
| 運動・スポーツを十分に行っているが、もっと行いたい | 116 | 22.1% | 124 | 22.8% |
| 運動・スポーツを行いたいと思っているが、できない | 280 | 53.2% | 289 | 53.1% |
| 運動・スポーツに関心がない | 50 | 9.5% | 59 | 10.8% |

R7年度調査・意識調査「問16」



(9) 公共のスポーツ施設の利用について満足度

※意識調査「問17」該当

公共のスポーツ施設については、「利用していない」との回答が50.1%と最も高い結果となり、次いで「どちらともいえない」が24.2%となりました。このうち「利用していない」と回答した人では、30歳代男性が77.8%と最も高く、次いで20歳代女性が68.0%に達しています。

また、施設の利用に満足している割合は、「満足している」(3.0%)と、「やや満足している」(5.3%)を合わせた8.3%であった一方で、不満である割合は、「不満である」(7.5%)と、「やや不満である」(9.9%)を合わせた17.4%でした。

このうち、満足している割合が高い年代・性別は、20歳代男性の18.8%が最も高く、次いで70歳代女性で17.8%となりました。

不満である割合が高い年代・性別は、40歳代男性の31.2%が最も高く、次いで60歳代女性の26.0%となりました。

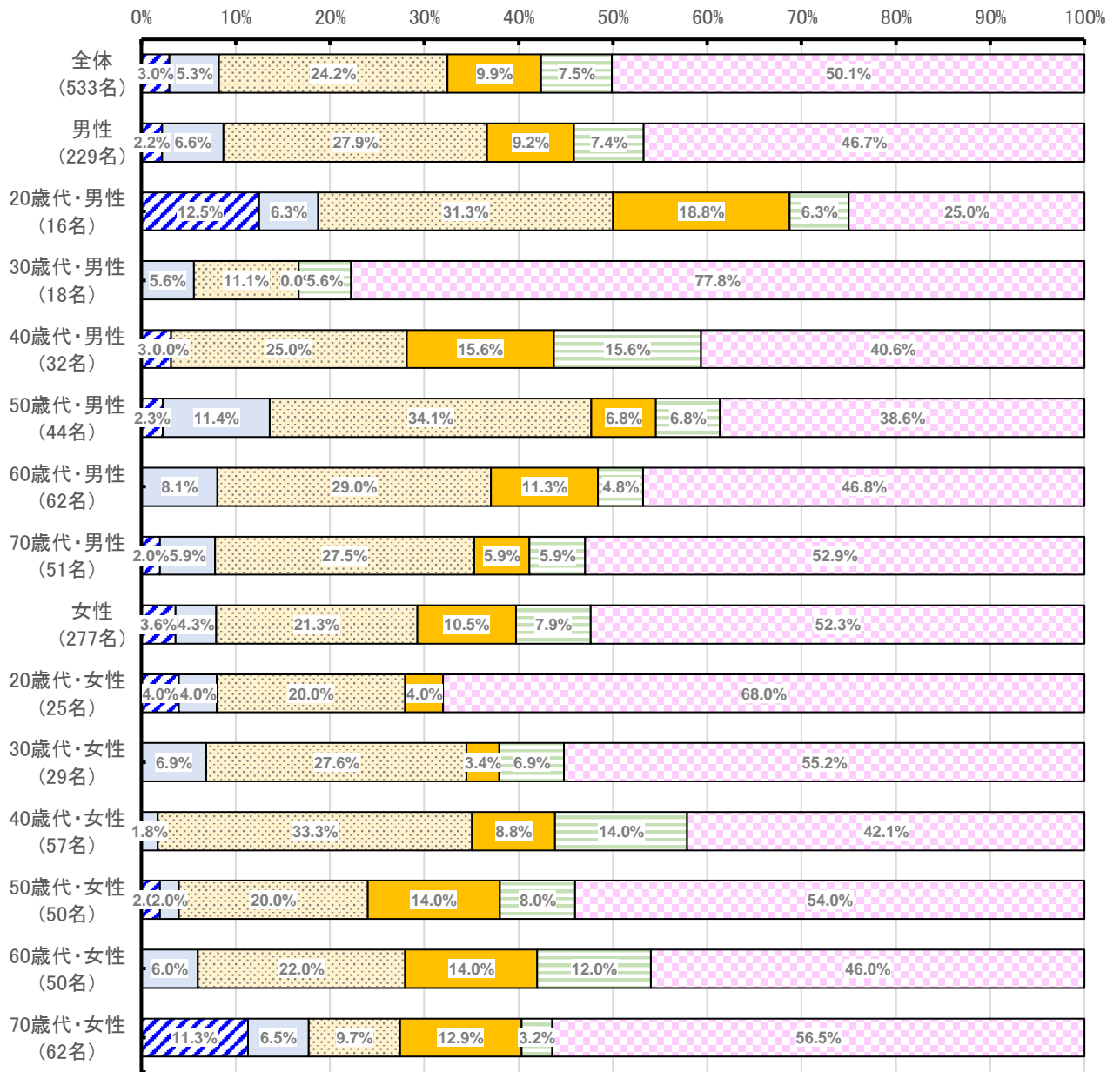
この調査項目で、半数以上が「利用していない」と回答していること、特に30代男性(77.8%)や20代女性(68.0%)といった現役世代の非利用率が高いことは、既存施設の利用形態が、多忙な市民のニーズに合致していない可能性を示唆しています。また、施設利用者においても「不満である割合」(17.4%)が「満足である割合」(8.3%)を大きく上回っており、改善が必要であると考えます。

これらの結果は、市民のスポーツ参加促進において、既存の公共スポーツ施設に限定したアプローチでは限界があることを示唆しており、よりコスト効率が高く、市民が日常的に運動できる新たな選択肢の提供が喫緊の課題であると考えます。

※運動・スポーツ活動についてどのように感じているか。

| 項目 | R7年度調査(n=540) | | R3年度調査(n=555) | |
|-----------|---------------|-------|---------------|-------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 満足している | 16 | 3.0% | 12 | 2.2% |
| やや満足している | 28 | 5.3% | 40 | 7.2% |
| どちらともいえない | 129 | 24.2% | 100 | 18.0% |
| やや不満である | 53 | 9.9% | 50 | 9.0% |
| 不満である | 40 | 7.5% | 53 | 9.5% |
| 利用していない | 267 | 50.1% | 300 | 54.1% |

R7 年度調査・意識調査「問17」



□満足している □やや満足している □どちらともいえない □やや不満である □不満である □利用していない

3 運動・スポーツ活動を実施する環境整備

(1) 公共スポーツ施設の要望

※意識調査「問18」該当

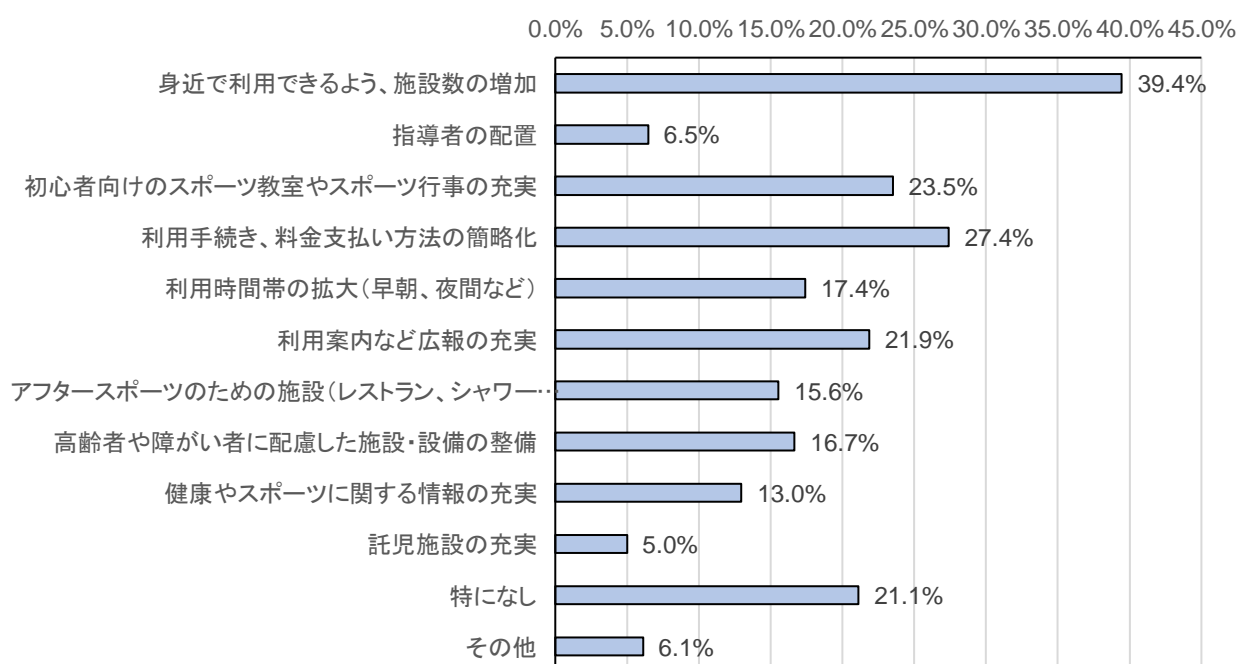
公共スポーツ施設に望むこととして、前回調査時と同様に「身近で利用できるよう、施設数の増加」が最も高い割合で39.4%を占め、続いて「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」が27.4%、「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」が23.5%、「利用案内など広報の充実」が21.9%となりました。

複数の要望を挙げている人が多く、環境を整えていくには、優先順位を定める必要があると考えます。

※市立体育館、野球場、テニスコートなど、公共スポーツ広場に望むこと。

| 項目 | R7年度調査(n=540) | | R3年度調査(n=563) | |
|------------------------------------|---------------|-------|---------------|------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 身近で利用できるよう、施設数の増加 | 213 | 39.4% | 240 | 42.6 |
| 指導者の配置 | 35 | 6.5% | 54 | 9.6 |
| 初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実 | 127 | 23.5% | 122 | 21.7 |
| 利用手続き、料金支払い方法の簡略化 | 148 | 27.4% | 143 | 25.4 |
| 利用時間帯の拡大(早朝、夜間など) | 94 | 17.4% | 93 | 16.5 |
| 利用案内など広報の充実 | 118 | 21.9% | 131 | 23.3 |
| アフタースポーツのための施設(レストラン、シャワールームなど)の充実 | 84 | 15.6% | 82 | 14.6 |
| 高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備 | 90 | 16.7% | 102 | 18.1 |
| 健康やスポーツに関する情報の充実 | 70 | 13.0% | 87 | 15.5 |
| 託児施設の充実 | 27 | 5.0% | 23 | 4.1 |
| 特になし | 114 | 21.1% | 148 | 26.3 |
| その他 | 33 | 6.1% | 34 | 6 |

R7 年度調査・意識調査「問18」



(2) 運動・スポーツに関する情報や内容への要望

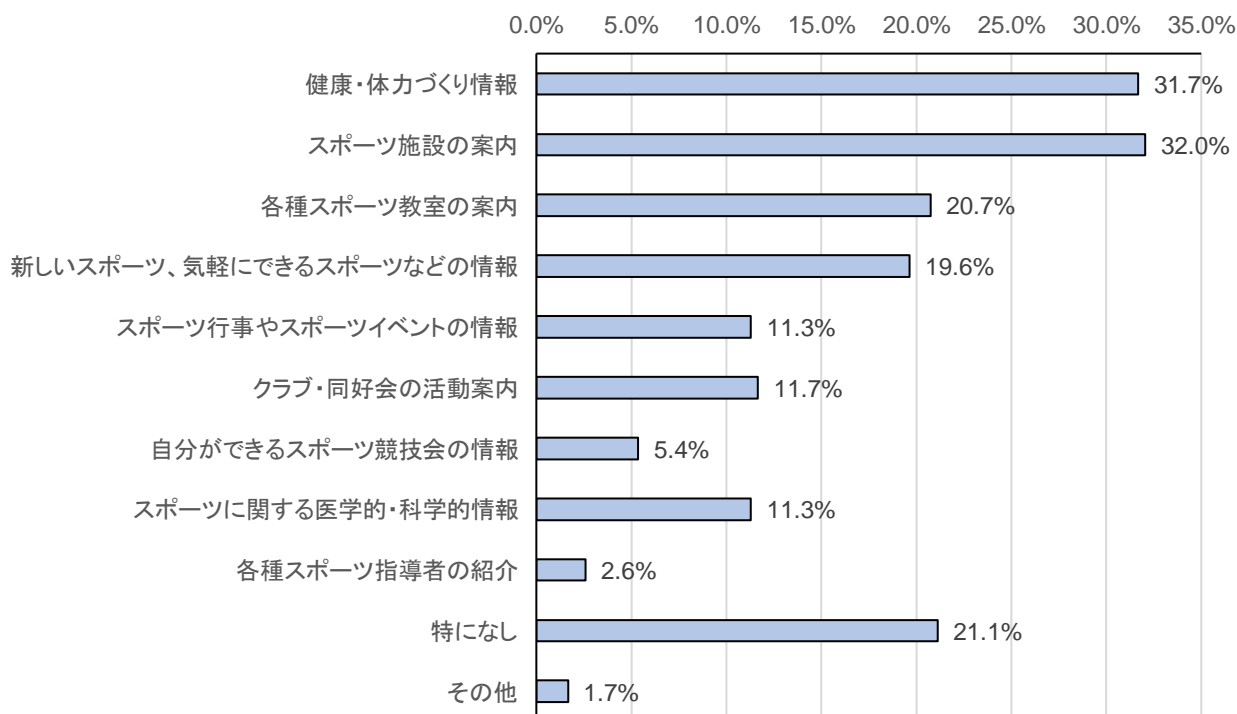
※意識調査「問19」該当

市民が求めるスポーツ情報は、「スポーツ施設の案内」が32.0%、続いて「健康・体力づくり情報」が31.7%となり、令和3年度の結果と大きな変化はありませんでした。

※運動やスポーツに関する情報のうち、欲しい情報。

| 項目 | R7年度調査(n=540) | | R3年度調査(n=562) | |
|-------------------------|---------------|-------|---------------|-------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 健康・体力づくり情報 | 171 | 31.7% | 213 | 37.9% |
| スポーツ施設の案内 | 173 | 32.0% | 194 | 34.5% |
| 各種スポーツ教室の案内 | 112 | 20.7% | 160 | 28.5% |
| 新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報 | 106 | 19.6% | 115 | 20.5% |
| スポーツ行事やスポーツイベントの情報 | 61 | 11.3% | 64 | 11.4% |
| クラブ・同好会の活動案内 | 63 | 11.7% | 94 | 16.7% |
| 自分ができるスポーツ競技会の情報 | 29 | 5.4% | 32 | 5.7% |
| スポーツに関する医学的・科学的情報 | 61 | 11.3% | 64 | 11.4% |
| 各種スポーツ指導者の紹介 | 14 | 2.6% | 16 | 2.8% |
| 特になし | 114 | 21.1% | 131 | 23.3% |
| その他 | 9 | 1.7% | 11 | 2.0% |

R7 年度調査・意識調査「問19」



(3) 運動・スポーツ情報獲得の手段 について

※意識調査「問 20」 該当

市民の運動・スポーツ情報の獲得手段は、「市の広報」が最も高い割合で 50.0% を占め、続いて「市ホームページなど公式 SNS」が 25.9%、「タウン紙」が 20.9% と続きました

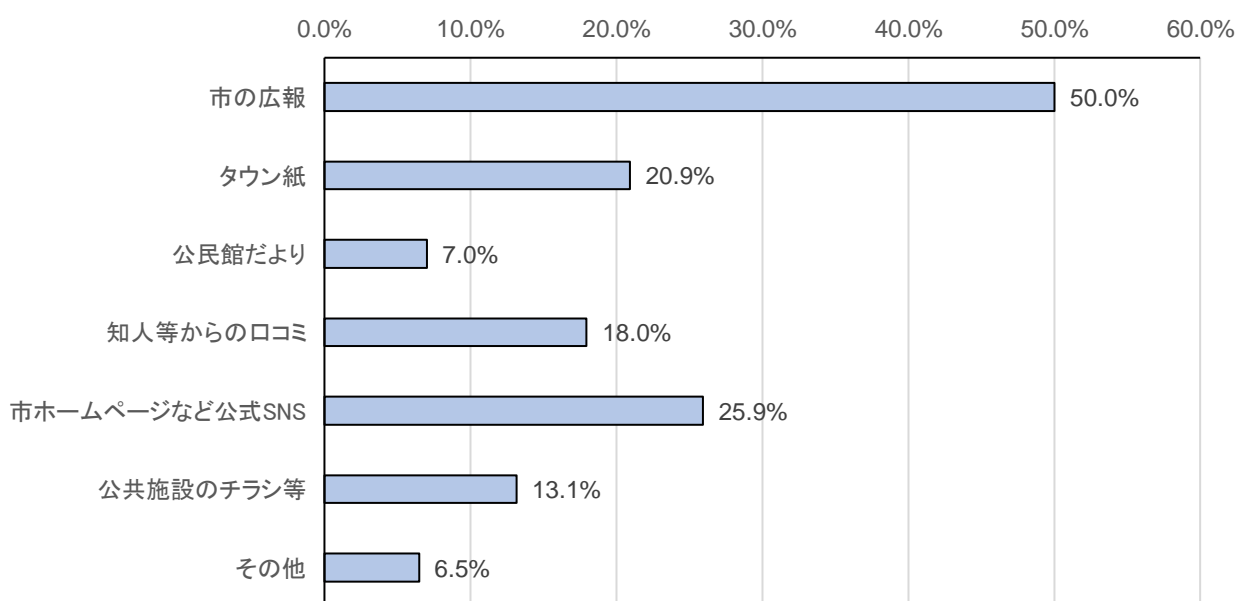
令和 3 年度の結果と比較すると、紙媒体である「市の広報」は 12.8 ポイント、「タウン紙」は 9.9 ポイントとそれぞれ減少しています。一方、デジタル媒体である「市ホームページなど公式 SNS」は 2.0 ポイント増加する結果となり、情報取得方法が従来の紙媒体からインターネットや SNS などのデジタル媒体へと移行しています。

今後の情報発信においては、デジタル媒体の多様化などの強化が必要不可欠です。

※伊勢原市内の運動やスポーツに関する情報をどのような手段で得ているか。

| 項目 | R7年度調査(n=540) | | R3年度調査(n=548) | |
|----------------|---------------|-------|---------------|-------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 市の広報 | 270 | 50.0% | 344 | 62.8% |
| タウン紙 | 113 | 20.9% | 169 | 30.8% |
| 公民館だより | 38 | 7.0% | 58 | 10.6% |
| 知人等からの口コミ | 97 | 18.0% | 107 | 19.5% |
| 市ホームページなど公式SNS | 140 | 25.9% | 131 | 23.9% |
| 公共施設のチラシ等 | 71 | 13.1% | 63 | 11.5% |
| その他 | 35 | 6.5% | 39 | 7.1% |

R7 年度調査・意識調査「問 20」



(4) スポーツ推進に関わる市民からの提言

※意識調査「問 21」該当

スポーツ推進のために市が取り組むべき課題 については、「手軽にスポーツができる公園の整備」が 42.8%と最も多く、次いで、「ジョギングなどができる道路の整備」が 25.0%、「年齢層にあったスポーツの開発と普及」が 24.4% と続きました。

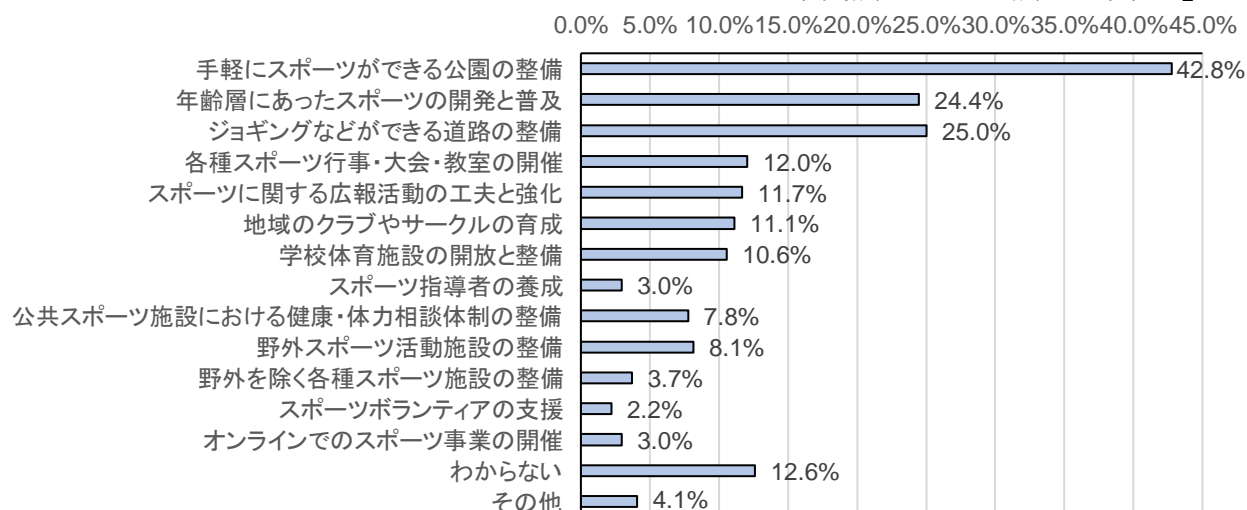
これらの結果から、市民が日常的にスポーツに親しむための「場」の確保が、最も喫緊の課題と考えます。特に「公園」や「道路」といった身近な公共空間における整備が上位を占めていることから、特別な施設や時間を用意せずとも、日常生活の延長線上で気軽に体を動かせる環境へのニーズが高いと考えられます。

また、「年齢層にあったスポーツの開発と普及」が続くことは、単に場所を提供するだけでなく、市民一人ひとりの身体能力やライフステージに合わせた多様なプログラムや種目の提供が求められていることを示唆しています。これらの要望に応えることで、市民全体の健康増進とスポーツ参加率の向上に繋がるものと期待されます。

※スポーツ推進を図るため、市が今後どのような取組を行うべきか。

| 項目 | R7年度調査(n=540) | | R3年度調査(n=556) | |
|--------------------------|---------------|-------|---------------|-------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 手軽にスポーツができる公園の整備 | 231 | 42.8% | 290 | 52.2% |
| 年齢層にあったスポーツの開発と普及 | 132 | 24.4% | 213 | 38.3% |
| ジョギングなどができる道路の整備 | 135 | 25.0% | 183 | 32.9% |
| 各種スポーツ行事・大会・教室の開催 | 65 | 12.0% | 67 | 12.1% |
| スポーツに関する広報活動の工夫と強化 | 63 | 11.7% | 70 | 12.6% |
| 地域のクラブやサークルの育成 | 60 | 11.1% | 75 | 13.5% |
| 学校体育施設の開放と整備 | 57 | 10.6% | 59 | 10.6% |
| スポーツ指導者の養成 | 16 | 3.0% | 23 | 4.1% |
| 公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備 | 42 | 7.8% | 65 | 11.7% |
| 野外スポーツ活動施設の整備 | 44 | 8.1% | 38 | 6.8% |
| 野外を除く各種スポーツ施設の整備 | 20 | 3.7% | 35 | 6.3% |
| スポーツボランティアの支援 | 12 | 2.2% | 10 | 1.8% |
| オンラインでのスポーツ事業の開催 | 16 | 3.0% | 10 | 1.8% |
| わからない | 68 | 12.6% | 46 | 8.3% |
| その他 | 22 | 4.1% | 14 | 2.5% |

R7 年度調査・意識調査「問 21」



IV 総括

「第3期伊勢原市市民生涯スポーツ推進計画」の中間評価を通じて、本計画が着実に目標達成へ向かって進捗していることが明らかとなりました。特に「週1回以上」「週2回以上」「週3回以上」の運動・スポーツ実施率は大きく向上し、中でも「1年に一度以上」の実施割合は目標値に近い水準に達しています。これは、新型コロナウイルス感染症の収束に伴う市民活動の活発化に加え、健康・体力づくりへの意識の高まりが相乗効果を生んだ結果と捉えられます。

一方で、今回の評価を通じて、今後の施策に活かすべきいくつかの課題も明らかになりました。これらの課題については、現行の基本施策を土台として、対応策を検討し、改善を図ってまいります。

(1) スポーツをする環境の整備

① 年齢層に応じたスポーツをする機会の充実

今回の意識調査により、子育て世代を含む30代女性や、仕事が多忙な時期にある20代から40代男性の運動・スポーツの実施率が低い傾向が分かりました。そのため、こうした世代向けの運動・スポーツのメニューを検討し、運動・スポーツに参加しやすい環境を整備してまいります。

また、中高齢者を対象とした運動・スポーツはフレイルやロコモティブシンドロームの予防・改善に繋がるため、引き続き中高齢者向けのスポーツ・運動を実施し、健康体力の維持増進を図ります。

| 主な事業 | 事業内容 |
|--|--|
| 子育て世代向け運動・スポーツ教室の開催 | 体力づくり振興会やスポーツ推進委員との連携により、親子で参加できる教室や講習会を開催し、スポーツ活動に参加するきっかけづくりを進めます。 |
| 東海大学健康クラブ「市民健康スポーツ大学」「ウィークデースポーツ教室」の開催 | 市と東海大学との協定に基づき、地域連携事業である東海大学健康クラブで、年齢に関係なく誰でも参加できる大学講座やシニア向けの筋力トレーニング教室などを検討し、実施します。 |
| 市ホームページや市公式SNSを活用したアンケートの実施 | 市ホームページや市公式SNSなどを活用し、どのようなスポーツ・運動が求められているか、また実施率向上に繋がるかを探るため、今回の調査を補完するアンケートを実施します。 |

② スポーツをする場所の整備

今回の意識調査により、「手軽にスポーツができる公園の整備」や「ジョギングなどができる道路の整備」を求める声が多く寄せられました。そのため、自宅周辺の公園や道路など、既存のインフラを活用した運動機会の提供を推進してまいります。

また、スポーツ施設の老朽化に対し、施設配置の適正化、民間活力のさらなる活用、大学との連携強化等による持続可能なスポーツ環境の実現を図るとともに、使用料支

私のキャッシュレス化等、利便性の向上に取り組みます。

| 主な事業 | 事業内容 |
|---------------------|---|
| 既存のインフラを活用した運動機会の提供 | 自宅周辺の公園や道路といった既存のインフラを活用し、運動機会を創出できる環境が整備できるよう、公園や道路の所管部署と緊密に連携を図ってまいります。 |
| 持続可能なスポーツ環境の実現 | 公共施設等総合管理計画や公共施設再配置プランに基づき、スポーツ施設の計画的な改修・修繕と、管理運営の効率化に取り組みます。 |
| 民間スポーツ施設との連携 | 市内にある民間スポーツ施設や市内大学との連携により、相互のスポーツ施設の利用等を促進し、スポーツ実施率の向上と市スポーツ事業の推進を図ります。 |
| キャッシュレス化の推進 | 公共施設利用予約システムや、券売機などにキャッシュレス機能を導入し、利便性を向上させ、利用機会を拡大することで、利用者数の増加を図ります。 |

(2) スポーツを見る機会の創出

① 市ホームページや市公式 SNS などのデジタル媒体を活用した情報発信の充実

今回の意識調査により、スポーツ情報獲得の手段が従来の広報いせはらや回覧板といった紙媒体から、市ホームページや市公式 SNS などのデジタル媒体を通じて情報を取得する市民が増加している結果が分かりました。この結果を踏まえ、広報誌による情報配信が中心となっている本市のスポーツ情報を多角的なデジタル媒体を活用することで、見る機会や関わる機会の増加につなげていきます。

| 主な事業 | 事業内容 |
|---------------------------|--|
| 市や民間が主催しているスポーツイベント等の情報発信 | 市主催スポーツイベントや市体育館などで行われている民間スポーツ団体のイベントや、地域で行われている体育祭やスポーツ大会などの情報を整理し、市ホームページや市公式 SNS などを活用して積極的に発信し、スポーツに関わる機会を創出していきます。 |
| ウォーキングコース等の情報発信 | 地域ごとのウォーキングコース等を市公式 SNS などから発信し、身近な場所で運動やスポーツが始められるよう周知を図っていきます。 |

(3) スポーツを支える人材の育成

① スポーツ指導者の養成・確保と活用

スポーツは、イベント運営やサポートなどを行うボランティア、スポーツの指導者やコーディネーターなど支える存在も重要です。そのため、スポーツ関係団体や民間企業などと連携し多くの市民参加によるスポーツ事業を展開します。

| 主な事業 | 事業内容 |
|------------------------|---|
| 大学や企業、民間スポーツクラブとの連携の強化 | 市内の大学や企業が持っているスポーツに関する専門的な知見や技術の提供など、スポーツ分野での協定や連携を進め、市民に還元できる事業を展開します。 |
| スポーツ関係団体相互の連携強化 | スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員協議会の相互の連携を一層強化し、市民が主体の生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みます。 |

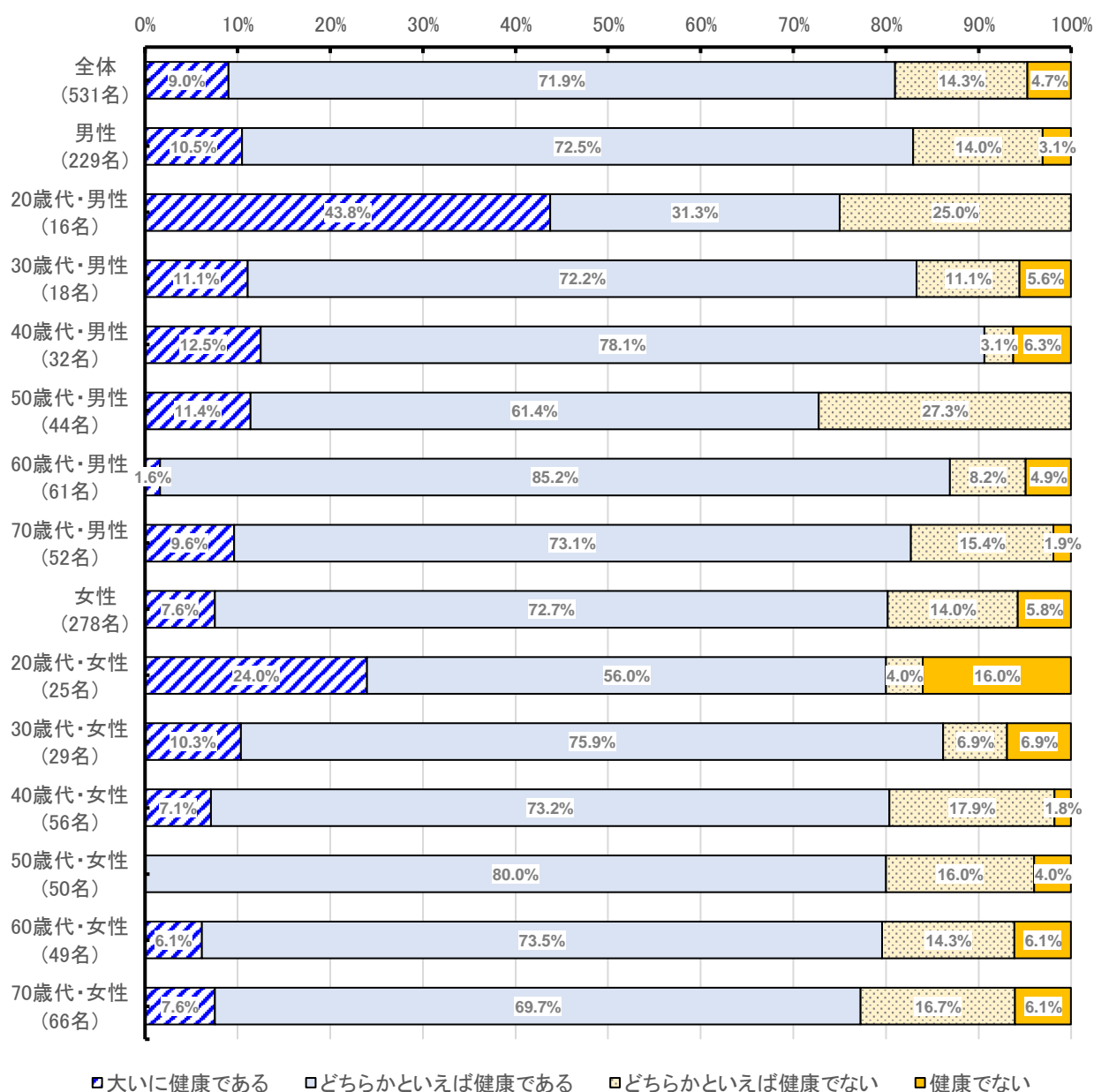
今回の調査で示された中間年の数値は、計画策定時の目標値に対し着実に近づいています。この調査結果を踏まえ、策定時の計画を大幅に修正することなく、引き続き本計画に沿った取り組みを継続して実施していくことで、残りの計画期間において設定目標を達成し、目標の実現を目指してまいります。市民協働の理念に基づき、誰もが心身ともに健康で豊かな生活を送れる生涯スポーツ社会の実現を目指し、残りの計画期間を着実に推進してまいります。

V (参考) 令和7年市民の体力・スポーツに関する調査報告書

1 健康・体力観について

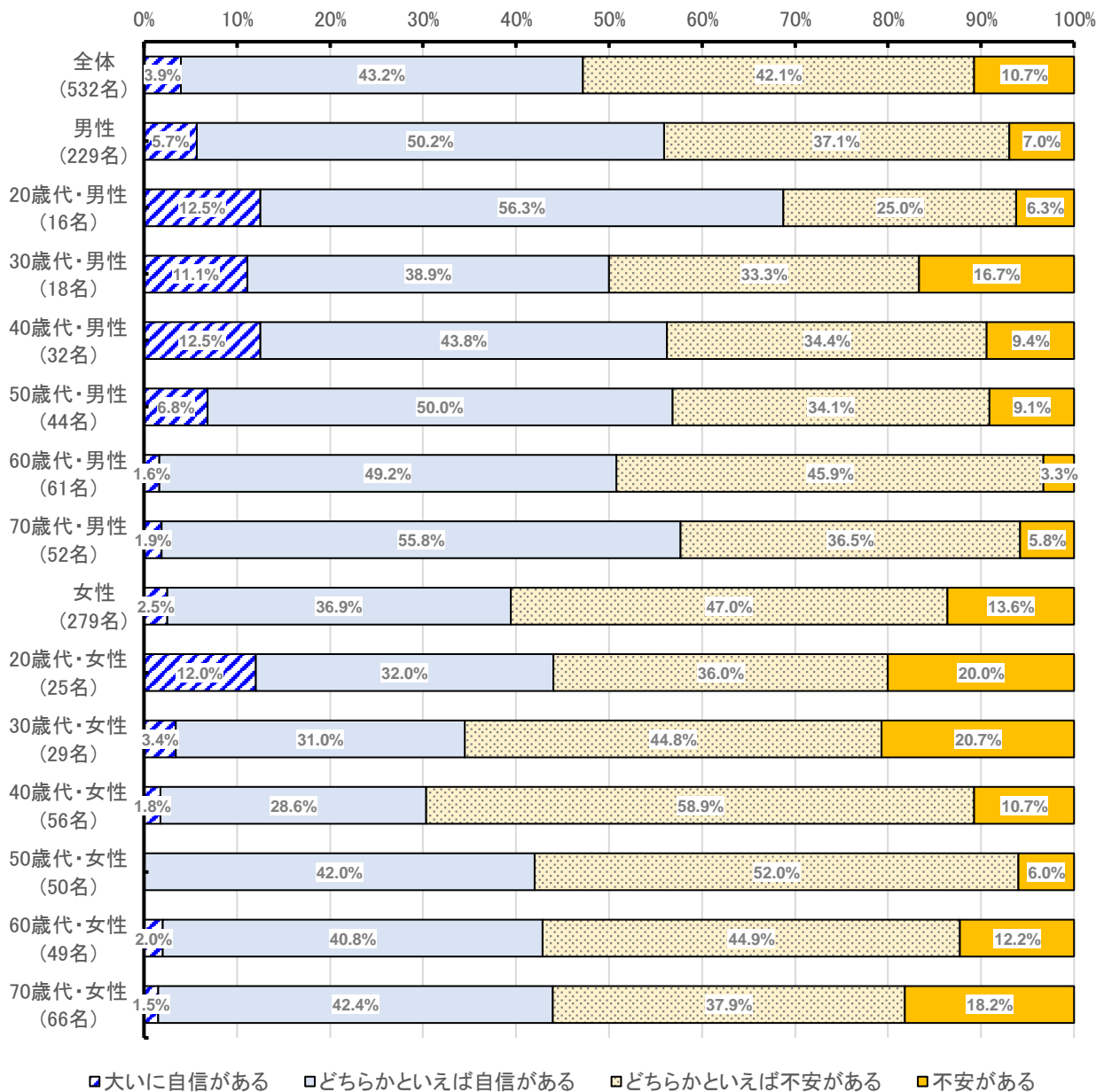
問1 普段のご自身の健康について、どう思いますか？

「大いに健康である」「どちらかといえば健康である」を合わせて80.9%となった。
世代別の分析では、40歳代男性が最も健康であると回答していた。



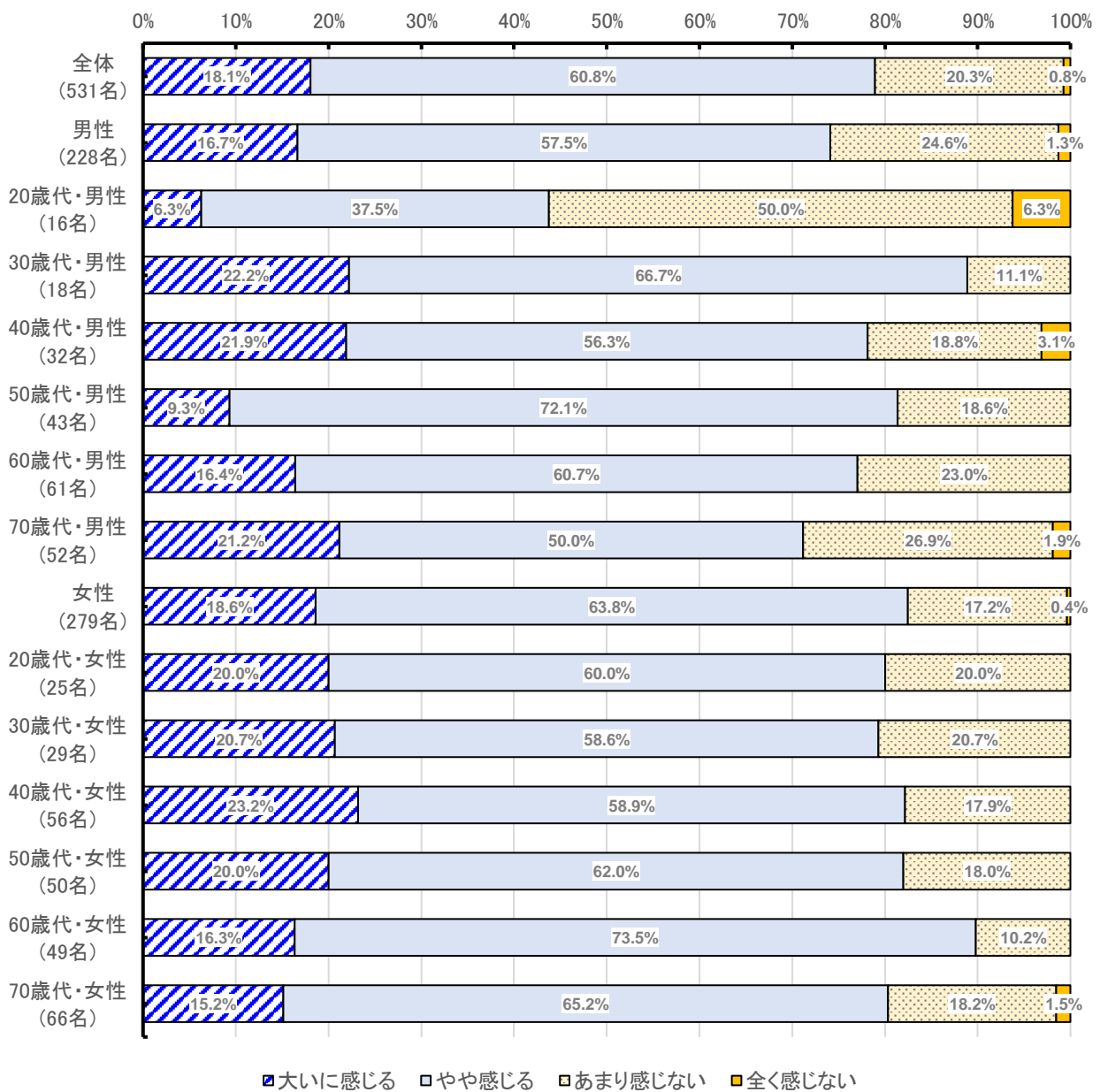
問2 普段のご自身の体力について、どう思いますか？

「大いに自信がある」「どちらかといえば自信がある」を合わせて47.1%となった。
世代別の分析では、20歳代男性が最も自信があると回答していた。



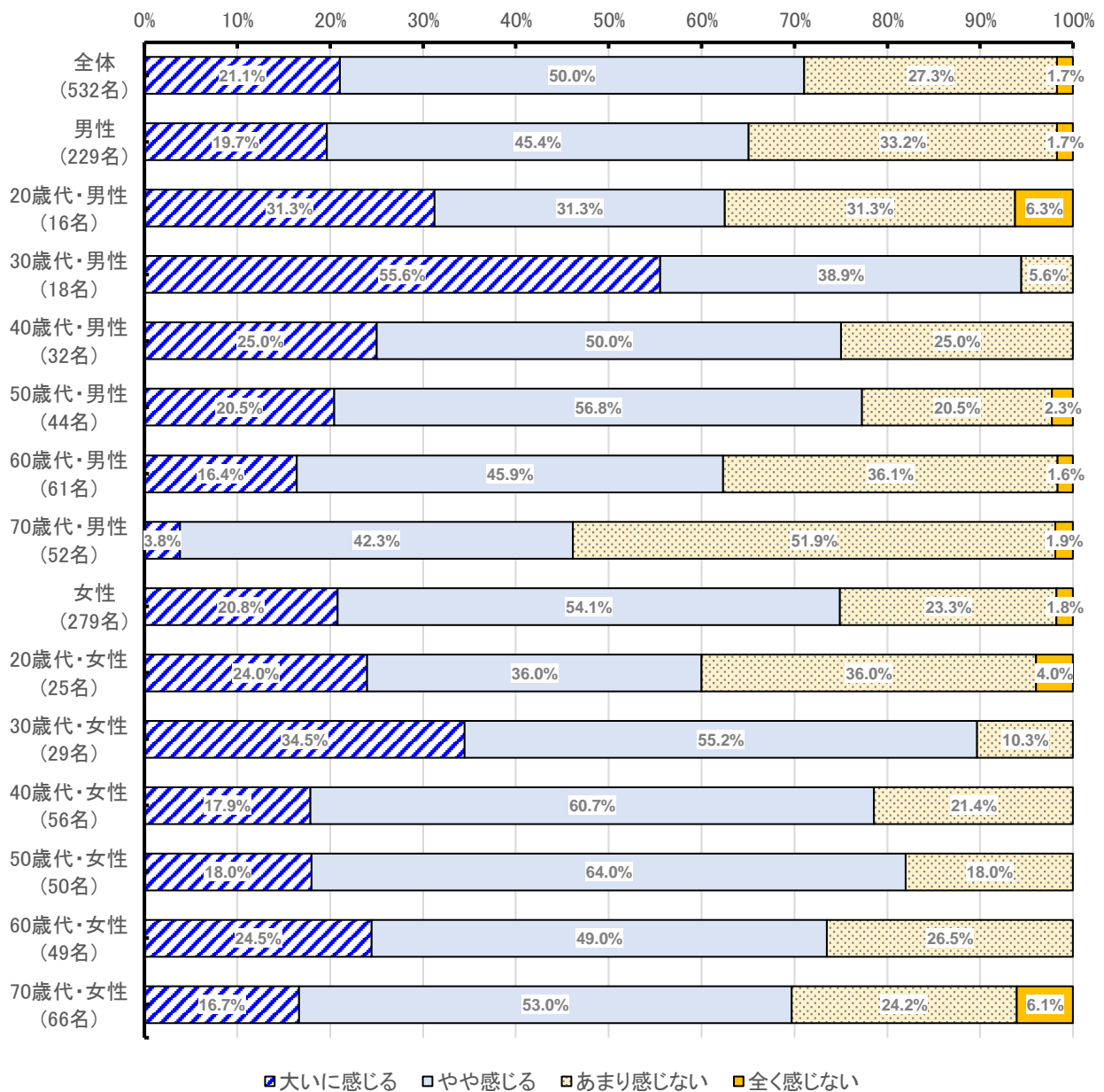
問3 普段、肉体的な疲労を感じますか？

「大いに感じる」「やや感じる」を合わせて78.9%となった。世代別の分析では、60歳代女性が最も肉体的な疲労を感じると回答していた。



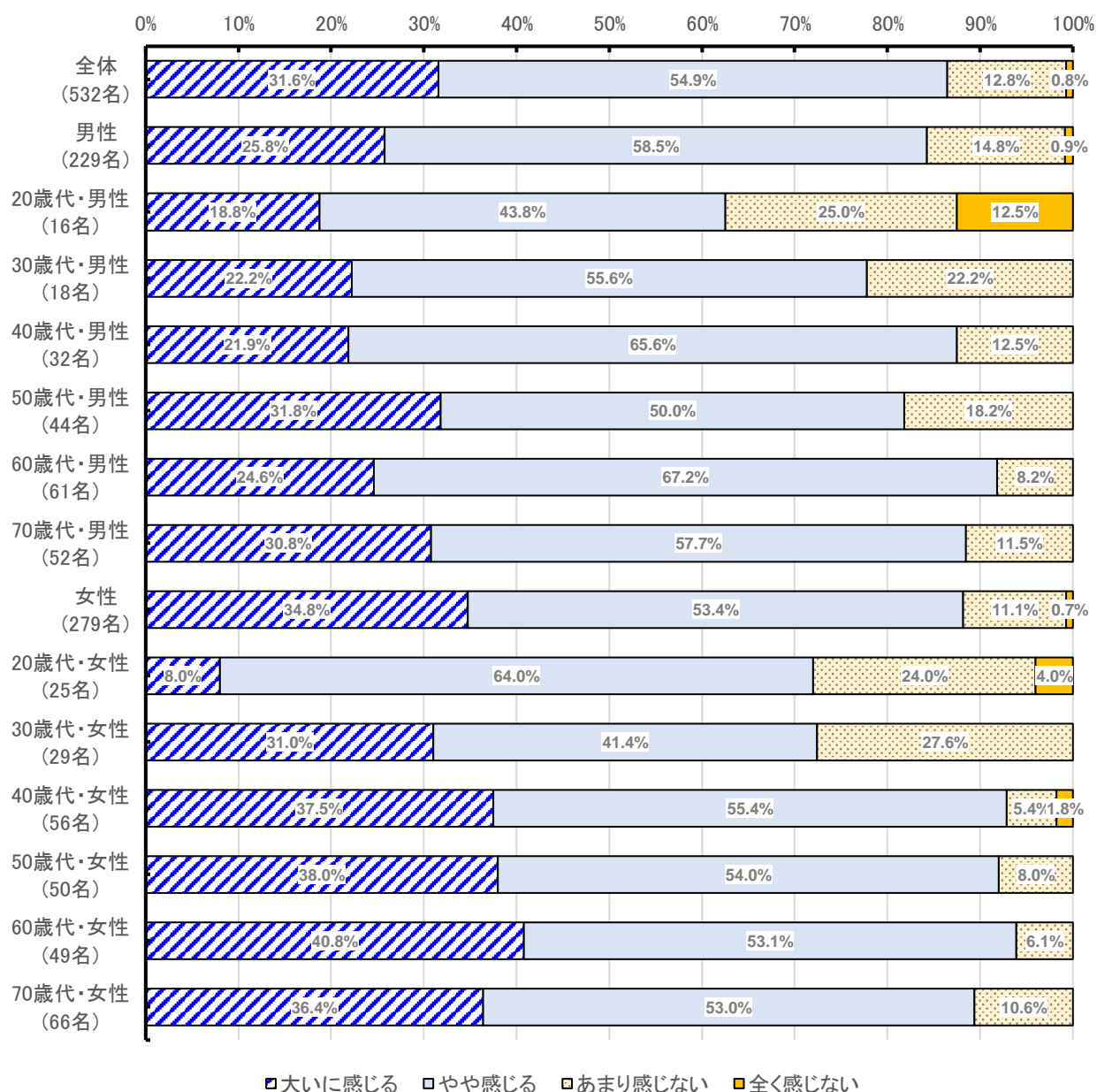
問4 普段、精神的な疲労、ストレスを感じますか？

「大いに感じる」「やや感じる」を合わせて71.1%となった。世代別の分析では、30歳代男性が最も精神的な疲労、ストレスを感じると回答していた。



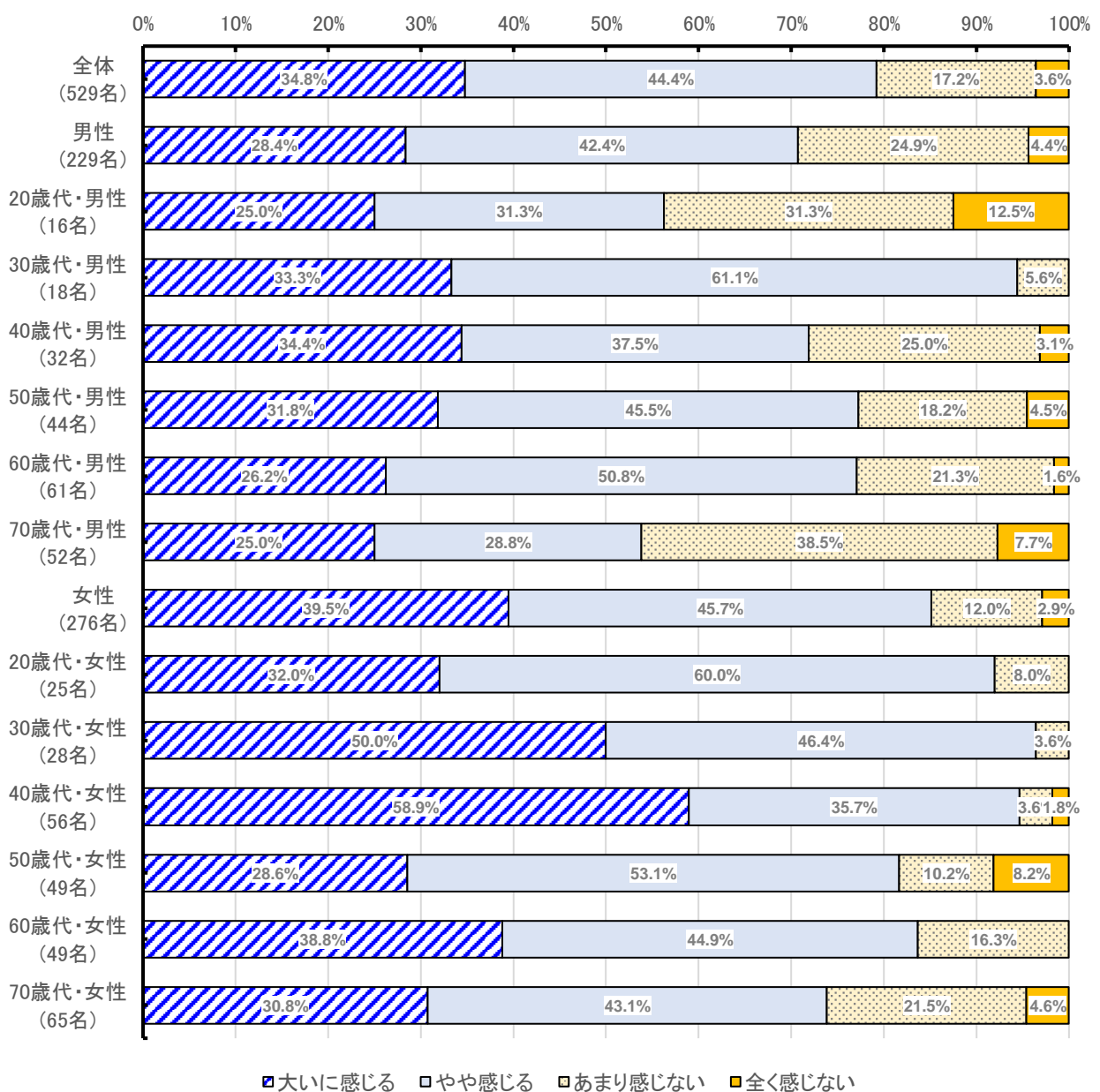
問5 普段、体力の衰えを感じますか？

「大いに感じる」「やや感じる」を合わせて86.5%となった。世代別の分析では、60歳代女性が最も体力の衰えを感じると回答していた。



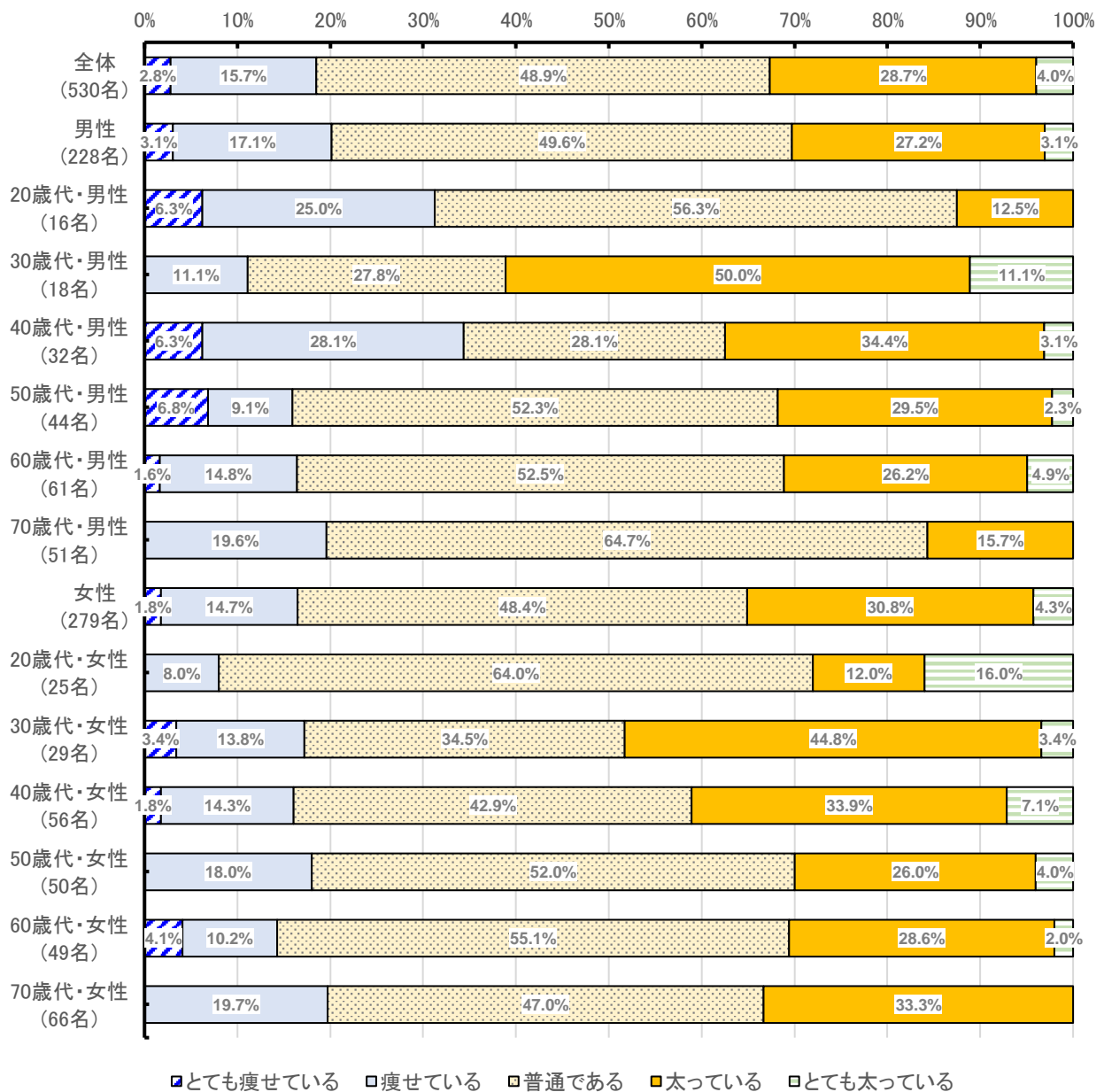
問6 普段、運動不足を感じますか？

「大いに感じる」「やや感じる」を合わせて79.2%となった。世代別の分析では、30歳代女性が最も運動不足を感じると回答していた。



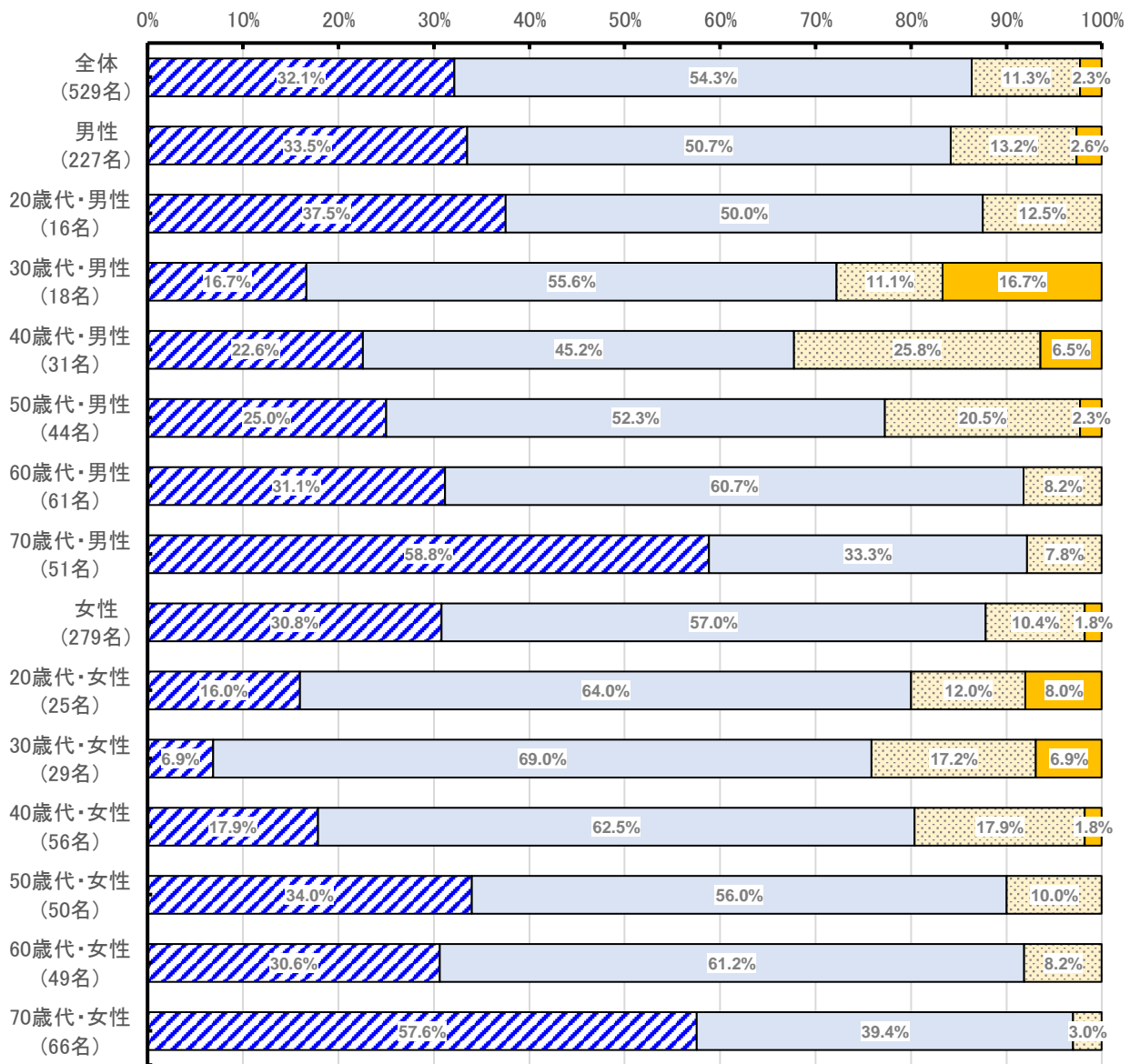
問7 ご自身の体型についてどのように感じますか？

「とても痩せている」「痩せている」を合わせて18.5%となった一方で、「とても太っている」「太っている」を合わせて32.7%となった。世代別の分析では、痩せていると40歳代男性が、太っていると30歳代男性が最も多く回答していた。



問 8 普段、健康や体力に注意していますか？

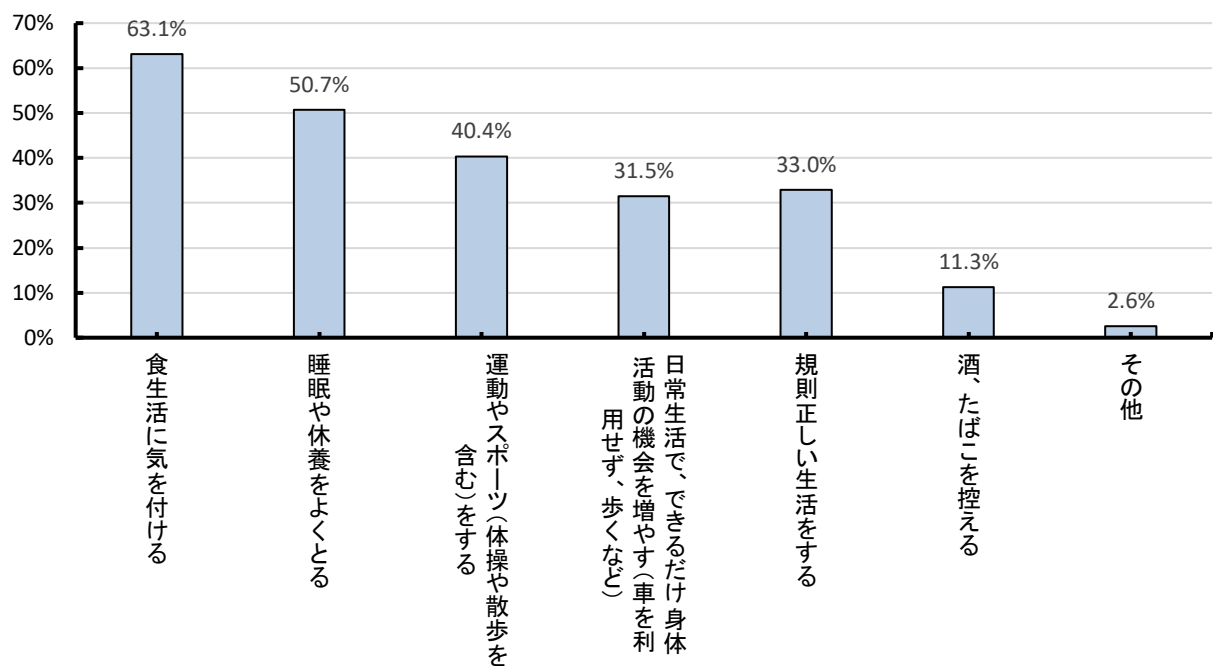
「注意している」「少し（時々）注意している」を合わせて 86.4% となった。世代別の分析では、70 歳代女性が最も健康や体力に注意をしていると回答していた。



□注意している □少し（時々）注意している □どちらかといえば注意していない □まったく注意していない

問9 日頃、健康や体力の維持増進のために、心がけていることはありますか。当てはまる番号を3つまで○で囲ってください。

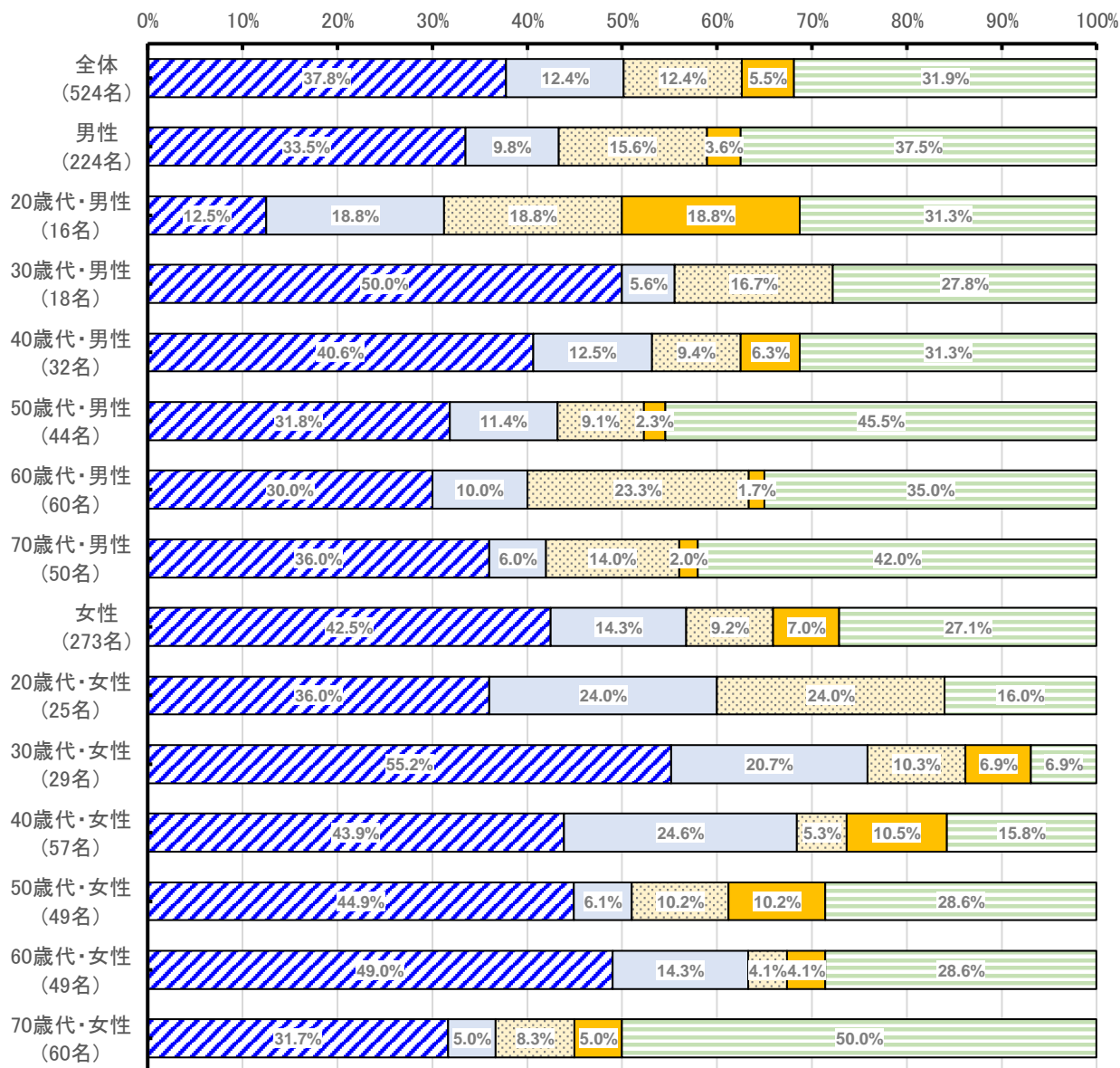
「食生活に気を付ける」が最も多く63.1%、その次に、「睡眠や休養をよくとる」の50.7%と続いた。前述の2つは、半数以上の人が気を付けている項目であった。



※3つ以上の回答者は、分析対象外として取り扱った。

問 10 運動・スポーツの実施意図と実施状況について伺います。当てはまる番号を1つだけ○で囲ってください。

運動の行動変容ステージは、無関心期が37.8%で、30歳代女性が最も多かった一方で、維持期は50%で、70歳代女性が最も多かった。

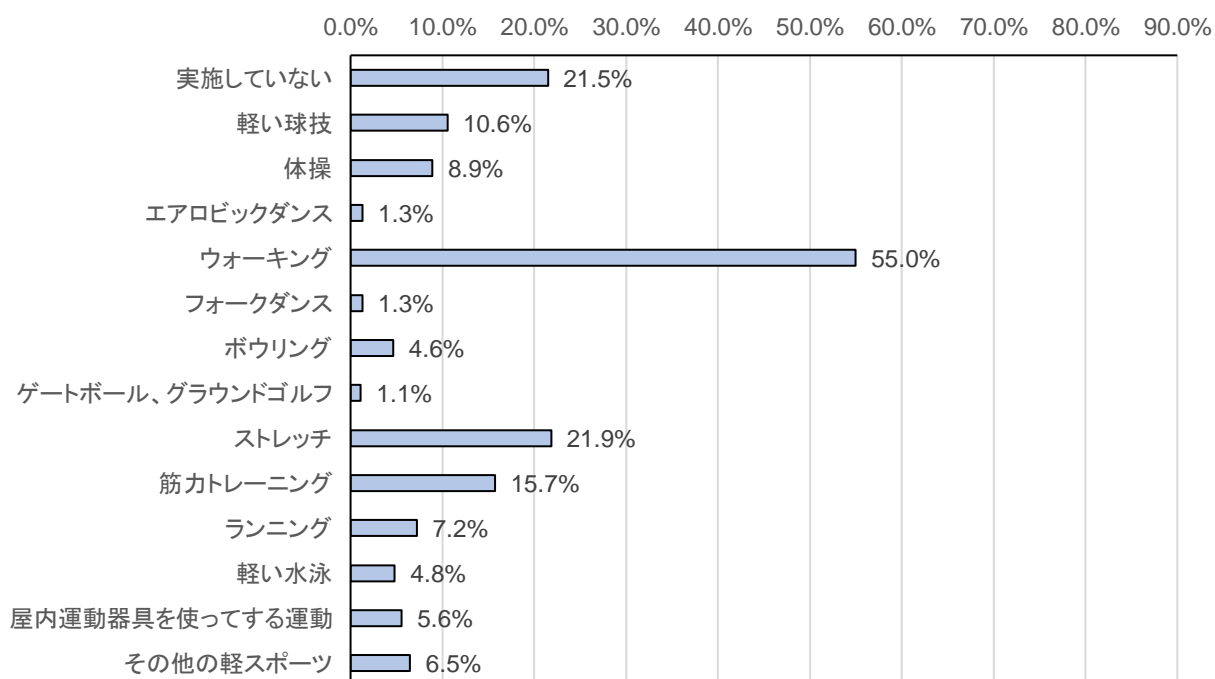


- 今後6ヶ月以内に運動・スポーツを始めるつもりはない
- 今後6ヶ月以内に運動・スポーツを始めるつもりである
- ときどきは運動・スポーツを行っており、1ヶ月以内に運動・スポーツを定期的を実施するつもりである
- 運動・スポーツを定期的実施しているが、まだ6ヶ月未満である
- 運動・スポーツを定期的6ヶ月以上実施している

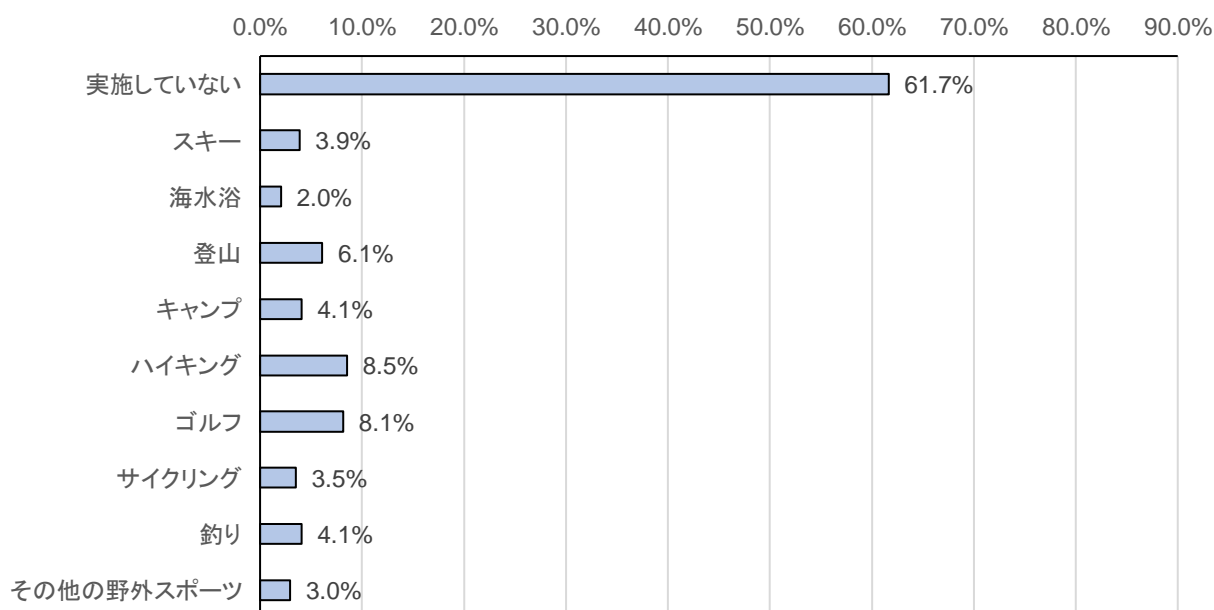
問 11 この 1 年間で 30 分以上行った運動やスポーツには何がありますか。それぞれの領域の当てはまる番号をいくつでも○で囲ってください。

最も多い実施率は、軽スポーツではウォーキング（297 人）、野外スポーツでハイキング（46 人）、競技スポーツはテニス（17 人）であった。なお、軽スポーツを実施していない人は 198 人、野外スポーツをでは 333 人、競技スポーツでは 433 人となった。

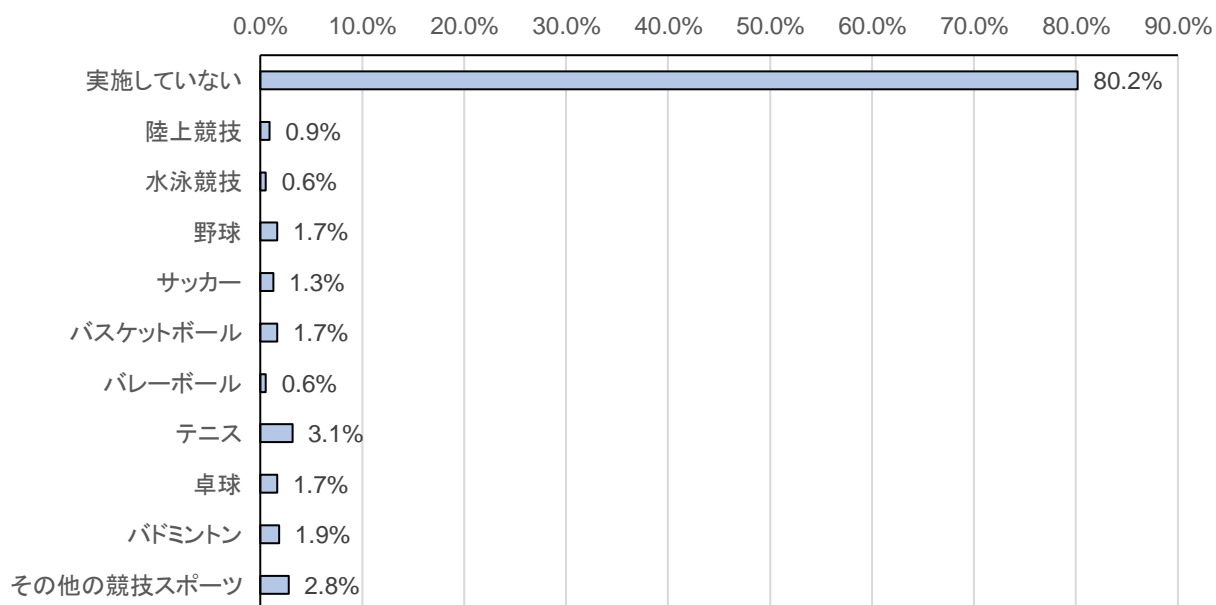
A. 軽スポーツ



B. 野外スポーツ

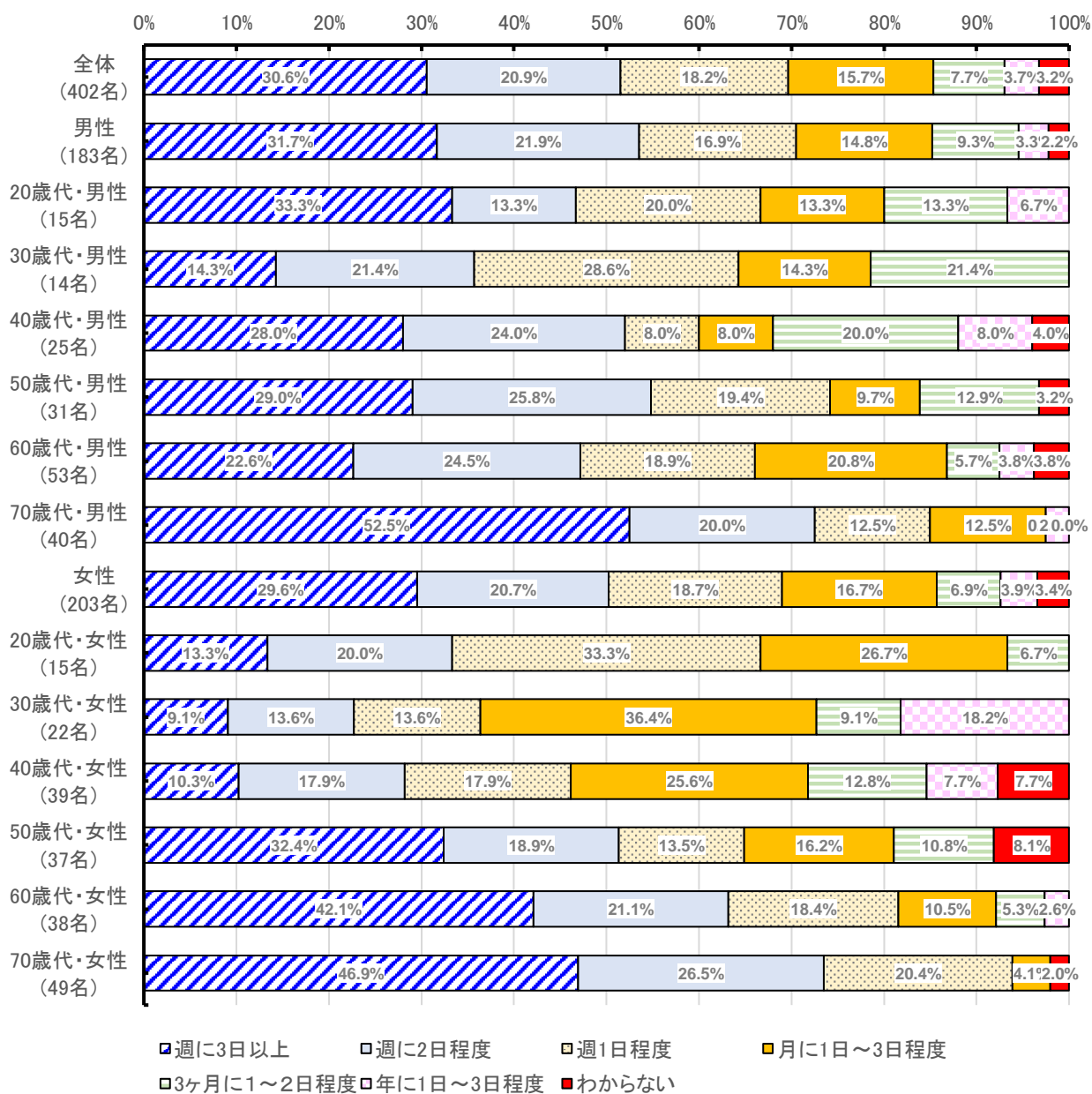


C. 競技スポーツ



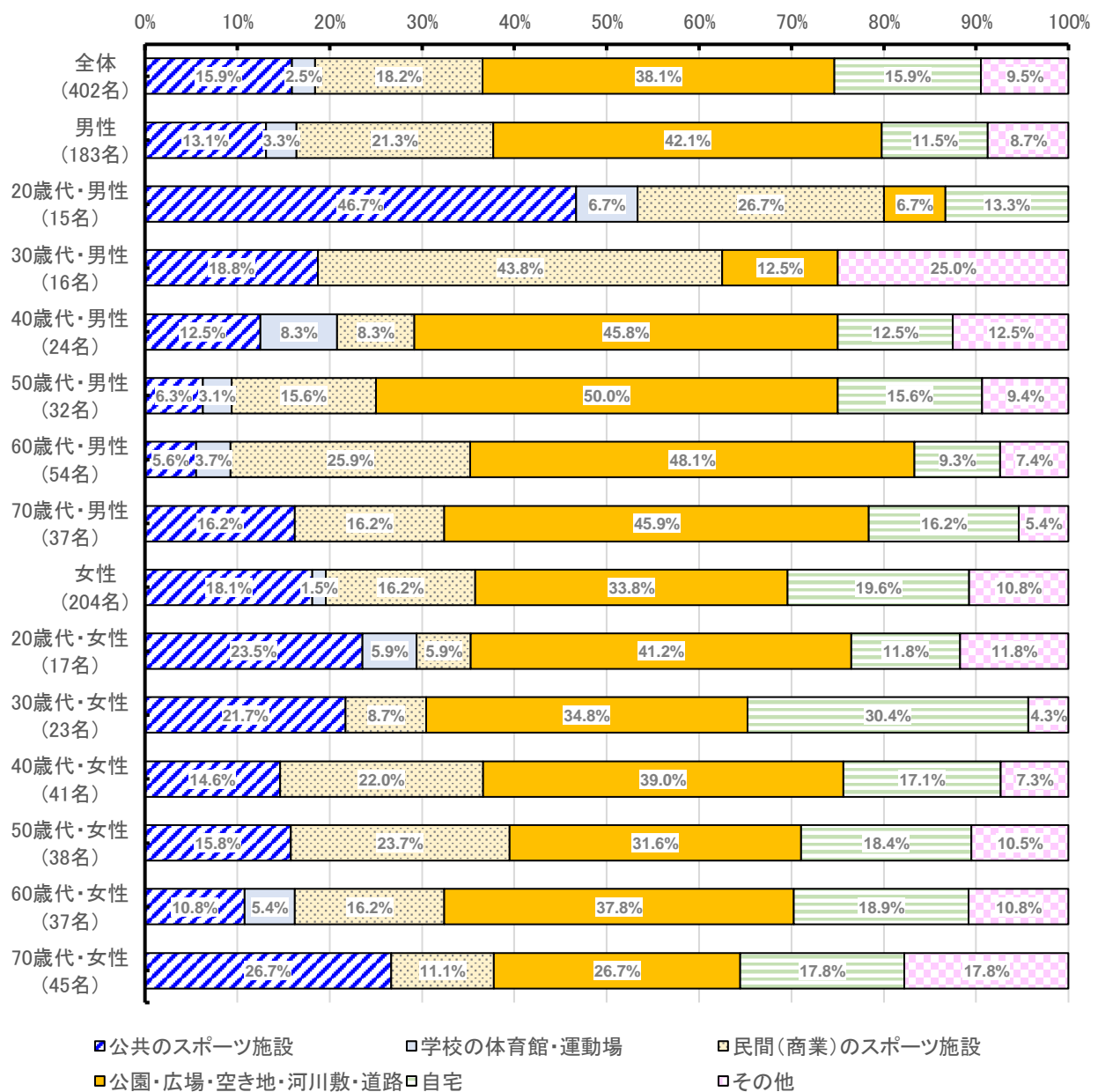
問12 問11のA、B、Cのいずれかの運動やスポーツを行った方にお尋ねします。この1年間で、30分以上運動した日数を全部合わせると、おおよそ、週当たり何日になりますか。当てはまる番号を1つだけ○で囲ってください。

問11で運動を実施している人の実施頻度は、週2日以上の人が51.5%おり、半数以上であった。また、週に1日程度の人までいれると69.7%であり、高い割合であった。



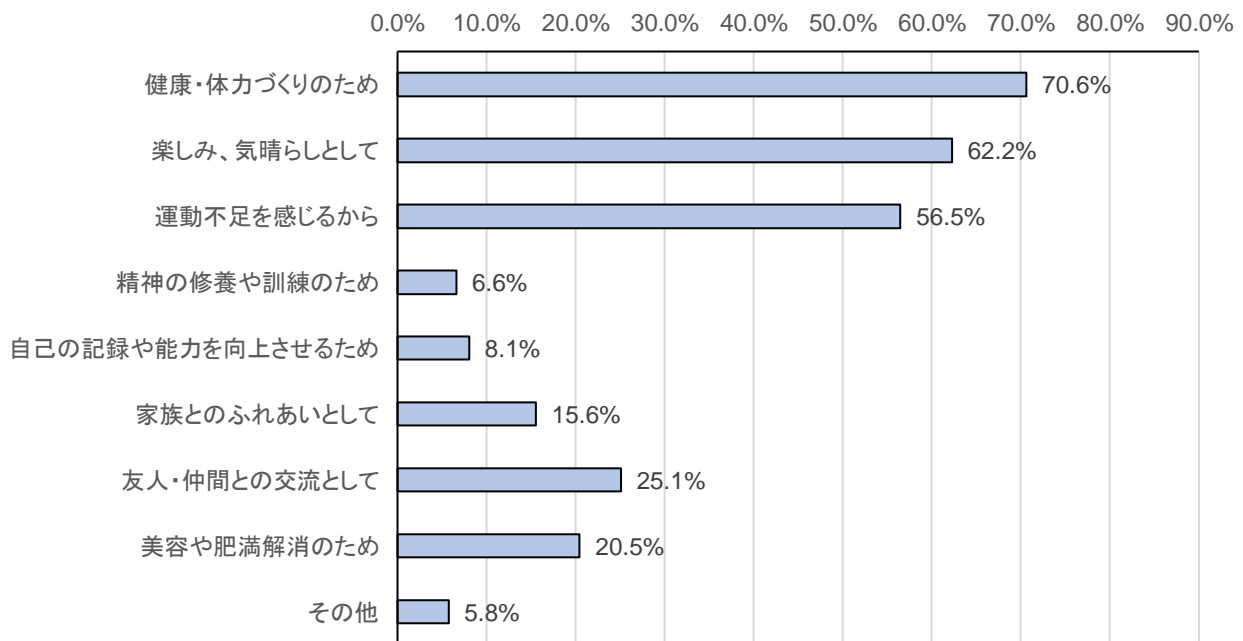
問 13 問 11 の A、B、C のいずれかの運動やスポーツを行った方にお尋ねします。運動やスポーツをする場所は主にどこですか。当てはまる番号を1つだけ○で囲ってください。

問 11 で運動を実施している人の実施場所は、公園等が最も多い 38.1%であり、次に民間（商業）のスポーツ施設の 18.2%が多かった。



問 14 問 11 の A、B、C のいずれかの運動やスポーツを行った方にお尋ねします。この 1 年間で運動やスポーツをした理由は何ですか？当てはまる番号を 3 つまで○で囲ってください。

問 11 で運動を実施している人の実施理由は、「健康・体力づくりのため」が最も多く 70.6%、2 番目に「楽しみ、気晴らしとして」が 62.2%、「運動不足を感じるから」が 56.5%であり、これらの項目を半数以上の人が選択した。

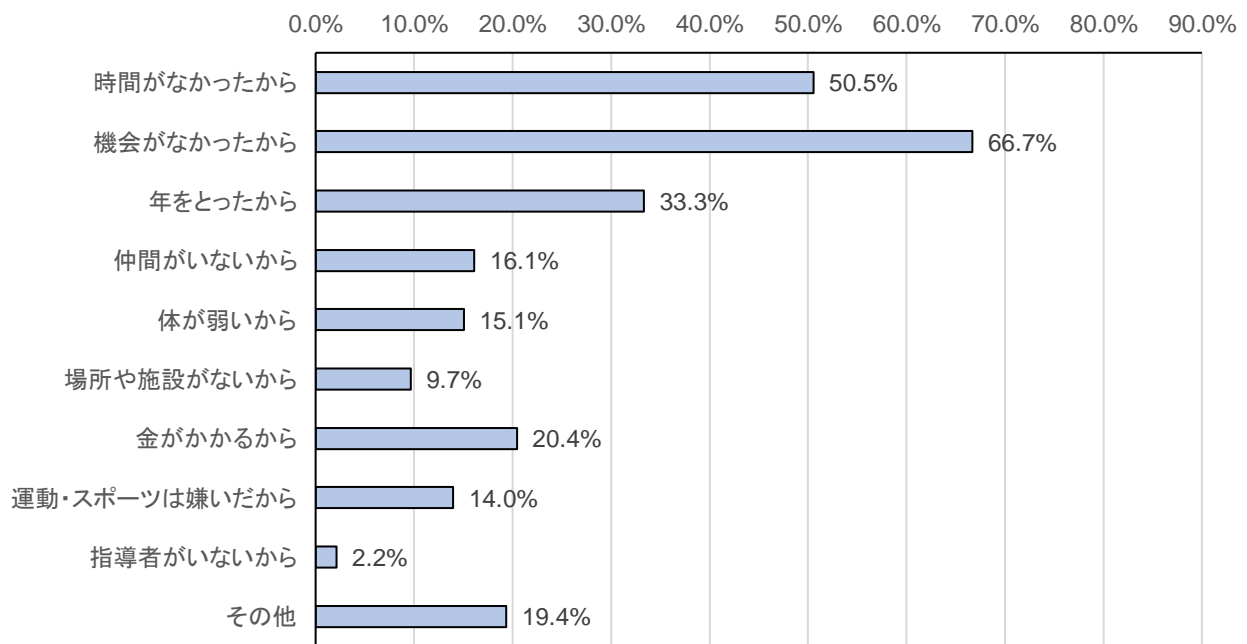


【その他の回答一覧】

- | | |
|------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 歩けなくならない為 | <input type="checkbox"/> リフレッシュ、習慣 |
| <input type="checkbox"/> 犬の散歩 | <input type="checkbox"/> 移動のため（ウォーキング） |
| <input type="checkbox"/> 健康促進の為 | <input type="checkbox"/> 楽しいから |
| <input type="checkbox"/> 子どもの相手として | <input type="checkbox"/> 子供の習い事 |
| <input type="checkbox"/> 睡眠の質向上 | <input type="checkbox"/> 職業上の理由 |
| <input type="checkbox"/> ストレス解消 | <input type="checkbox"/> 通勤 |
| <input type="checkbox"/> 体育普及員の為 | <input type="checkbox"/> 土地の管理 |
| <input type="checkbox"/> データ収集 | <input type="checkbox"/> 用事のついで |

問 15 問 11 の A、B、C のすべてで運動やスポーツを「1. 実施していない」と回答した方にお尋ねします。この 1 年間で運動やスポーツをしなかった理由は何ですか？当てはまる番号を 3 つまで○で囲ってください。

問 11 をすべて実施しなかった人の運動やスポーツをしなかった理由は、「機会がなかったから」が 66.7%と最も多く、次いで、「時間がなかったから」が 50.5%であった。

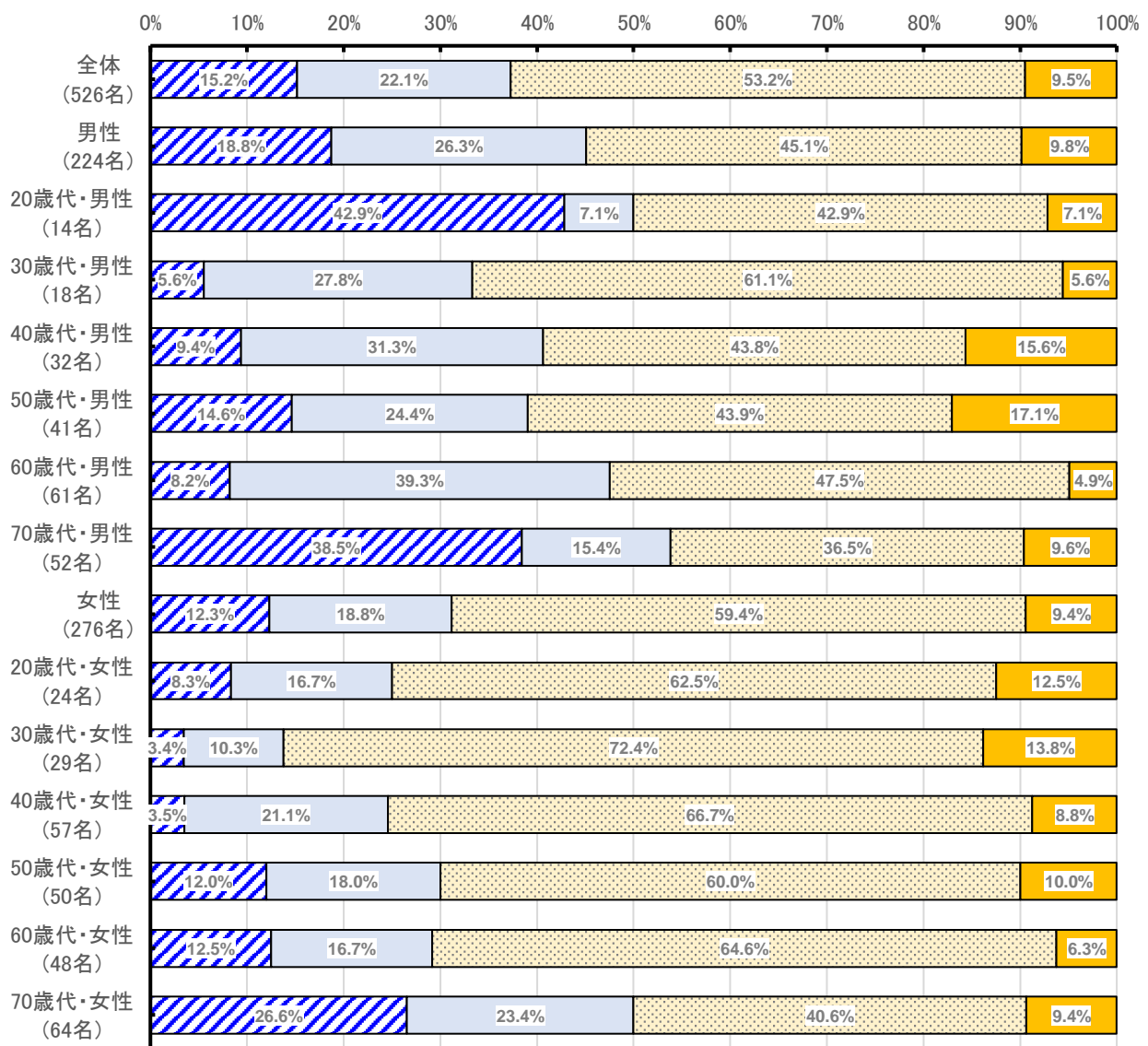


【その他の回答一覧】

- うつ状態が続いてるので無理
- 軽スポーツで十分だと思っている
- 腰を痛めてから運動できてない
- スポーツよりも優先したいことがあるから
- 疲れを感じるから
- やる気がない、面倒
- 育児中で余裕がない
- 家を出るというハードルがあるから
- 現在妊娠中
- 仕事優先の為、時間がない
- 足が悪いから
- 妊娠出産があったから

問 16 あなたは、運動・スポーツ活動についてどのように感じていますか。当てはまる番号を 1 つだけ○で囲ってください。

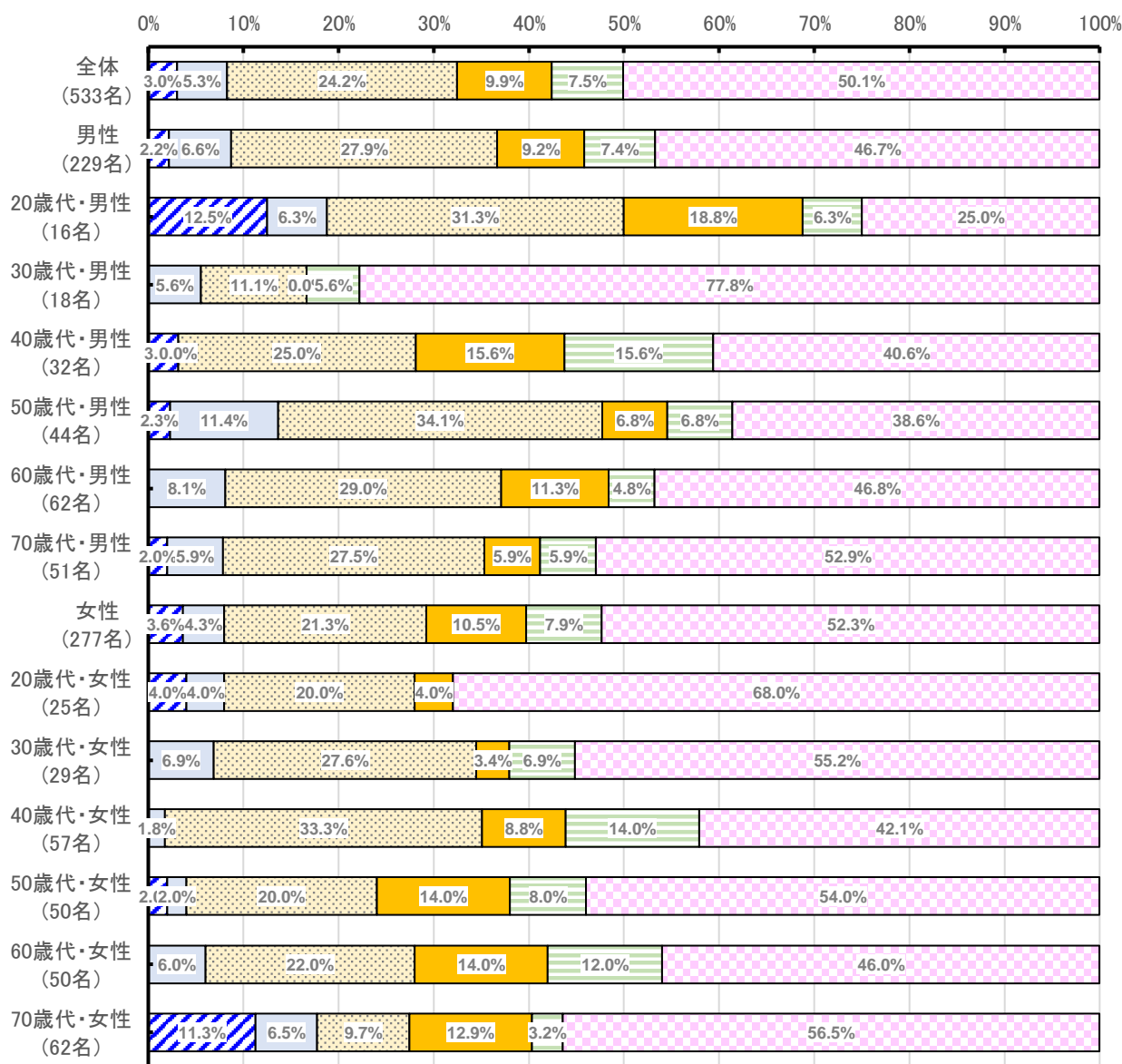
「もっと行いたい」の回答 22.1%となり、世代別では 60 歳代男性が最も多かった。一方で、「関心がない」の回答は 9.5%で、世代別では 50 歳代男性が最も多かった。



- 運動・スポーツを十分に行っており、満足している
- 運動・スポーツを十分に行っているが、もっと行いたい
- 運動・スポーツを行いたいと思っているが、できない

問 17 市内にある公共のスポーツ施設の利用について満足していますか。当てはまる番号を1つだけ○で囲ってください。

「満足している」の回答 8.3%となり、世代別では 20 歳代男性が最も多かった。一方で、「不満である」の回答は 7.5%で、世代別では 40 歳代男性が最も多かった。なお、「利用していない」人が約半数いた。



□満足している □やや満足している □どちらともいえない □やや不満である □不満である □利用していない

【満足の理由】

- 公園に身体を動かすものがある
- 週 1 回ヨガ教室に行っていて満足している
- 総合運動公園には時々行く、景色が好きだから。
- 気軽に利用できてありがたいが体育館の面数ももう少しある体育館が増えるとうれしい。
- 施設は多く、整っていると感じ、感謝しています。一方、もっと使い方の工夫や普及への行動もできると思います。
- テニスコートを利用しているが費用が手頃
- もう少しいろいろな場所にあるといいです。
- 安価で学校施設を利用させてもらっていることに満足しています。以前は故障していても直してくれなかったものの今回は速やかに対応していただき感謝しています。
- 冷暖房完備でない。利用料金は安くてもいい

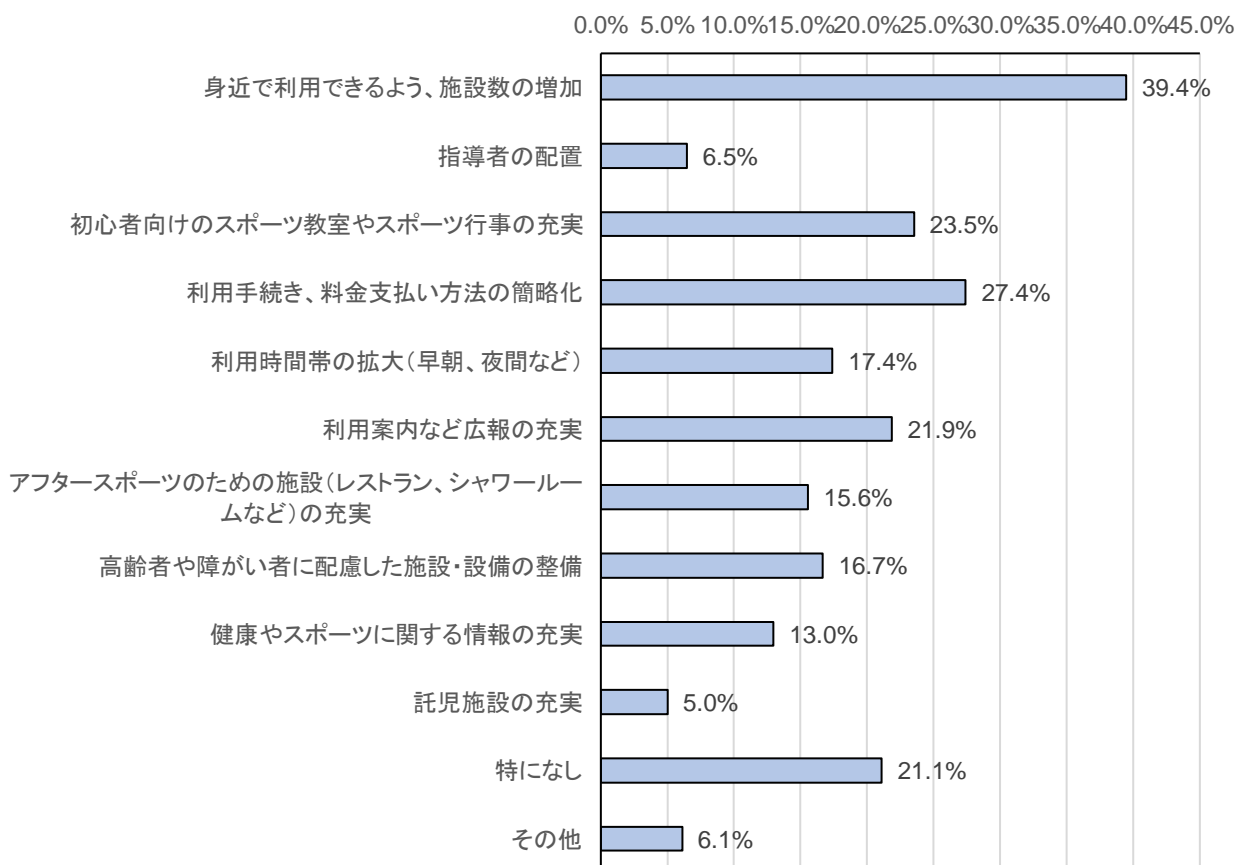
【不満の理由】

- 気軽に運動できるような屋内施設が無いと思う。冬は寒く、夏は暑いので動かない子どもがいると、中々難しく思う。子どもも遊べるプール施設などあればいいなと思う。(室内)・どんなものがあるか、まだ周知も足りてないように思う。・スポーツが出来る公園自体少ない。
- 青少年会館がなくなり活動出来る場所が少なく場所取りの抽選に外れると例会が中止になってしまう事が多々有ります。定期的に活動出来る施設が駅近くに有れば助かります。
- 以前テニスコートを借りようとしたのですが、手続きがなかなか通らず以降利用しようとはしなくなりました。
- 屋内水泳施設が欲しいです。(厚木ふれあいセンターのような) 子供が熱中症を気にする事なく使用出来るプール。夏休み小学校のプールがほぼ毎日中止になってしまいました。近隣の市に連れて行くのが大変。ダイミックに水が流れる遊び場が欲しいです。
- 温水プールがない
- 気軽に無料で体を動かす場所も機会もない
- 公共のスポーツ施設はすべてエアコンを設置していただきたい。年々気候が厳しくなっているので設備が整っていないのでは年間を通してスポーツができなくなる。またトイレはすべて洋式に変えていただきたいです。年配者にはトイレ問題はとても大きい。
- 施設数が少ないプールがない
- 施設数を増やして近くで行きたい。交通費がかかるので。
- 市武道場に冷暖房が無く夏場の稽古は無理である(剣道場)
- スポーツ施設として利用したいと思える場所がないあっても立地が悪い総合運動公園のジムは何度か利用したが設備が足りない
- スポーツ施設を利用したいが遠くていけない。市役所周辺にでも設置してもらえれば利用できるが
- どこにどのような施設があるか分からない。料金的な問題。
- どのような施設があるか分からない。自分から積極的に情報を取らないといけない。そもそも施設が少ないのではないかと思う。徒歩で行ける距離に何もない。
- トレーニング施設がない。大根公園に有るトレーニング施設のような施設が有れば利用したい。
- 平塚市秦野市のように公園内でウォーキングができる場所がないのが残念。林の中等で夏場も快適にウォーキングできるのが良い
- プールがない。公園が少ない。キャンプ場がない。体育館が少ない
- プールがほしい(おおね公園や平塚総

- 合体育館に行かないといけない)、大山登山の後に寄れる日帰り温泉がほしい(秦野まで行かないといけない)
- プールに保護者の付き添いが必要になった
 - 気軽に利用できる施設が近所に無い
 - 車がないと利用しにくい場所が多い
 - 充実していない
 - 抽選で外れてばかり
 - 予約方法が分かりづらく足が遠のいてしまう。厚木市や海老名市のような屋内プールやコミスポーツクラブなどがあればいい
 - 雨天時にウォーキングやジョギングをできる室内のコースがない
 - 季節により草の生え方がひどい。通常草の管理などはどうなってるのでしょうか。有料時間帯という事が一目で解る用に表示して欲しい。
 - 公民館を毎回利用出来ないため武道館を利用していますが、雨漏り修繕、冷房設備がないこと
 - 施設利用の交通の便がやや不満
 - 支払いに行く時間
 - ジムの器具を増やして欲しい 個人のプログラムを組んでくれると嬉しい
 - ジョギングが出来るような公園の整備をして欲しい
 - スポーツ施設が少ない。競技によっては施設が無い。
 - スポーツ施設だけにお金をかける事にならないようにしてもらいたい。山や川を大事にする。「不自然」を作らない整備にも目を向けて欲しい。スポーツをする限られた人々にだけお金をかけているように思います。
 - 体育館、運動公園が各一つしかない。仲間を集める方法がない
 - 手続きが難しい。送迎がないと行けない。
 - テニスコートの予約の仕方が前払いなのでやり辛い
 - どこかの団体に属しないと施設の利用は難しく利用にあたって予約抽選を経ないと利用出来ない。個人で気楽にスポーツする環境ではないと思う。結経その辺を歩くだけになってしまう。予約なしで気楽に使える卓球台、バスケ、バドミントン、バレーボールなどがあると嬉しい。
 - ナイター付きのテニスコートがない
 - 武道館のトイレを和式から洋式にして欲しい
 - ベンチが一つしかなく稼働式でないためやりたい種目に制限がある
 - 未病予防対策を推進してる一方で施設利用の有償化を実施しています。より体を動かすという点では無償化の検討をしていただき施設利用の推進をして欲しい。
 - もっと気楽に参加させてほしい。公園内にプールなど市の施設を作ってほしい。ラジオ体操を自治会でやって欲しい。
 - 陸上トラックが無い。運動公園の自由広場にジョギングコースがあるが幅が狭いし、距離が半端だし、距離表示(50mごと)が不明瞭な上(見えにくい)カーブが直角である。せめて、距離表示だけでも白線を引いていただけたらと思う。
 - 子供の習い事の練習場所に体育館を利用しているが、室内なのに蔭が這っていたり野鳥が飛んでいたりする。また、雨漏りがどこの施設でも問題になっている。
 - 施設が足りない 整備がいきとどいていない
室内プールが欲しい、ジムももう少し広い環境が欲しい。それならば、かなりの頻度で利用したい
 - 体育館の冷暖房設備の不十分さ、予約取得の面倒さ
 - 体育館を使う際、当日抽選なこと。事前にわかっている市外の施設を利用する等できるのに時間が無駄になる。
 - 利用登録がよく分からない

問 18 市立体育館、野球場、テニスコートなど、公共スポーツ施設にどのようなことを望んでいますか。当てはまる番号をいくつでも○で囲ってください。

公共スポーツ施設に望むこととして最も多かったことは、「身近に利用できるよう、施設数の増加」が39.4%と、最も多かった。次に、「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」が27.4%と高く、「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」23.5%であった。

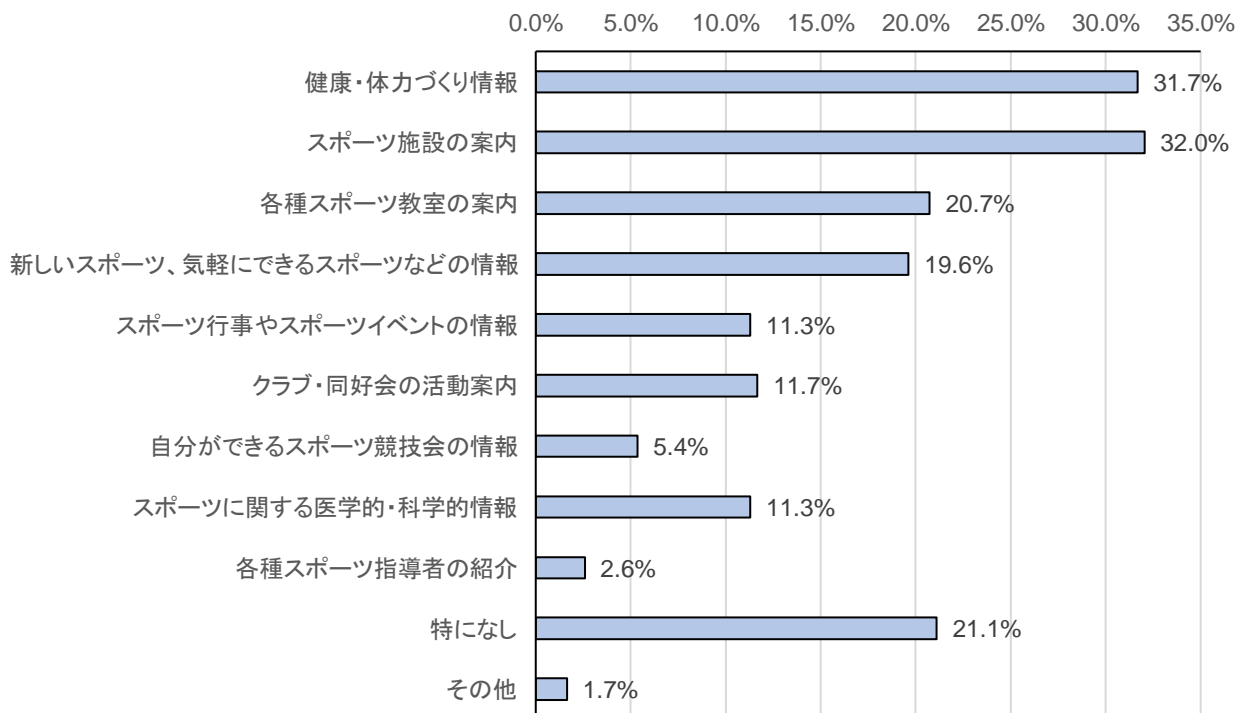


【その他の回答】

- 1人でも参加しやすい行事
- 屋内プールがあればいい
- 現行施設の整備
- 子供たちがスポーツに活用出来る用に充実していただきたい。
- 市のHPの検索性が他市と比べて悪い。
- 駐車場の充実
- 日帰り温泉施設が欲しい
- 無料で一人でも利用出来るといい
- 利用料金を安く
- 私の母は視覚障害者です。段差のない歩道の整備や案内をしてもらいたいです。
- 高齢者の為の健康維持の為歩かせたい
- 駅に近い水泳ができるところ
- 屋根の修繕(雨漏り対策)
- 温水プール
- 空調の設置、整備
- 車がなくても通いやすい所に欲しい。駅近とか
- 小体育館が利用できることを利用2時間くらい前までに確定してほしい。
- 冷暖房設備の完備(避難所としても早急に対応して欲しい)

問 19 あなたは、次にあげる運動やスポーツに関する情報のうち、どのような情報が欲しいと思いますか。当てはまる番号を3つまで○で囲ってください。

欲しい情報は、「スポーツ施設案内」が32.0%と最も高く、次いで、「健康・体力づくり情報」が31.7%であり、この2項目について30%以上の人が選択した。

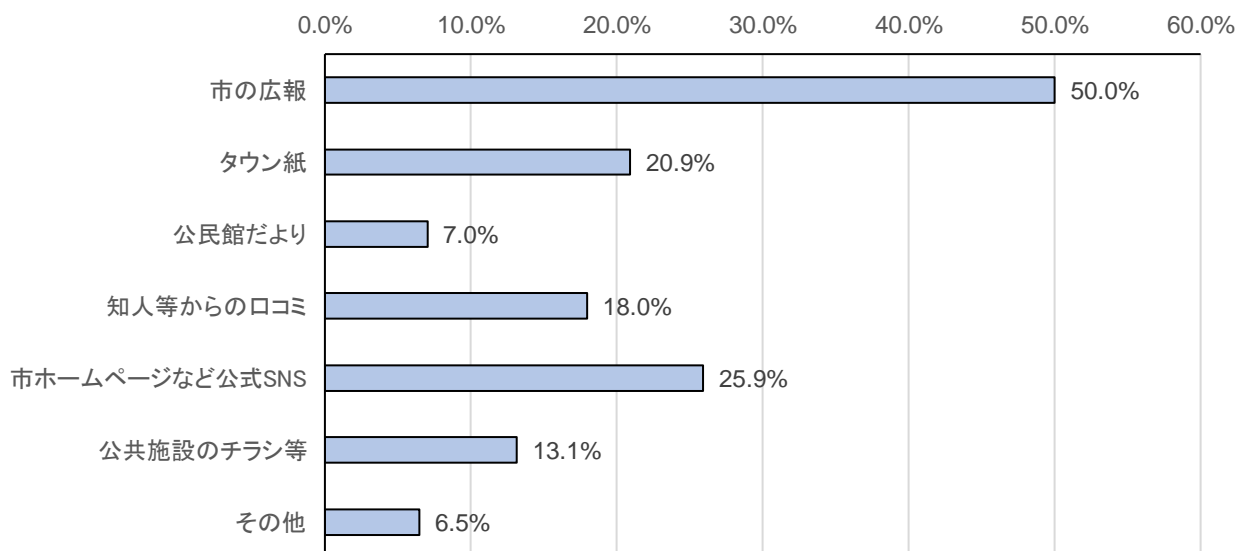


【その他の回答】

- ウォーキングコース等の情報
- 高齢者向けの簡単なスポーツ
- 仕事をしていると昼間は出来ないの
で夜の情報がほしい
- 市民のスポーツに対する意識を高め
る活動が不足している
- 子供が気軽に参加出来るイベント

問 20 あなたは、伊勢原市内の運動やスポーツに関する情報をどのような手段で得ていますか？当てはまる番号を3つまで○で囲ってください。

情報を得ている手段は、「市の広報」が50.0%と最も多く、それ以外の項目は、3人に1人以下が選択した。

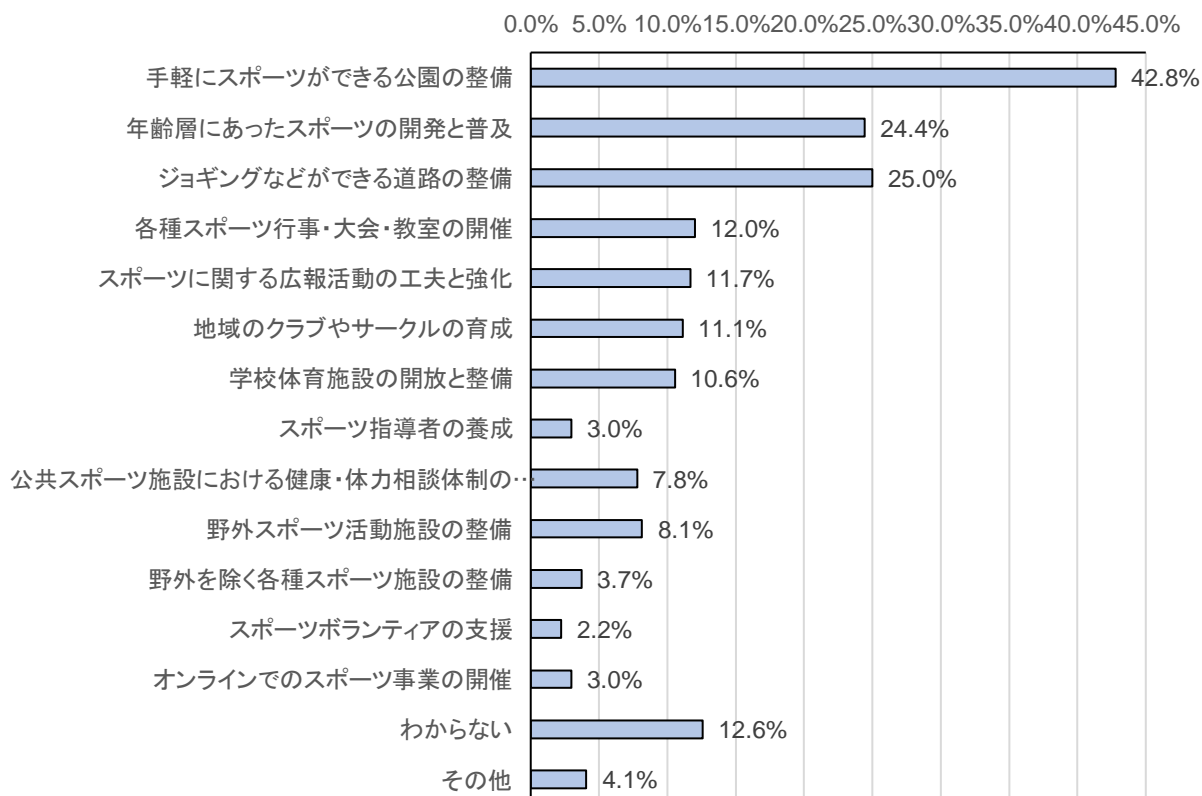


【その他の回答】

- 朝日新聞のチラシ
- インスタグラム
- インターネット検索
- 携帯ニュース
- 市からの情報はどこから入手するのかわからない
- 情報に興味ない
- そもそも見てない
- 特に情報は必要としてない
- 非公式のSNS,GoogleMap等
- 駅に貼ってあるポスター
- 駅前の張り紙
- 何も見ていない
- 家族からの情報
- 回覧板
- 興味がない
- 得ようとする時間がない
- 特に見ない
- 特に無いが、見てるとすれば町内会の回覧板

問 21 スポーツ推進を図るため、市は今後どのような取り組みをすべきだと思いますか。当てはまる番号を3つまで○で囲ってください。

スポーツ推進のために行うべき取組として、「手軽にスポーツができる公園の整備」が最も多く、42.8%、次いで、「ジョギングなどができる道路の整備」が25.0%、「年齢層にあったスポーツの開発と普及」が24.4%で、これらが約25%以上の人が回答を選択した。

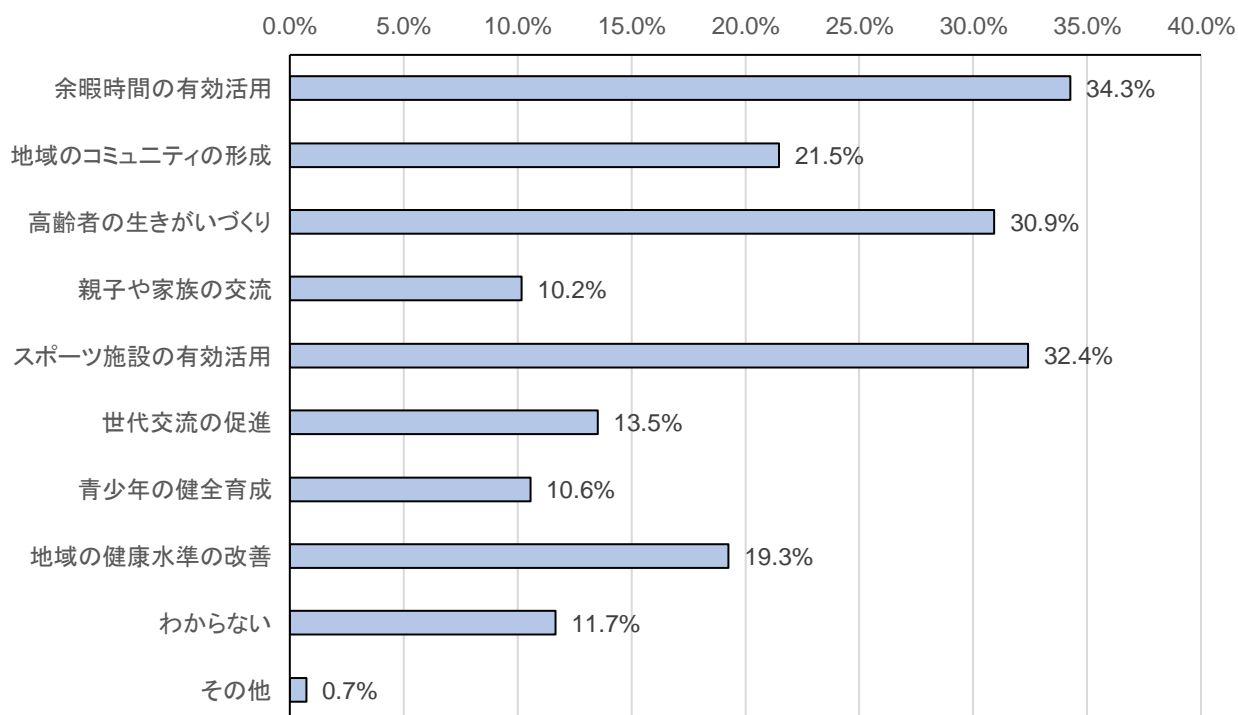


【その他の回答】

- ウォーキング促進のための遊歩道の整備
- 危険と言われるスポーツの育成、スケボー、バイククロス、モトクロス、ジムカーナ
- 現状で充分、維持、保持に努める事が重要
- 子どもと参加できるスポーツ教室やイベントの開催や案内
- サイクリングコースの整備
- 施設自体の充実
- 優れた取り組みを行っている市町村のベストプラクティスをまねる
- スポーツドクターやトレーナーを各学校へ派遣。成長期特有の障害、外傷を地域としてサポート。
- 段差のない歩道整備と案内
- 身近に活動出来る場所
- 屋根の修繕(雨漏り対策)
- 屋内プールの建設
- 公園の保守や安全確保のため巡回する係員などの配備
- 工業団地の歩道をジョギングコース化してもよいと思うのですがどうでしょうか(鈴川公園の駐車場を使えるようにする)

問 22 あなたは、地域のスポーツ推進にどのような効果を期待していますか。当てはまる番号を3つまで○で囲ってください。

地域のスポーツ推進によって期待する効果は、「余暇時間の有効活用」が34.3%と最も多く、次いで、「スポーツ施設の有効活用」が32.4%、「高齢者の生きがいづくり」が30.9%で多かった。

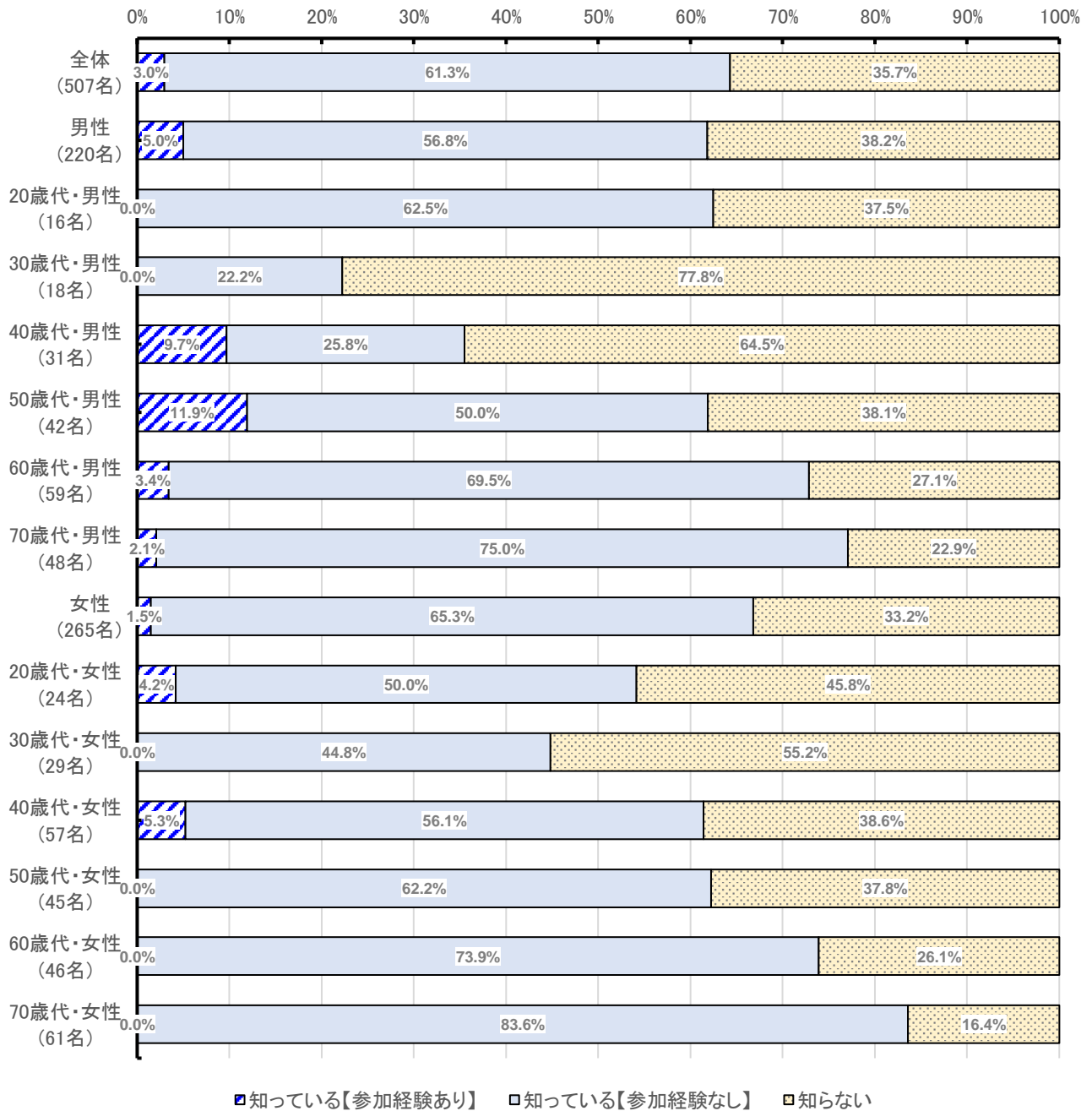


【その他の回答】

- 伊勢原から世界へ
- 体力作り

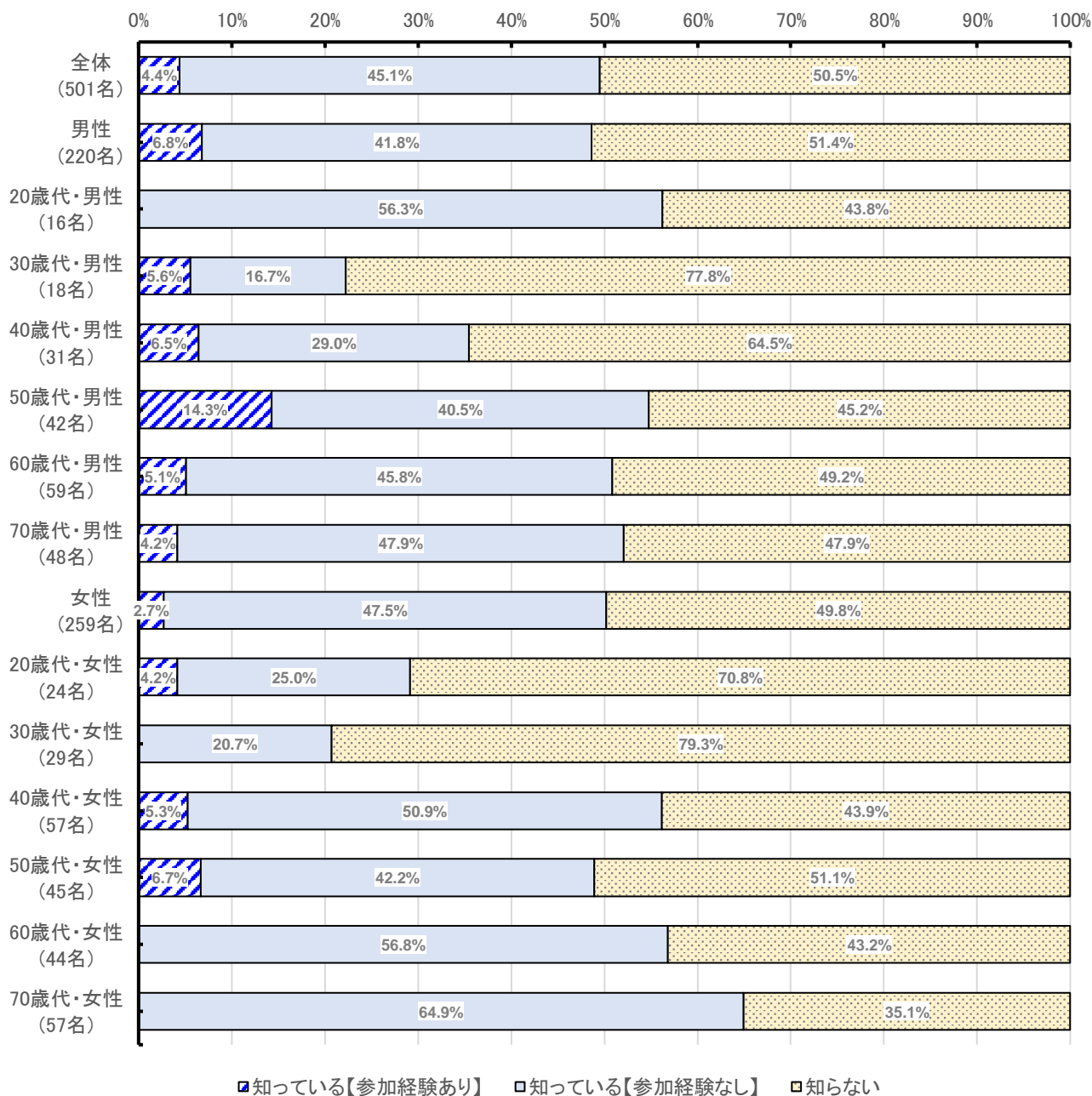
問 23-1 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。
「伊勢原市駅伝競走大会」

「伊勢原市駅伝競走大会」の参加経験ありは 3.0%、認知度は 64.3%であった。



問 23-2 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。
「市民走れ走れ大会」

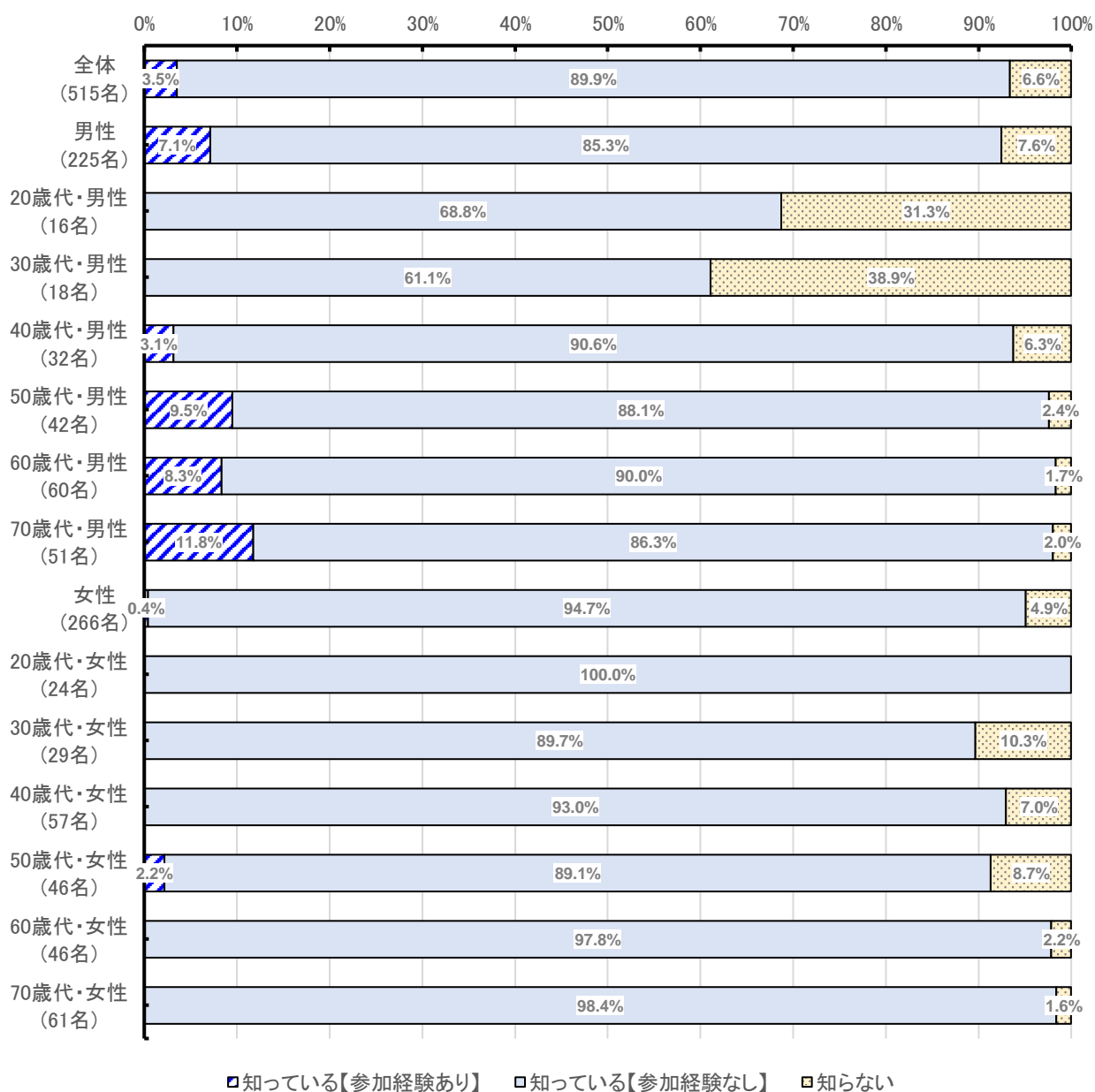
「市民走れ走れ大会」の参加経験ありは 4.4%、認知度は 49.5%であった。



問 2-3 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。

「大山登山マラソン大会」

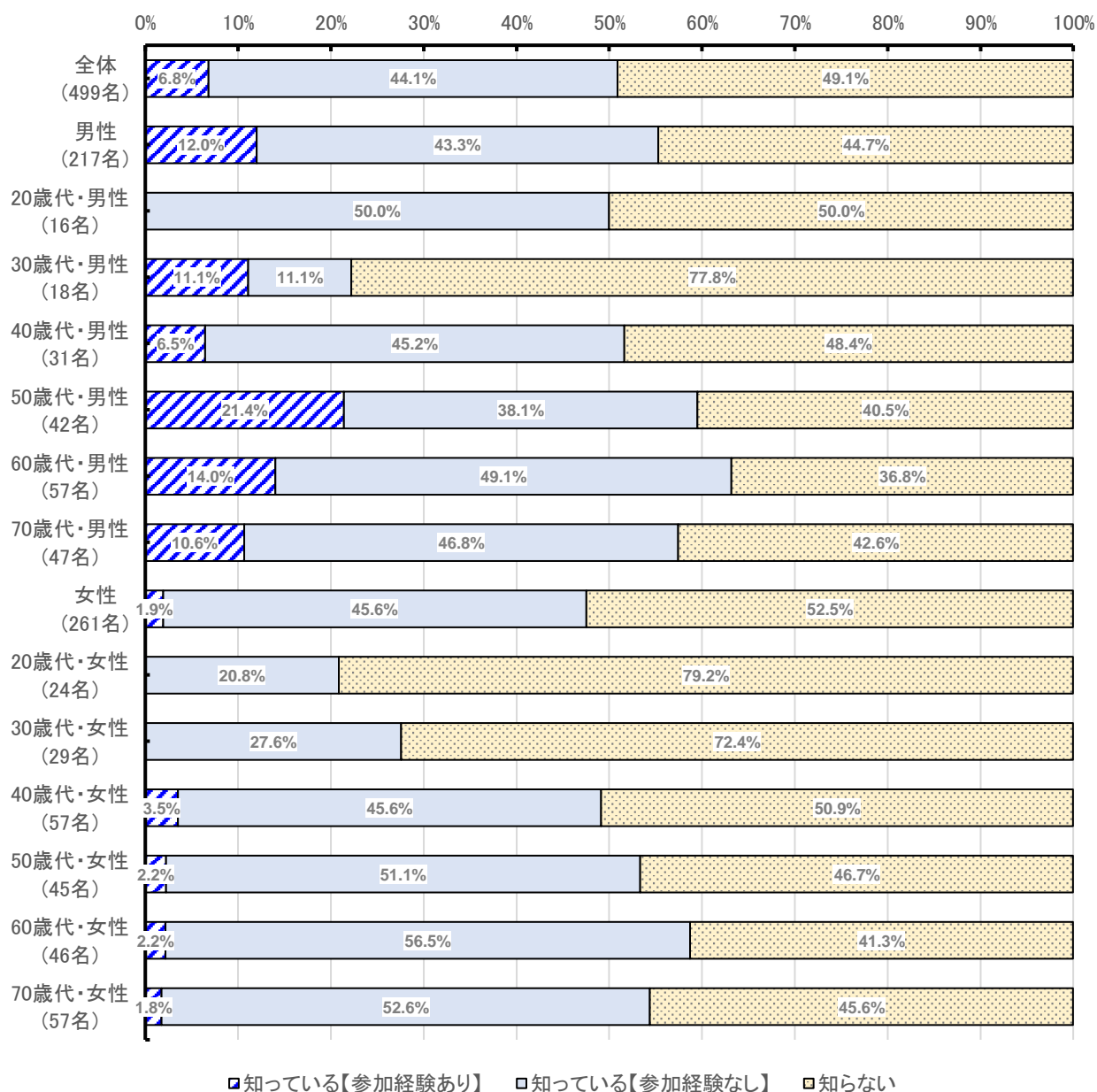
「大山登山マラソン」の参加経験ありは 3.5%、認知度は、93.4%であった。



問 2-4 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。

「伊勢原市総合体育大会」

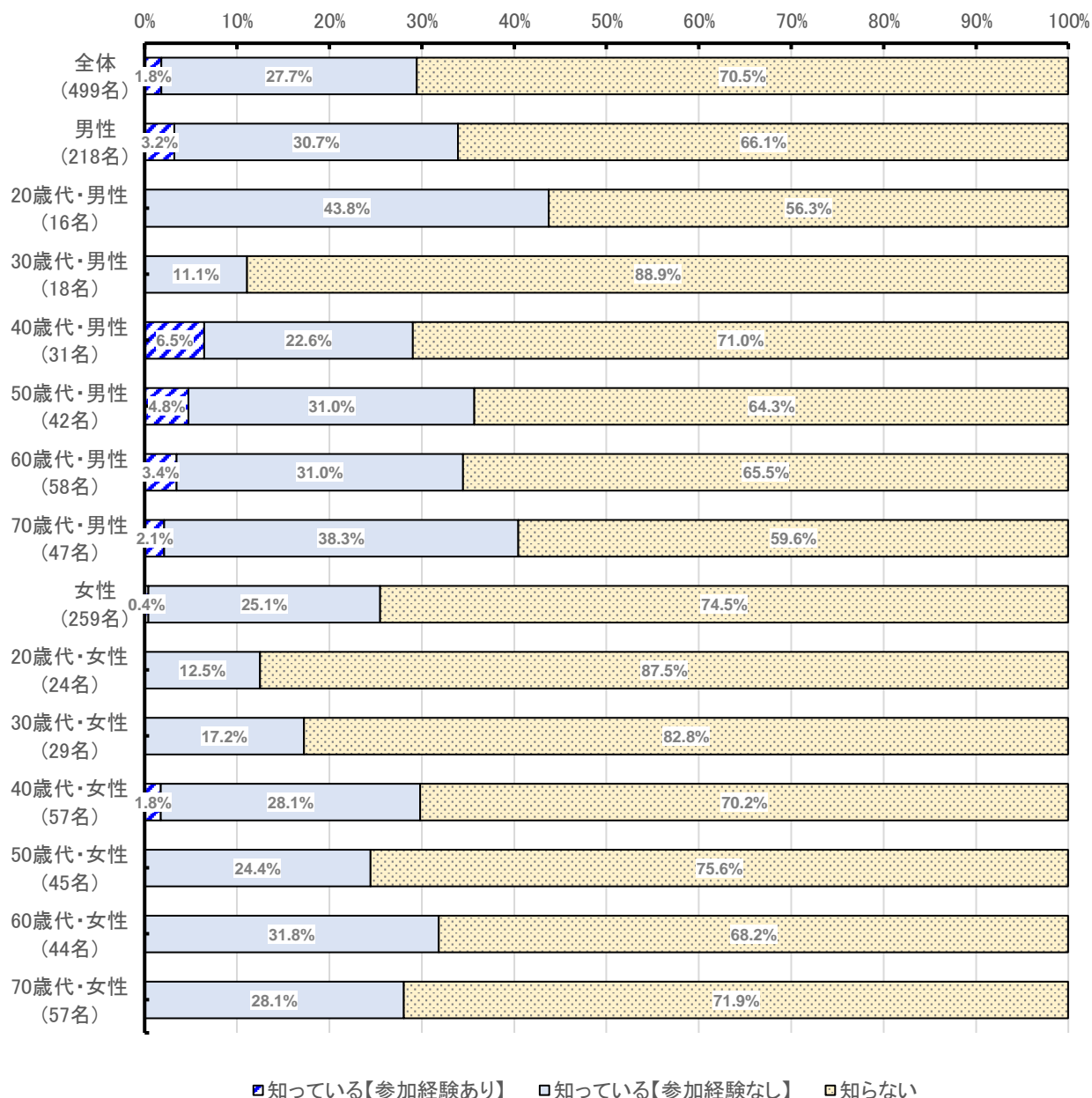
「伊勢原市総合体育大会」の参加経験ありは 6.8%、認知度は 50.9%であった。



問 23-5 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。

「伊勢原市選手権大会」

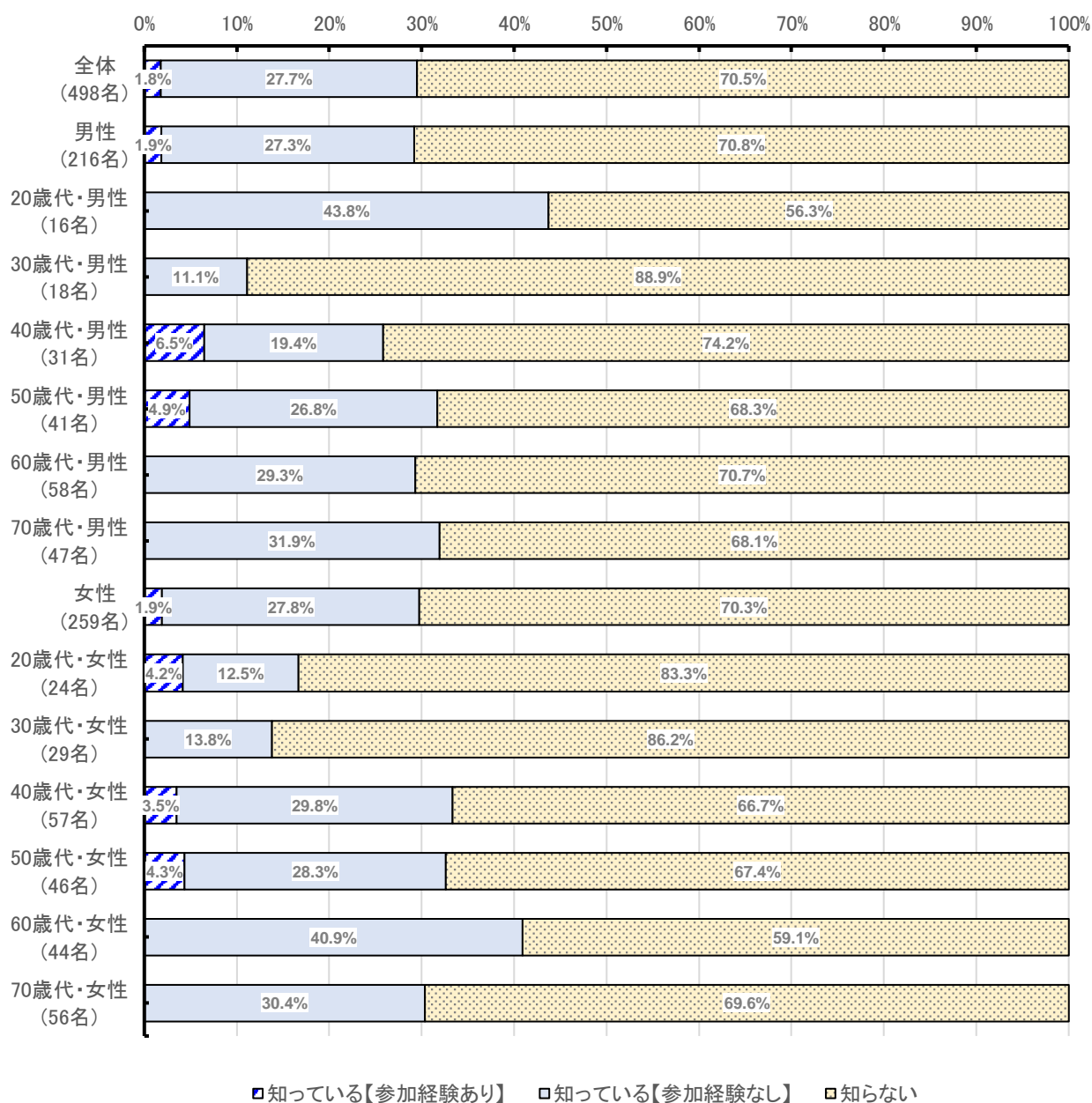
「伊勢原市選手権大会」の参加経験ありは 1.8%、認知度は 29.5%であった。



問 23-6 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。

「すこやか少年少女スポーツフェスティバル」

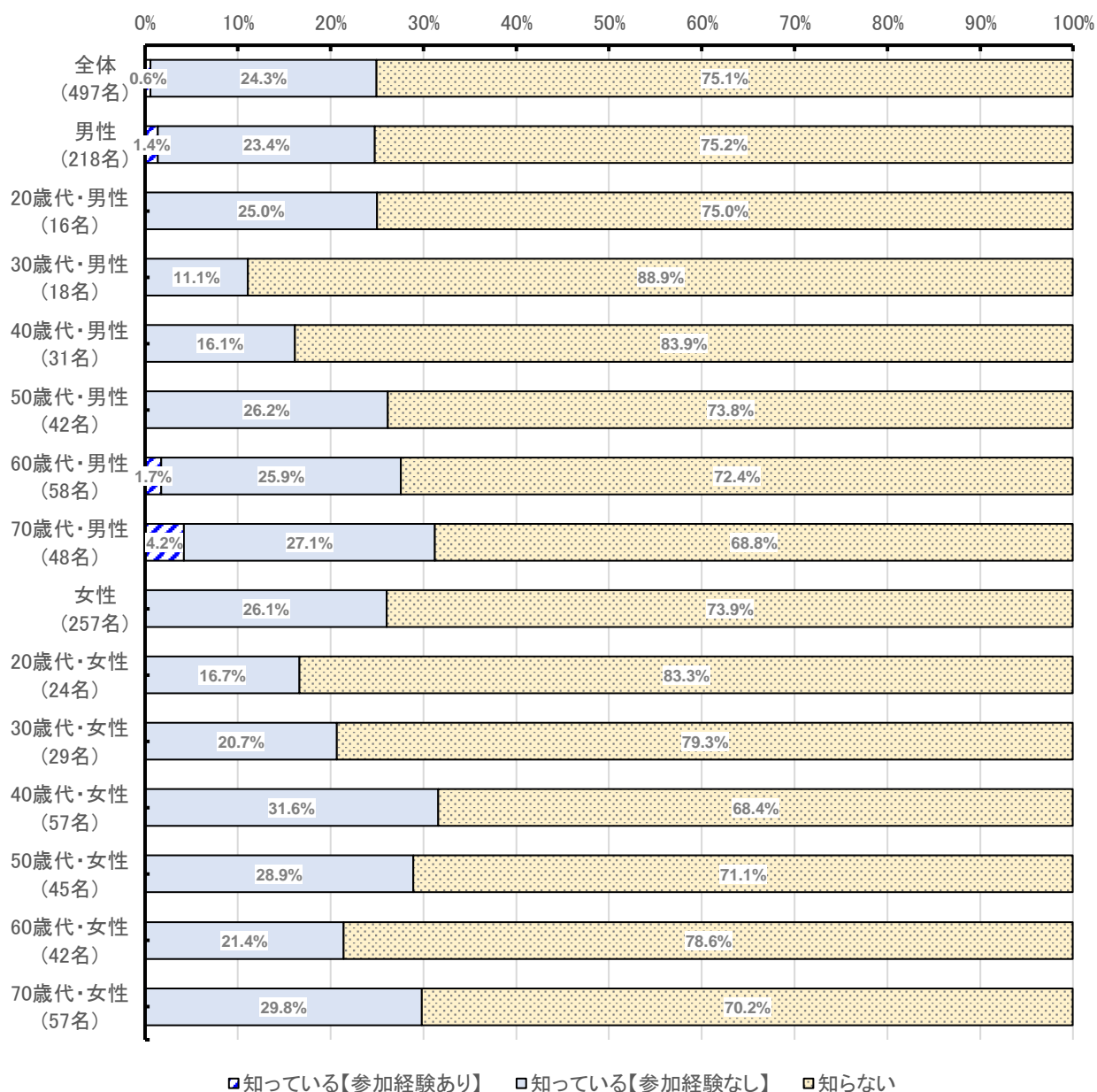
「すこやか少年少女スポーツフェスティバル」の参加経験ありは 1.8%、認知度は 29.5% であった。



問 23-7 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。

「障がい者スポーツ教室（フライングディスク教室）」

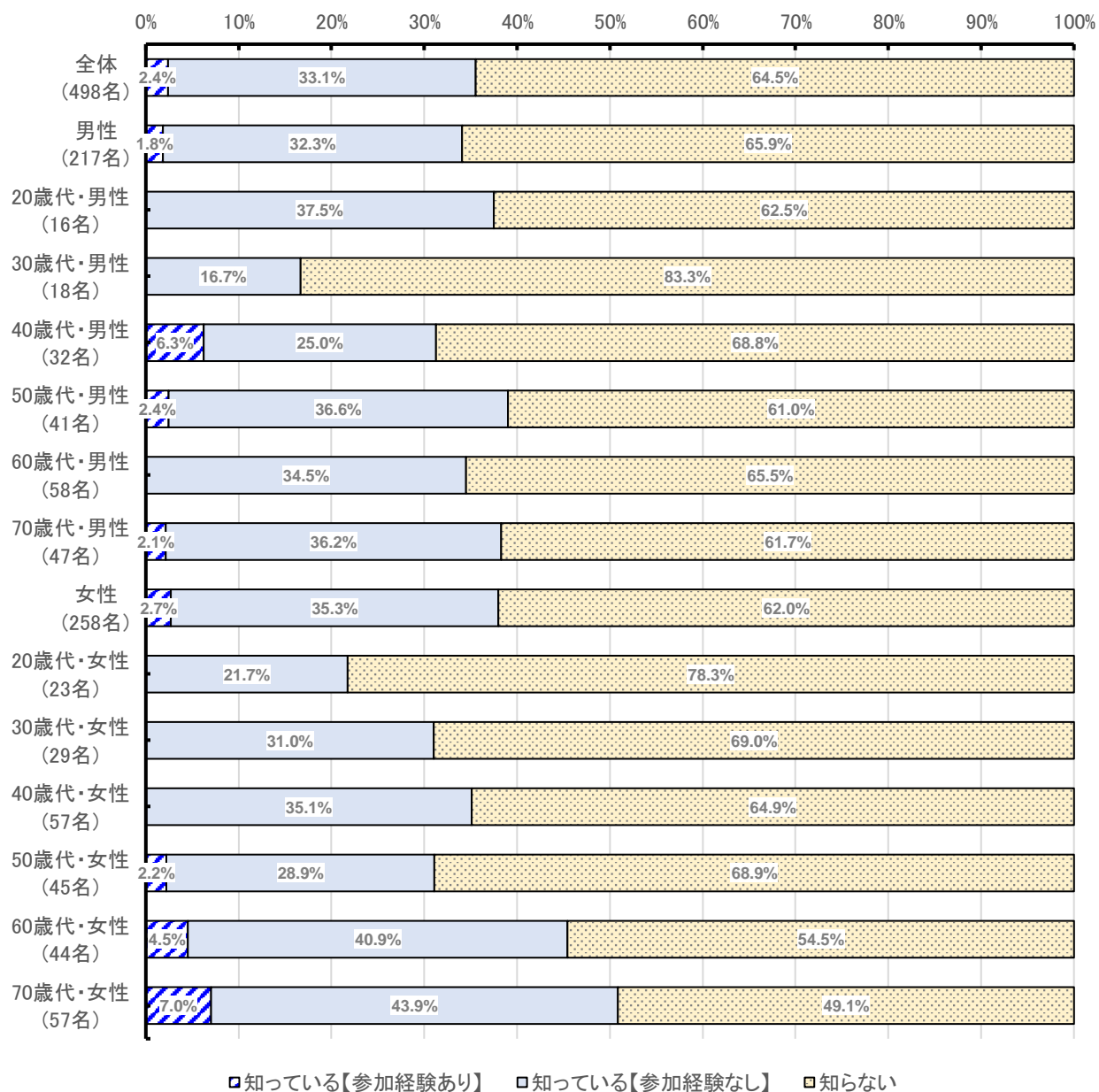
「障がい者スポーツ教室（フライングディスク教室）」の参加経験ありは 0.6%、認知度は、24.9%であった。



問 23-8 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。

「いせはら CITY ウォーク」

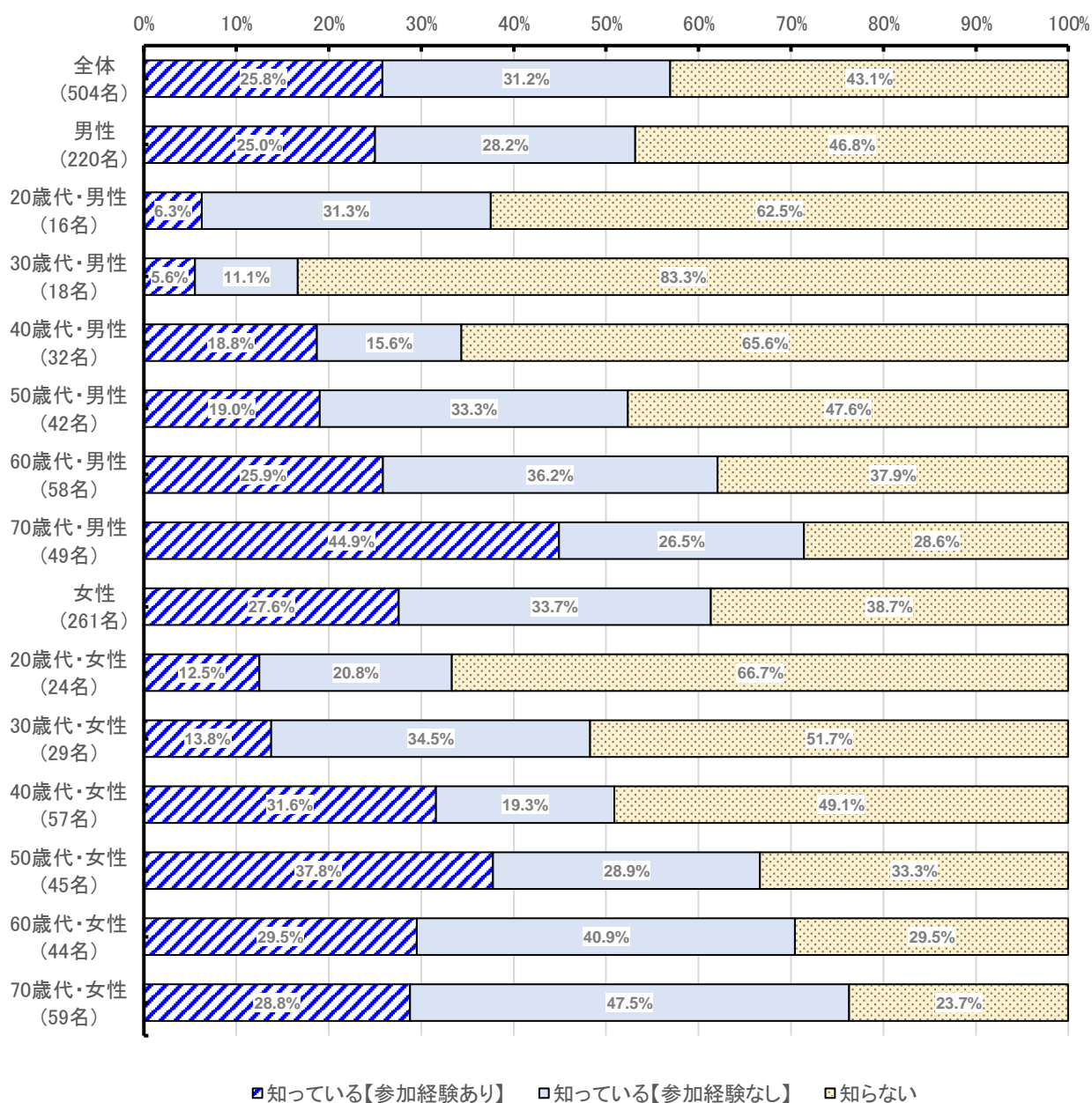
「いせはら CITY ウォーク」の参加経験ありは 2.4%、認知度は 35.5%であった。



問 23-9 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。

「各地域の住民体育祭（体力づくり振興会主催）」

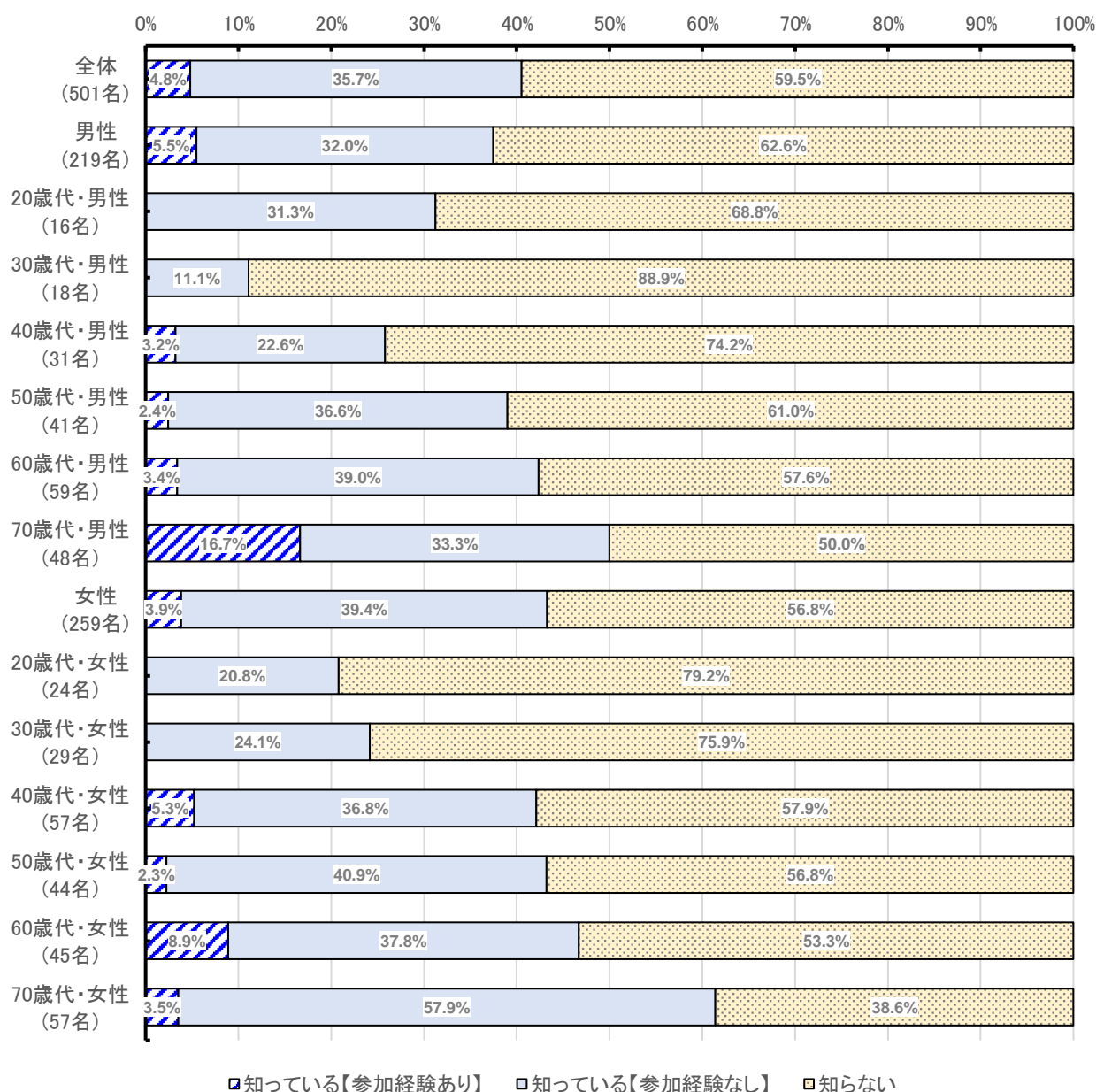
「各地域の住民体育祭（体力づくり振興会主催）」の参加経験ありは 25.8%、認知度は 56.9%であった。



問 23-10 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。

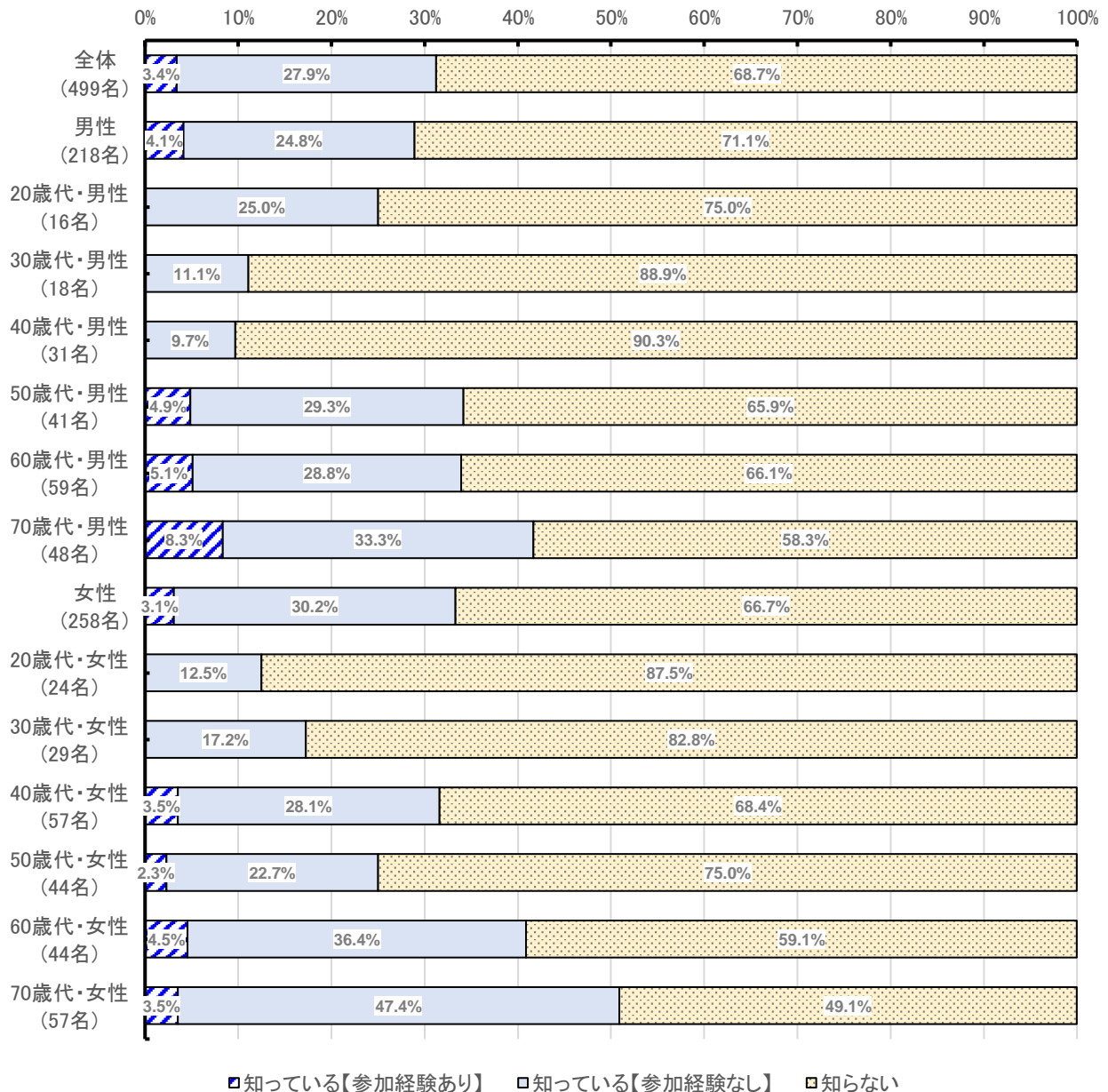
「各地域の体力づくり振興会事業（グラウンドゴルフなど）」

「各地域の体力づくり振興会事業（グラウンドゴルフなど）」の参加経験ありは4.8%、認知度は40.5%であった。



問 23-11 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。
「新体カテスト（緑花まつり会場内）」

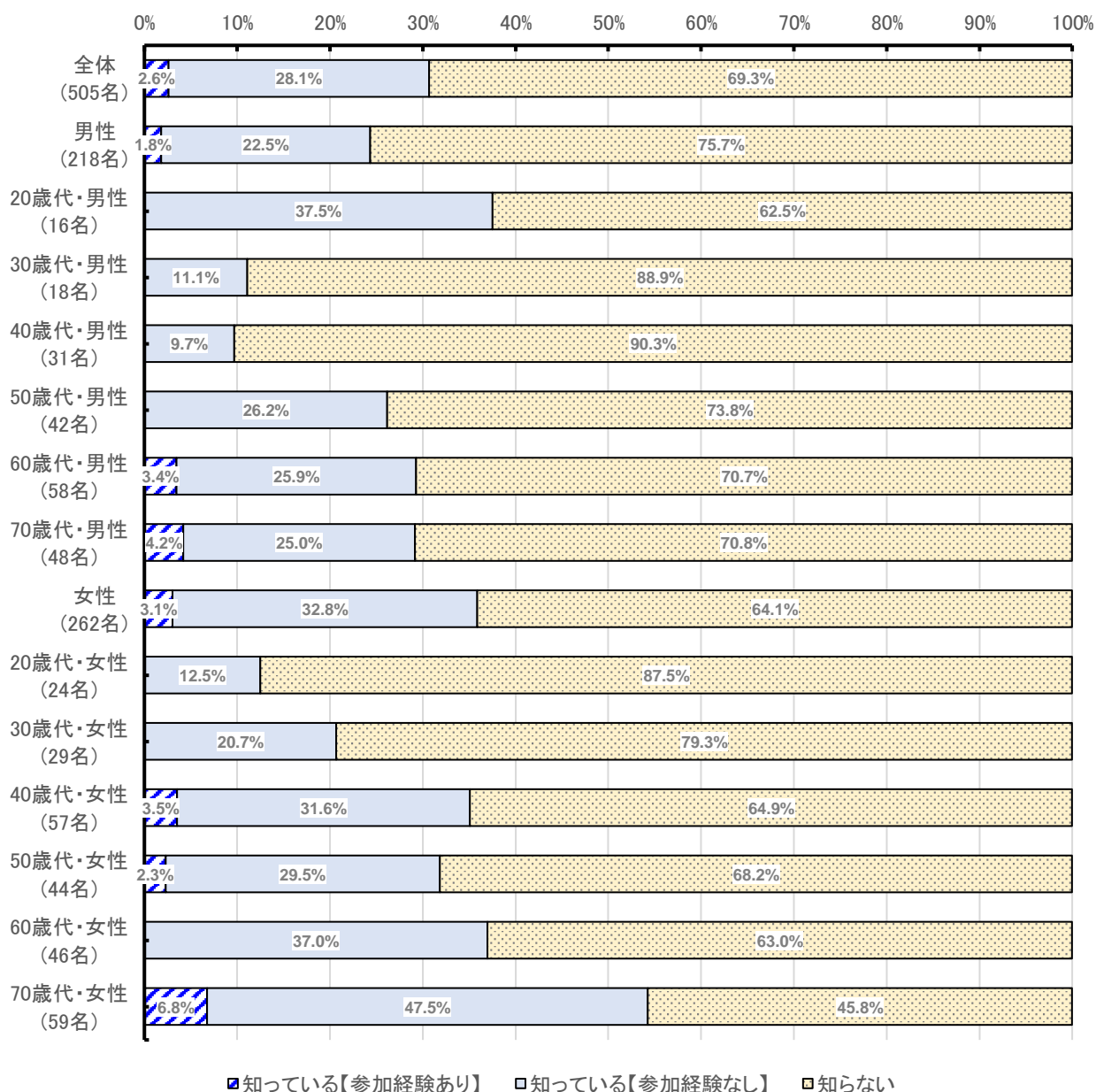
「新体カテスト（緑花まつり会場内）」の参加経験ありは 3.4%、認知度は 31.3%であった。



問 23-12 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。

「東海大学健康クラブ（地域連携事業）」

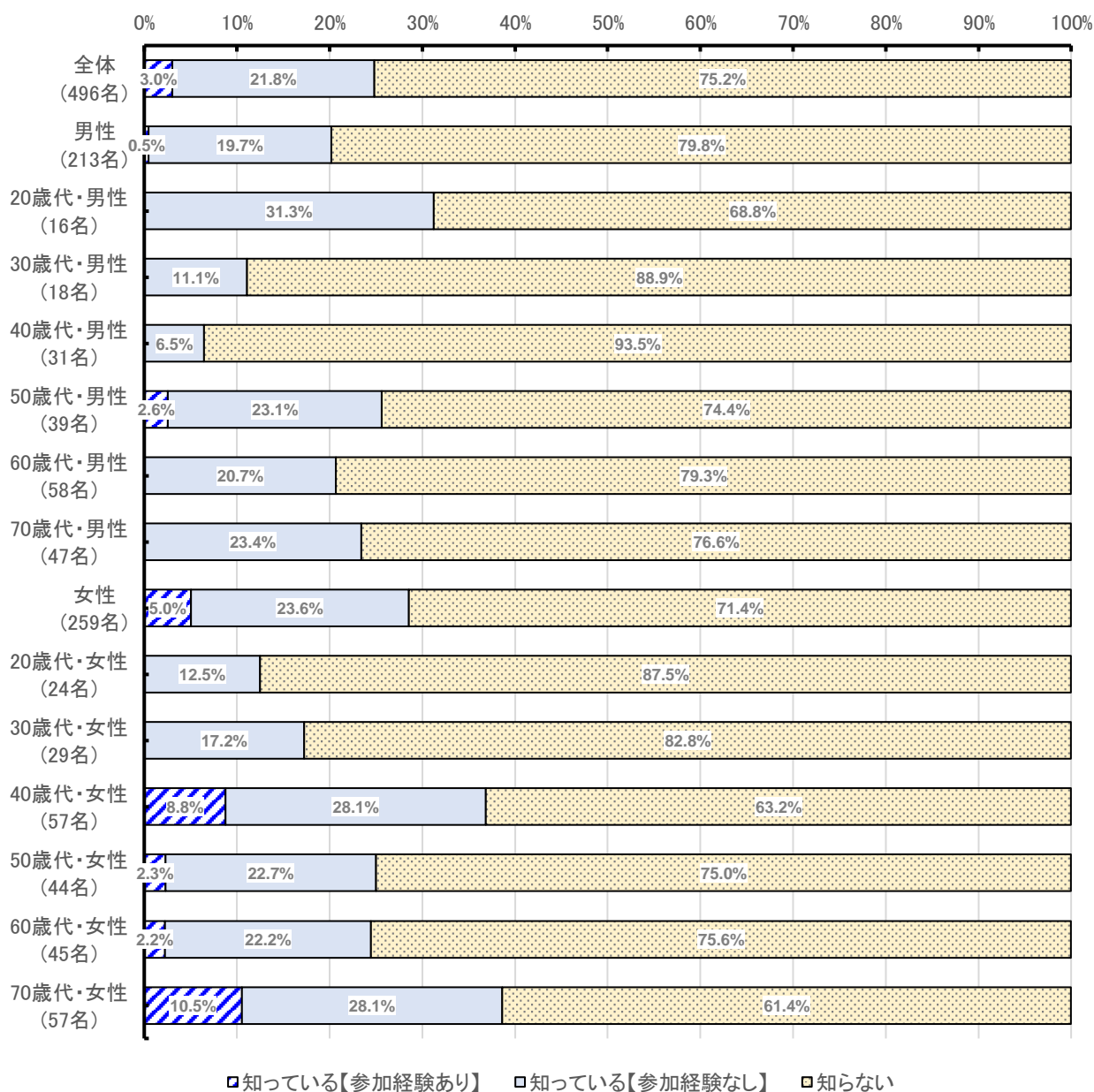
「東海大学健康クラブ（地域連携事業）」の参加経験ありは2.6%、認知度は30.7%であった。



問 25-13 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。

「伊勢原・ふれすぽ（総合型地域スポーツクラブ）」

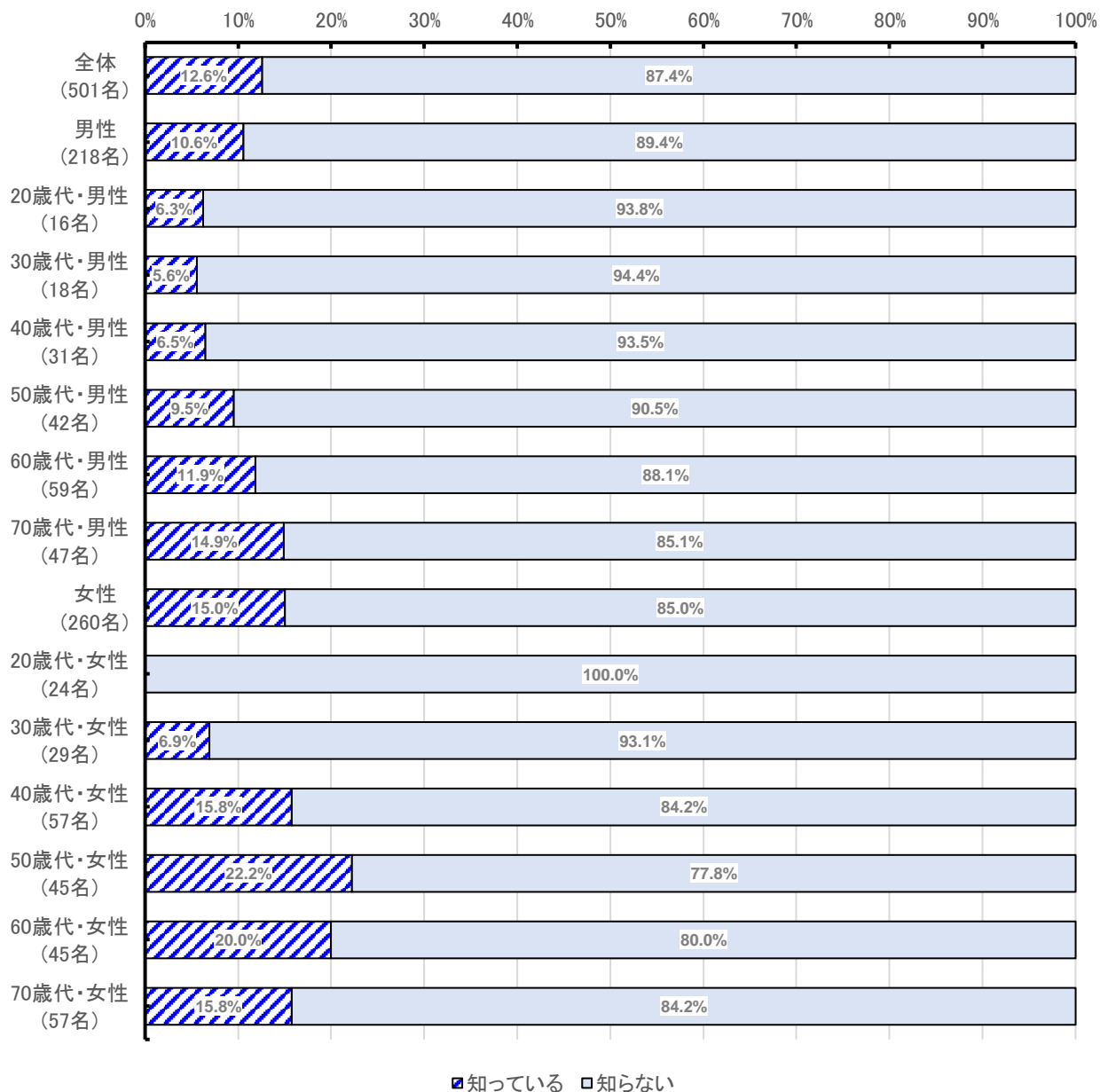
「伊勢原・ふれすぽ（総合型地域スポーツクラブ）」の参加経験ありは3.0%、認知度は24.8%であった。



問 23-14 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。

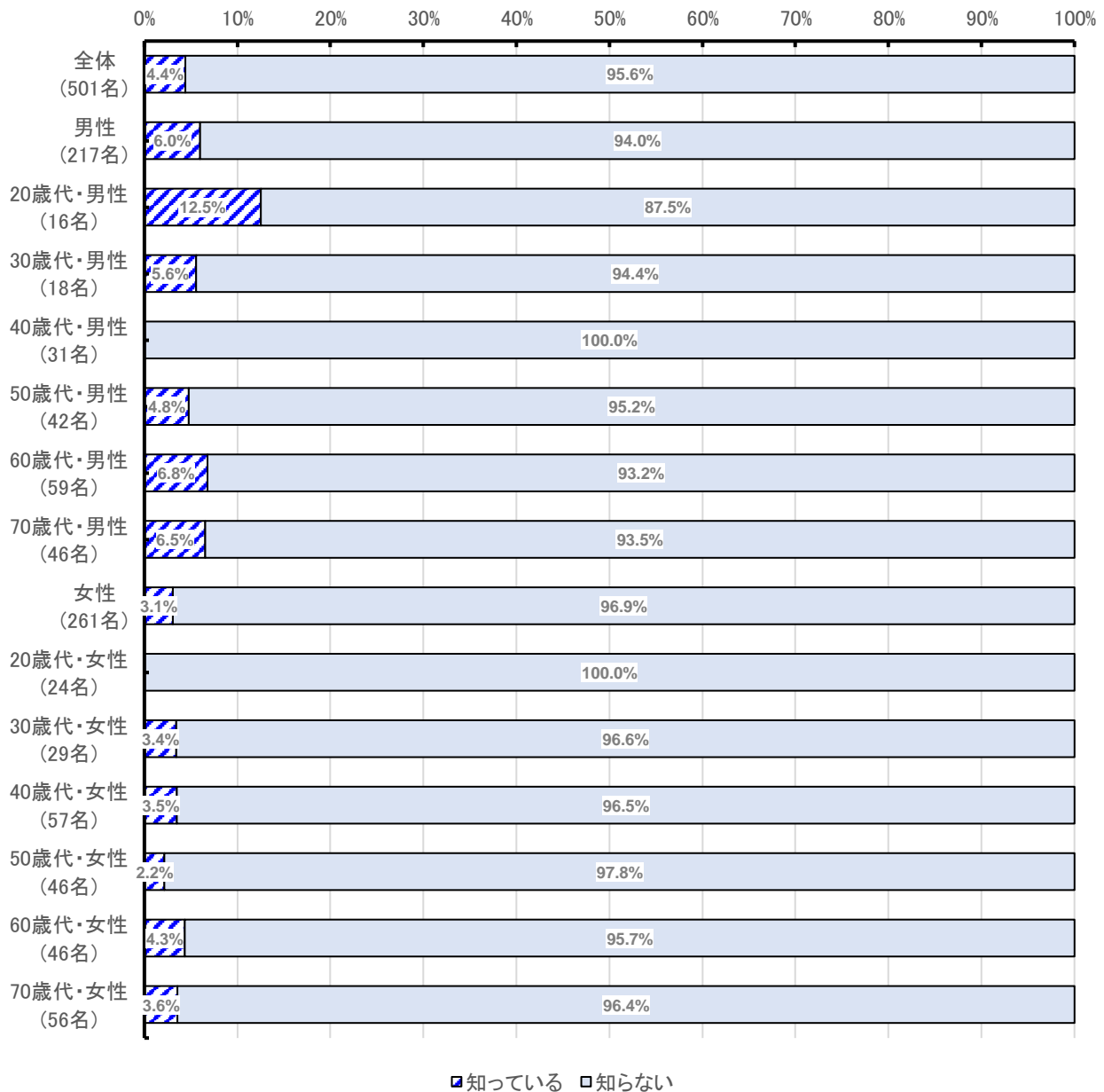
「民間スポーツ施設（テニスコート）利用助成事業」

「民間スポーツ施設（テニスコート）利用助成事業」の認知度は12.6%であった。



問 23-15 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。
「スポーツ競技全国大会等出場者激励金交付事業」

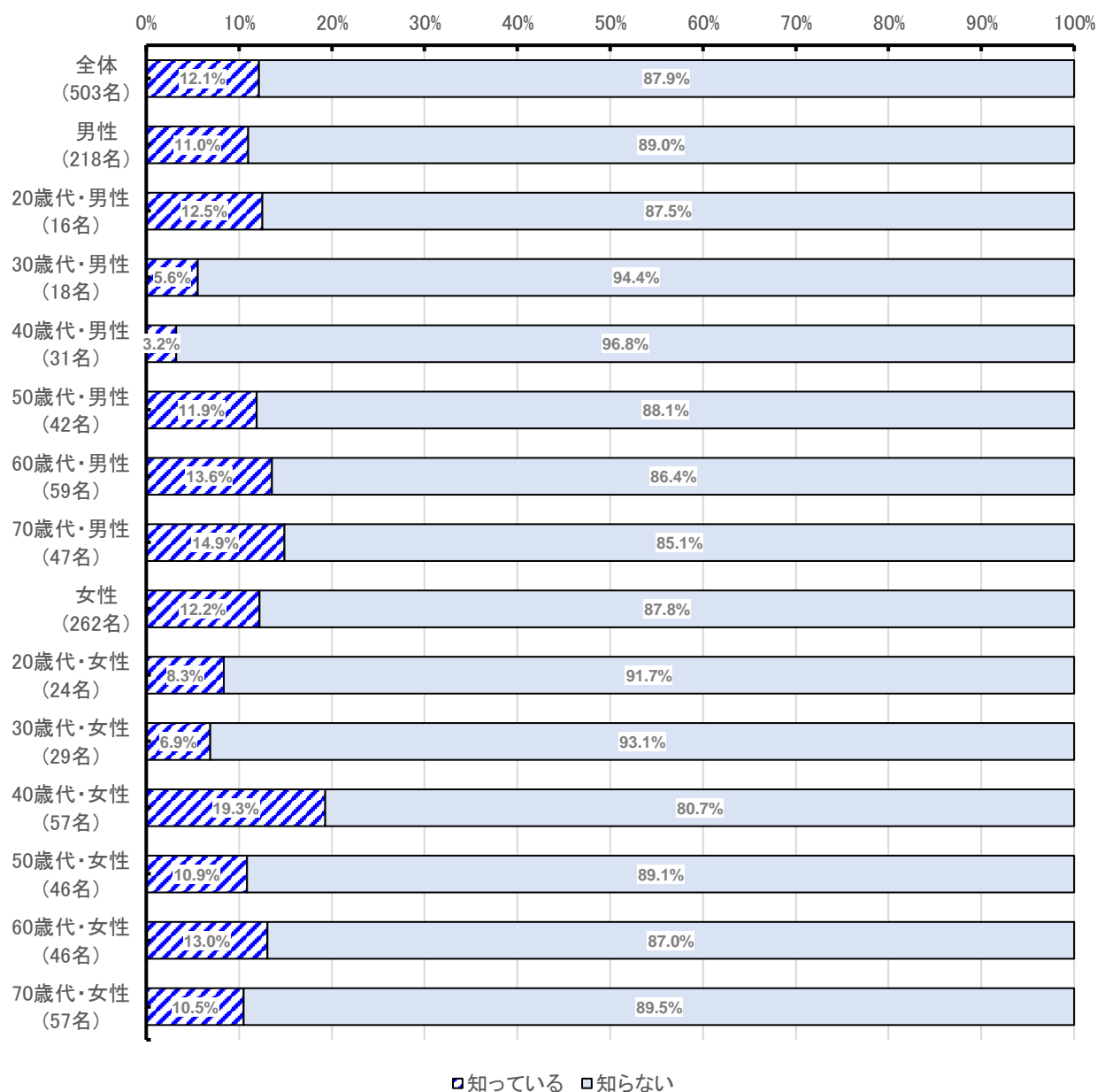
「スポーツ競技全国大会等出場者激励金交付事業」の認知度は4.4%であった。



問 23-16 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。

「スポーツ賞・スポーツ奨励賞表彰事業」

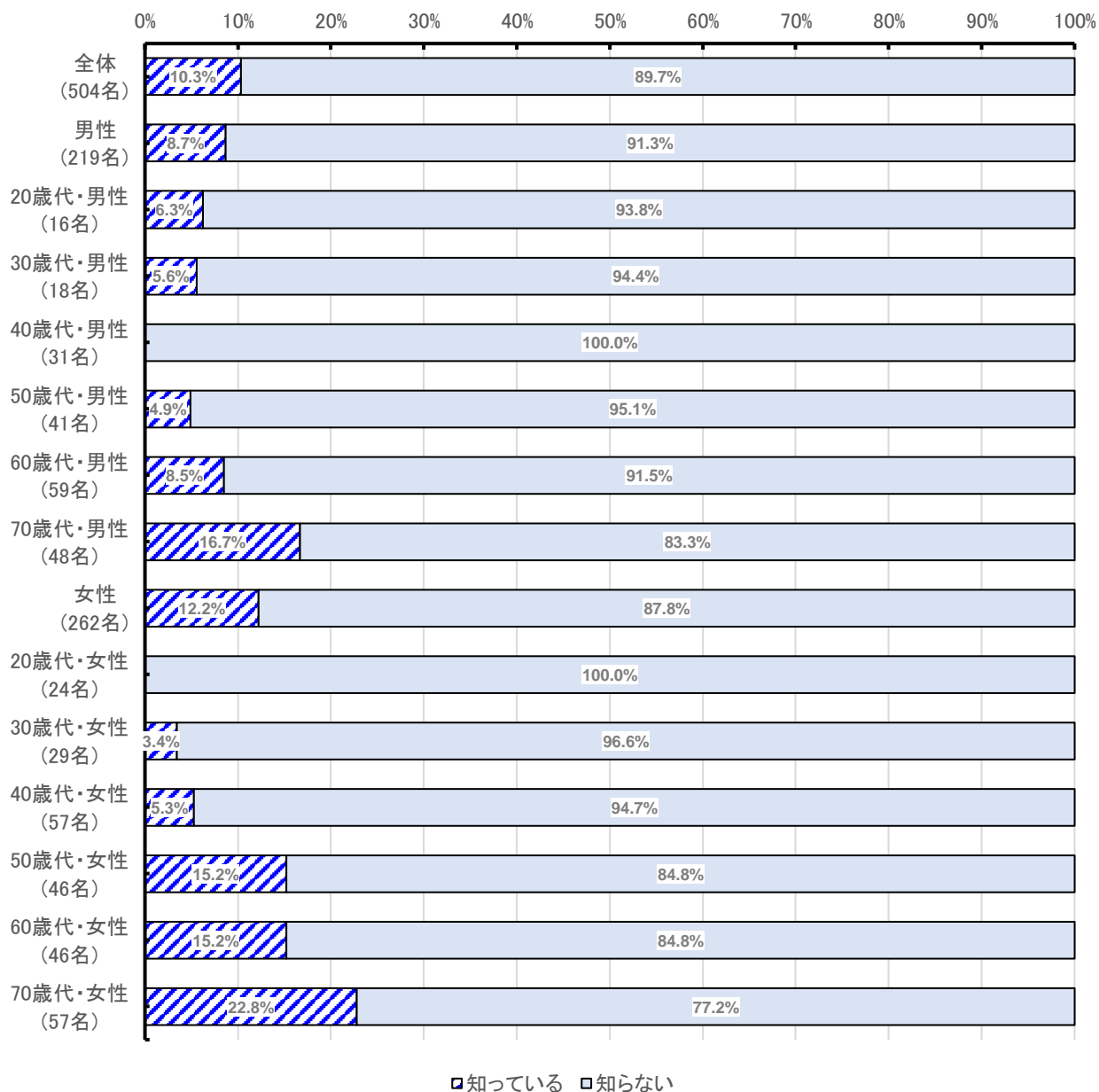
「スポーツ賞・スポーツ奨励賞表彰事業」の認知度は、12.1%であった。



問 23-17 運動・スポーツ事業等の認知度及び参加状況についてお聞きします。

「ウォーキングガイド（2015年公開）」

「ウォーキングガイド（2015年公開）」の認知度は、10.3%であった。



自由意見欄

- 【登山】 大山には大きな努力を払わなくても大勢の人が来るためか、市の積極さをあまり感じていません。秦野市の取り組みを見習ってほしいと感じる
- アスレチックのような家族で楽しめる施設が有ると嬉しい
- 伊勢原市の自然の道を私は歩くのが大好きです。
- 伊勢原にeスポーツを！大山コマを含め様々なコマの大会をやってみたい
- 以前やっていたスポーツデーなど市ぐるみの参加(自由)で少し意識して動こうと思ったのでいい取組だと思いました。
- 今まで転勤でさまざまな市区町村をみたが伊勢原ほどスポーツセンターがボロいところはない一体税金はどこに使われているのか。市民の健康などどうでもいいと思っているのではないか。
- 運動公園の休憩スペースを充実化子供の遊具だけでなく高齢者がのんびりくつろげるような空間を
- 運動したいと思っても1人では何をしたら良いか分からない。また、続かない。市のイベントは高齢者が多そうで参加しづらい。1人又は家族で参加できる軽めの運動イベントがあると気軽に良いなと思っています。
- 運動スポーツ事業の情報を広報タウン誌などでみているが改めてスポーツ事業名を問われるとどの事業で行われてるか区別が解らない。運動スポーツ事業の充実をしていただけると自分はなかなか参加できませんがこれからの子供たち、利用する高齢者には大切かと思えます。
- 運動を通して普段かかえている不安やストレスの発散する事のよさを広めて行きたいです。
- 運動を始めたいが仕事の為なかなか時間がない。またどこで何をやっているか情報や参加方法が分からない。ランニングコースがなく走る場所がなくて困ってる。
- 大山地区はバス便が少ないので老人福祉施設や公民館への循環バス無料があるとスポーツ事業への参加もしやすくなると思う
- お金がかからない高齢者の体力づくりが出来る環境整備
- 親子でスポーツできるクラブ活動や、場所がほしい。子ども離れの運動が中々難しいので家族でスポーツ出来たらと思う。
- 会対抗出なく個人で自由に参加出来るものもあるとよい
- 家族みんなウォーキングが好きなので歩く事に関しては自信があります。町中に少し休めるベンチ等があると助かります。
- 車の運転が出来なくなっても気軽に運動出来る場所があるととても助かります。
- 公園に駐車(場)のスペースがあるといい
- 高齢者なので体育館まで行くには遠い。手段なし。公民館、コミュニティーなど近辺に高齢者でも筋力UPできる器具を設置してほしい。現在は、朝ウォーキングと月二回ラジオ体操のみでももっとスポーツをやろうと思う。
- 高齢者の運動施設を身近で利用出来る用増やして欲しい
- 高齢になると高齢者でもできそうなスポーツイベントがあっても参加しにくくなっています。イベント会場までの距離や体力的な不安、一人で大丈夫だろうかとか、はじめの一步が踏み出しにくいです
- 子供むけのクラブ活動(教室)の充実や情報を探しやすくなると嬉しいです。
- このアンケートを見ながら健康作りは改めて大切だと思いました。日々仕事をしておりますので休日はできるだけ少しでも散歩を増やしたいと思えます。

- 昨年膝を痛めてからウォーキング位しか体を動かさず事がなくなり体力維持をするにはどうしたらいいか考えている
- 市営トレーニング施設がほしい。伊勢原駅前とかにほしい。
- 仕事との両立はきつい
- 自販機など設備が整えられると嬉しい。
- 受益者負担の原則により公共施設の有料化(含駐車場)を検討していただきたい
- 少子化過疎化が進み人とのコミュニケーションが心配。年齢問わず遊べて楽しい誰もが参加出来る場が必要になるのではないかと考える。青年の健全な育成も我が事の用に考える筆用があると思います
- 総合公園の体育館に行くのが大変です(車を運転しないので)身近なところに水泳が出来る場所があるといいなと思います(室内プールがない)
- 体力に自信のない人がウォーキングや散歩などをする時や外出するために疲れたら休めるベンチや休憩ところがあると良い。環境が整えば体を動かすことが出来る人が増え健康維持できるのではないかと思う
- 中高年以上の方の体型、服装、歩き方などを見ると健康に対する意識の低さがやや感じられる。市、地域の活動が活発になると、これらが改善すると期待される。(普段から健康に留意している人が近くにいると全く違いとを感じる)同年代の健康な人がどのように生活をしているか、何かしら見られると良い。(私は都内に通勤しているが、平均的に健康に気を付けている人が多いと感じる)
- 中年～高齢者が楽しく動けるようなダンスのイベントや教室が増えるといいなと思います。子供,若い人も一緒に出来るダンスならもっといいと思います。
- 手軽に身体を動かし持続できそうなことから始めたい。ウォーキングやストレッチぐらいですかね。良いアドバイスを聞きたい
- 年をとってくると正直スポーツは出来なくなる。歩くのが精一杯。伊勢原は山が多いし公園内の散策コースも色々なレベルコースがあるのでコースの整備、歩きどころ見所のアピールなど教えてほしい。駐車場レストラン温泉が一緒にある施設が欲しい。
- 一人暮らしの老人が増えています。皆さん移動手段がなくなにもしてません。デイベースとは違う自由に参加できて、安全に行き帰りができるといい。
- プールがないので他の地域のプールを利用している。プールが欲しい
- 予約が入ってなければ当日自由に市の施設を利用出来るようにして欲しい
- 老人の健康体操の会に体験入会したいと思っていったら、女性だらけとのことで断られた。男性用を作ってほしい。
- 若者が気軽に自由に遊べるスポーツ施設(無料)、特に一般では迷惑がられているスケートボードができる公園を作ってやってください。野外にコンクリートを作れば維持費も安上がりです。ヨーロッパ(オランダ)には一般的にあります。愛川町にも昨年できたらしいです。
- 以前、市民プールについて調べましたが秦野にしかないという事だったので、伊勢原市はスポーツ施設に力を入れていないのかと思っていました。初心者でも、身近で利用できるスポーツ施設やスポーツ教室などの情報が得られたらありがたいです。(インターネット検索やメール配信など)
- 伊勢原で40年以上過ごしていますが、小体育館の利用方法を改めてほしいと思います。利用希望者が複数の場合、昔はジャンケン、この前は抽選といずれも体育館に行かないと利用できるかどうかが決まりません。ここで利用できないとわかり、隣接市の施設まで移動するには時間がかかりますし、待っていたとしても次の枠もまた抽選となり使えるかわからない。青少年体育館がなくなり、屋内競技をやる場所が少なくなっています。ぜひ利用希望者の時間が無駄にならない利用方法を考えて

いただきたいと思います。

- 健康維持、体力維持の為に運動をしようとは思いますが、ある程度定期的に継続的にやらなければならないのに、施設が少ないし、立地が悪い。誰もが利用できるような立地条件ではない。車やバス等の交通手段がないとたどりつけないような施設に、定期的に通うのは無理。いくらイベントを開催しても、参加者は同じメンバー。興味のないイベントを開催するための運営に自治会から体育委員のような役員を押し付けられるのも、納得できない。イベント等は、今の時代に合った運営の方法を考えてほしい。興味のある人達だけで開催できないのなら、積極的にやめる選択をしてほしい。
- 初めてでも、一人ででも気軽に参加出来るようなイベントに参加したい
- 身近な施設でもっと身体を動かしたいと思っているのですが、SNS、インターネットで検索する際、情報が深いところにあり、何回か検索を繰り返して探しに行っているのがもどかしいです。子供が生まれ、自由な時間は少ないですが隙間時間で楽しく運動したいので若手も参加できるサークルや教室（一回ワンコイン制度が嬉しい）に参加していきたいと思っています！
- 数年前まで隣の鶴巻に住んでいました。近くのおおね公園のジョギングコースを利用していました。伊勢原市も運動公園にジョギングコースがあるようですが、場所が悪く利用していません。市内中心部にジョギングコースのようなものがあると良いと思います。高齢者が散歩しているのをよく見かけますが、道路は結構段差があり危険だと感じています。
- 総合運動公園の体育館でのジム施設は聞いたことがありますが、利用するのは、新参加者にはハードル（利用手順、指導者有無など）が高く、敬遠せざるを得ないかなと思っています。たぶん、きっかけがあればなと思う次第です。
- 走れ走れや駅伝などは、自分は参加していませんが、子供達が参加させていただき、その応援で参加はしています。大山マラソンもボランティアのお手伝い等で参加はしており、色々お世話になってきました。もっと多くの方の参加が増える機会が、あると良いなと思っています。また、総合体育館のランニングコースを拡大したり、ジムの拡大、屋内プールなどが出来たら、さらに利用者が増えるのでは無いかと期待しております。
- 大人子供関わらずスポーツをする場所、時間が非常に少ないと思います。このアンケートを機に改善される事を願います。

令和8年3月

発行 伊勢原市

編集 伊勢原市保健福祉部スポーツ課

協力 株式会社ハイクラス

〒259-1188

神奈川県伊勢原市田中348番地

伊勢原市保健福祉部スポーツ課

電話 (0463) -94-4628

Mail sports@isehara-city.jp